
社会教育に関するアンケート調査

報 告 書

平成 26 年 10 月

松 戸 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	3
4. 回収状況	3
5. 報告書の見方	3
II 単純集計結果	5
III 回答者の属性	21
1. 性別	23
2. 年齢	23
3. 職業	23
4. 勤務先・通学先	23
5. 松戸市の居住年数	24
6. 世帯構成	24
7. 小学生から中学生の子ども	24
8. 地区	24
IV 調査の結果	25
1. 生涯学習活動に対する考え方について	27
(1) 生涯学習活動の意義	27
(2) 生涯学習活動の内容	31
(3) 生涯学習活動の方法	35
(4) 生涯学習活動をしなかった理由	39
(5) 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること	43
(6) 今後、学びたいこと	47
2. 生涯学習活動に関する情報について	51
(1) 生涯学習活動に関する情報の入手方法	51
(2) 生涯学習活動に関して知りたい情報	55
3. これからの生涯学習活動における現状や課題について	60
(1) 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方	60
(2) 地域の学習環境を充実させるために必要なこと	64
(3) 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと	69
4. 地域の子どもたち（青少年）に対する考えについて	74
(1) 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方	74
(2) 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所	78
(3) 子どもの活動場所に求めること	81

(4) 地域の住民と小中学生とがつながる機会	83
(5) 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果	86
(6) 小中学校でのボランティア活動の参加	89
(7) 学校のボランティア活動に参加しなかった理由	91
(8) 興味がある小中学校のボランティア活動	94
5. 松戸市の図書館について	97
(1) 図書館の利用頻度	97
(2) 図書館を利用しない理由	101
(3) 図書館を利用する目的	106
(4) 図書館に望むこと	109

V 松戸市に対する意見・要望（自由記載） 115

添付資料：調査票..... 129

I 調査の概要

1. 調査の目的

松戸市では「松戸市社会教育計画」の策定の準備を進めています。

本調査は、生涯学習や社会教育の現状やニーズ等について把握し、この計画を策定するための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 松戸市に居住する 20 歳以上の男女個人
- (2) サンプル数 3,000 人
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出
- (4) 調査の方法 郵送調査法
- (5) 調査期間 平成 26 年 6 月 18 日～7 月 9 日

3. 調査の内容

- (1) 生涯学習活動に対する考え方について
- (2) 生涯学習活動に関する情報について
- (3) これからの生涯学習活動における現状や課題について
- (4) 地域子どもたち（青少年）に対する考えについて
- (5) 松戸市の図書館について

4. 回収状況

- サンプル数 3,000
- 有効回収数 1,583
- 有効回収率 52.8%

5. 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（％）で表記している。回答率（％）の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、n＝と表記している。また、複数回答についても回答者の数としている。
- (2) 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記してある。このため、各回答率（％）を足し上げても 100.0％とならない場合がある。
- (3) 分析の軸としたプロフィールや設問は、無回答を除いているため、各プロフィールの基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) グラフや表のタイトルなどは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。
- (6) 回答者数が 30 未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

【標本誤差について】

調査結果の比率から母集団（20 歳以上の市民全体）の傾向を推測するには、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要がある。この誤差は回答者数と各設問の回答の率から、以下の式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 比率算出の基数（サンプル数）
p = 回答の比率

各回答比率における標本誤差早見表（信頼度 95%）

回答の比率（p） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,586人	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
1,400人	± 2.2%	± 3.0%	± 3.4%	± 3.6%	± 3.7%
1,200人	± 2.4%	± 3.2%	± 3.7%	± 3.9%	± 4.0%
1,000人	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
800人	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
600人	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.5%	± 5.7%

【早見表の見方】

たとえば、今回の調査の回答者数（1,583 人）を 100%とする比率で、ある質問の回答が 50%であった場合、松戸市（満 20 歳以上の男女）のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられます。

Ⅱ 単純集計結果

はじめに、生涯学習活動に対する考え方についておうかがいします。

問1 「生涯学習活動」の意義について、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。
あてはまる番号に 3 つまで○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 社会へ貢献できる	1514人	488件	30.8%
2. 知識や技術を向上させる		480件	30.3%
3. 仕事に役立つ		93件	5.9%
4. 子育てに役立つ		97件	6.1%
5. 日常生活に役立つ		239件	15.1%
6. 健康に役立つ		434件	27.4%
7. 社会とのかかわりが深まる		684件	43.2%
8. 人間関係を広げることができる		805件	50.9%
9. 地域をよくしたい		224件	14.2%
10. 生きがいに役立つ		703件	44.4%
11. その他		16件	1.0%
12. 特にない	30人	30件	1.9%
無回答	39人	39件	2.5%
全 体	1583人	4332件	273.7%

問2 あなたは、この 1 年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。
あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）	1029人	514件	32.5%
2. 教養に関すること（歴史、文学、政治など）		224件	14.2%
3. 仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）		228件	14.4%
4. 子育て・家庭教育に関すること		152件	9.6%
5. 学校教育に関すること		84件	5.3%
6. 生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）		184件	11.6%
7. 健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）		526件	33.2%
8. 社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど）		151件	9.5%
9. ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること		136件	8.6%
10. まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること		122件	7.7%
11. 国際理解、国際交流に関すること		56件	3.5%
12. その他		19件	1.2%
13. していない	543人	543件	34.3%
無回答	11人	11件	0.7%
全 体	1583人	2950件	186.4%

【問2で「1」から「12」と回答した方にうかがいます。】

問3 どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 市が主催する講座や教室への参加	987人	134件	13.0%
2. 学校（大学や各種学校など）の公開講座や教室への参加		115件	11.2%
3. 職場の研修・教室への参加		152件	14.8%
4. 民間団体などが主催する講座、教室への参加		234件	22.7%
5. 通信教育での学習		48件	4.7%
6. 学校（大学や各種学校など）に入学		41件	4.0%
7. 自主的なサークルやクラブに入会		369件	35.9%
8. 民間施設のカルチャーセンターなどに入会		91件	8.8%
9. 図書館・博物館・美術館などで調べ物		224件	21.8%
10. 自宅での学習（書籍やインターネットなど）		451件	43.8%
11. その他		80件	7.8%
無回答	42人	42件	4.1%
全 体	1029人	1981件	192.5%

【問2で「13（していない）」と回答した方にうかがいます。】

問4 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」をしなかった理由は何ですか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 仕事や家事が忙しく、時間が無い	515人	335件	61.7%
2. 家庭や職場など周囲の理解が得られない		6件	1.1%
3. 費用がかかる		77件	14.2%
4. きっかけがつかめない		206件	37.9%
5. 自分が参加できる時間や曜日に行われている、講座・教室がない		85件	15.7%
6. 関心のある講座や教室がない		78件	14.4%
7. 一緒に行う仲間がいない		57件	10.5%
8. 身近なところに学習施設や学習場所がない		56件	10.3%
9. 気兼ねなく集まれる学習の場がない		42件	7.7%
11. その他		57件	10.5%
10. 必要だと思わない	21人	21件	3.9%
無回答	7人	7件	1.3%
全 体	543人	1027件	189.1%

すべての方にうかがいます。

問5 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先することは何ですか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 内容（日常生活や仕事に生かせるか）	1549人	1010件	63.8%
2. 主催者（大学・民間・市など）		175件	11.1%
3. 場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）		949件	59.9%
4. 時間帯や曜日		953件	60.2%
5. 学習施設（気軽さ・居心地の良さ・設備の充実）		452件	28.6%
6. 成果の活用方法		141件	8.9%
7. インターネット等、場所や時間を選ばない手段		213件	13.5%
8. 費用		619件	39.1%
9. その他	34人	41件	2.6%
無回答		34件	2.1%
全 体	1583人	4587件	289.8%

問6 今後、どのようなことを学びたいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）	1488人	834件	52.7%
2. 教養に関すること（歴史、文学、政治など）		442件	27.9%
3. 仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）		345件	21.8%
4. 子育て・家庭教育に関すること		265件	16.7%
5. 学校教育に関すること		97件	6.1%
6. 生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）		450件	28.4%
7. 健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）		841件	53.1%
8. 社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど）		430件	27.2%
9. ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること		285件	18.0%
10. まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること		223件	14.1%
11. 国際理解、国際交流に関すること		173件	10.9%
12. その他		19件	1.2%
13. 特にない	77人	77件	4.9%
無回答	18人	18件	1.1%
全 体	1583人	4499件	284.2%

生涯学習活動に関する情報についておうかがいします。

問7 あなたは、生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	1371人	757件	47.8%
2. 広報まつど		714件	45.1%
3. インターネット（パソコン）		503件	31.8%
4. インターネット（携帯・スマホ）		313件	19.8%
5. 家族や知人から		421件	26.6%
6. 市役所や公民館などの公共施設（ポスター、ちらし含む）		323件	20.4%
7. 学校や職場（ポスター、ちらし含む）		182件	11.5%
8. 駅や路上、商業施設など（ポスター、ちらし含む）		239件	15.1%
9. その他	198人	28件	1.8%
10. 特に得ていない		168件	10.6%
11. 得る手段が分からない		64件	4.0%
無回答	14人	14件	0.9%
全 体	1583人	3726件	235.4%

問8 あなたは、生涯学習に関係するどのような情報を知りたいですか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報	1340人	741件	46.8%
2. 講演会や展覧会などのイベント情報		570件	36.0%
3. 資格取得に関する情報		392件	24.8%
4. カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報		387件	24.4%
5. 同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報		407件	25.7%
6. 大学などの教育機関で開催される講座の情報		268件	16.9%
7. 公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報		107件	6.8%
8. 講師や指導者に関する情報		154件	9.7%
9. 地域活動やボランティア活動に関する情報		314件	19.8%
10. その他	210人	17件	1.1%
11. 特にない		210件	13.3%
無回答	33人	33件	2.1%
全 体	1583人	3600件	227.4%

これからの、生涯学習活動における現状や課題についておうかがいします。

問9 あなたは、「生涯学習活動」を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしたいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 仕事や家庭など、日常生活で生かしたい	1407人	1023件	64.6%
2. 資格の取得に生かしたい		297件	18.8%
3. ボランティア活動で生かしたい		295件	18.6%
4. 他の人の学習やスポーツ、文化活動の指導に生かしたい		142件	9.0%
5. 町会などの地域活動に生かしたい		205件	13.0%
6. 自身の健康維持、健康増進に生かしたい		901件	56.9%
9. その他		22件	1.4%
7. わからない	78人	78件	4.9%
8. 特に生かすつもりはない	78人	78件	4.9%
無回答	20人	20件	1.3%
全 体	1583人	3061件	193.4%

問10 地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 公民館・図書館などの社会教育施設の充実	1438人	548件	34.6%
2. 家庭教育学級や生涯学習大学講座などの社会教育事業の充実		203件	12.8%
3. PTAや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援の充実		97件	6.1%
4. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実		206件	13.0%
5. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実		164件	10.4%
6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存		222件	14.0%
7. 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進		129件	8.1%
8. 子育てサロンなど子育て支援活動の促進		149件	9.4%
9. 子どもが地域活動に参画する機会の充実		263件	16.6%
10. その他		59件	3.7%
11. 特に必要ない	98人	98件	6.2%
無回答	47人	47件	3.0%
全 体	1583人	2185件	138.0%

※設問では 1つ〇印 としましたが、複数回答の方が多く、ニーズ把握のためすべての回答を有効とした結果です。

問11 今後、松戸市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れると良いと思いますか。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 講座（講習会）などの開催	1509人	343件	21.7%
2. 学習等に関する常設の相談コーナー等の設置		101件	6.4%
3. 国際的な交流事業		96件	6.1%
4. 指導者養成講座（講習会）の開催		98件	6.2%
5. 公共施設の整備		479件	30.3%
6. 情報発信の充実		452件	28.6%
7. 指導者の派遣		58件	3.7%
8. 企業・大学との連携		126件	8.0%
9. その他		53件	3.3%
無回答	74人	74件	4.7%
全 体	1583人	1880件	118.8%

※設問では 1つ〇印 としましたが、複数回答の方が多く、ニーズ把握のためすべての回答を有効とした結果です。

地域の子どもたち（青少年）に対する考えについておうかがいします。

問12 あなたは、地域の子どもたちに、放課後や休日をどのように過ごしてほしいと思いますか。あてはまる番号に 3つまで〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 学習塾などでの勉強	1529人	103件	6.5%
2. 有料の習い事や有料スポーツクラブなどでの学習		117件	7.4%
3. 文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動		765件	48.3%
4. 図書館・博物館・児童館等に行く、公的なイベントや講座に参加		456件	28.8%
5. 学校の部活動		779件	49.2%
6. 学童クラブ・放課後キッズルームでの活動		226件	14.3%
7. 友達と遊ぶ		1017件	64.2%
8. 家族でレクリエーションや旅行		416件	26.3%
9. 家で勉強や読書		165件	10.4%
10. 家でテレビ・パソコン・ゲーム		11件	0.7%
11. その他		49件	3.1%
無回答	54人	54件	3.4%
全 体	1583人	4158件	262.7%

問13 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動（文化・スポーツ・レクリエーション等）をするにはどの場所がふさわしいと思いますか。あてはまる番号に 2つ まで○印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 地域の公園	1503人	443件	28.0%
2. 地域の公共施設		1041件	65.8%
3. 小学校の教室		214件	13.5%
4. 小学校の体育館・校庭		945件	59.7%
5. 民間の施設や店舗		131件	8.3%
6. 指導者等の自宅		19件	1.2%
7. その他		19件	1.2%
無回答	80人	80件	5.1%
全 体	1583人	2892件	182.7%

問14 問13の子どもの活動場所に求めることは何ですか？あてはまる番号に 2つ まで○印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 近い	1493人	659件	41.6%
2. 広い		155件	9.8%
3. 安全		1153件	72.8%
4. 清潔		171件	10.8%
5. 使用料が無料		353件	22.3%
6. 冷暖房がある		51件	3.2%
7. 用具や設備がある		287件	18.1%
8. 駅から近い		20件	1.3%
9. 駐車場がある		30件	1.9%
10. その他		25件	1.6%
無回答	90人	90件	5.7%
全 体	1583人	2994件	189.1%

問15 あなたは、地域の住民と小中学生とが、つながる機会にはどのようなものがあると思いますか。あてはまる番号に いくつでも ○印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 自治会等の地域の集会での活動	1409人	645件	40.7%
2. 地域の文化やスポーツ等の団体活動		920件	58.1%
3. 学校での活動		560件	35.4%
4. ボランティア活動		603件	38.1%
6. その他		35件	2.2%
5. 特につながりは無い	139人	139件	8.8%
無回答	35人	35件	2.2%
全 体	1583人	2937件	185.5%

問16 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで、小中学生にとって、もっとも期待できる効果とはどのようなことでしょうか。あてはまる番号に いくつでも〇印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 学力の向上	1505人	285件	18.0%
2. 社会的・職業的自立		480件	30.3%
3. 基本的生活習慣の定着		810件	51.2%
4. 思いやりの心を育む		1096件	69.2%
5. 体力の向上		348件	22.0%
6. 体験活動の充実		755件	47.7%
7. その他		47件	3.0%
8. わからない	44人	44件	2.8%
無回答	34人	34件	2.1%
全 体	1583人	3899件	246.3%

問17 あなたは、小中学校で、ボランティア活動に参加したことがありますか。あてはまる番号に 1つ〇印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. はい	444人	444件	28.0%
2. いいえ	1102人	1102件	69.6%
無回答	37人	37件	2.3%
全 体	1583人	1583件	100.0%

【問17の質問で「2（いいえ）」と回答した方にうかがいます。】

問18 学校のボランティア活動に参加しなかった理由は何ですか。あてはまる番号に いくつでも〇印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 興味はあるが、どこでどんな募集しているか分からなかった	1074人	261件	23.7%
2. 興味はあるが、近隣の学校での募集がなかった		61件	5.5%
3. 興味はあるが、自分の希望する募集がなかった		36件	3.3%
4. 興味はあるが、自分のスケジュールと合わなかった		109件	9.9%
5. 興味はあるが、忙しくてまったく時間的余裕がなかった		178件	16.2%
6. 学校のボランティア活動には興味がなかった		211件	19.1%
7. 今まで、機会がなかった		554件	50.3%
無回答	28人	28件	2.5%
全 体	1102人	1438件	130.5%

すべての方にうかがいます。

問19 あなたが小中学校でボランティア活動を支援するとしたなら、どのような活動に興味がありますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 授業におけるゲストティーチャー（講師）	1174人	179件	11.3%
2. 授業における教員の補助（丸付けなどの手伝い）		240件	15.2%
3. 部活動・クラブ活動の支援		401件	25.3%
4. 学校行事や校外活動の支援		525件	33.2%
5. 読み聞かせや学校図書館の整備		267件	16.9%
6. 花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備		436件	27.5%
7. その他		58件	3.7%
8. 学校でのボランティア活動に興味はない	231人	231件	14.6%
無回答	178人	178件	11.2%
全 体	1583人	2515件	158.9%

松戸市の図書館についておうかがいします。

問20 あなたは、松戸市の図書館をどのくらいの頻度で利用しますか。あてはまる番号に 1つ○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	6人	6件	0.4%
2. 週に1～2回程度	39人	39件	2.5%
3. 2週間に1回程度	99人	99件	6.3%
4. 月に1回程度	108人	108件	6.8%
5. 年に数回程度	333人	333件	21.0%
6. 数年に1回程度	319人	319件	20.2%
7. その他	44人	44件	2.8%
8. 利用したことがない	615人	615件	38.9%
無回答	20人	20件	1.3%
全 体	1583人	1583件	100.0%

【問 20 で「利用したことがない」と回答した方にお聞きします。】

問21 利用されないのは、なぜですか。あてはまる番号に いくつでも〇印 をつけてください。

選 択 肢	人 数	回 答 数	構 成 比
1. 図書館がどこにあるかわからない	609人	128件	20.8%
2. 交通が不便である		89件	14.5%
3. 遠い		80件	13.0%
4. 利用する時間がない		167件	27.2%
5. 利用したい本や雑誌など図書館資料が少ない		79件	12.8%
6. 開館日・時間が合わない		60件	9.8%
7. 自分で購入するので利用する必要がある		249件	40.5%
8. 他市の図書館を利用している		29件	4.7%
9. その他		87件	14.1%
無回答	6人	6件	1.0%
全 体	615人	974件	158.4%

すべての方にうかがいます。

問22 あなたは、どのような目的で図書館を利用しますか。あてはまる番号に いくつでも〇印 をつけてください。

選 択 肢	人 数	回 答 数	構 成 比
1. 趣味・娯楽のため	1461人	873件	55.1%
2. 仕事のため		188件	11.9%
3. 教養を得るため		433件	27.4%
4. 社会の出来事を知るため		78件	4.9%
5. 実用知識を得るため		432件	27.3%
6. 課題を解決するため		276件	17.4%
7. 学校の勉強のため		83件	5.2%
8. 子どもの本を選ぶため		218件	13.8%
9. 気分転換のため		341件	21.5%
10. その他		85件	5.4%
無回答	122人	122件	7.7%
全 体	1583人	3129件	197.7%

問23 あなたは、これからの図書館がどうあって欲しいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 地域の情報センター	1534人	476件	30.1%
2. 「知識の宝庫」・「知の殿堂」		430件	27.2%
3. 暮らしに役立つ知識や情報を得る場		678件	42.8%
4. 仕事や事業に役立つ知識や情報を得る場		361件	22.8%
5. 学業や研究に必要な知識や情報を得る場		439件	27.7%
6. 趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場		728件	46.0%
7. 子どもの成長を支える場		562件	35.5%
8. 郷土の歴史・文化を継承し、創造する場		370件	23.4%
9. 地域活動や市民交流の場		239件	15.1%
10. 気持ちが休まる憩いの場		527件	33.3%
11. 学生、生徒が自習できる場		641件	40.5%
12. その他		53件	3.3%
無回答	49人	49件	3.1%
全 体	1583人	5553件	350.8%

最後に、あなたご自身のことについておうかがいします、さしつかえのない範囲でお答えください。

問24 あなたの性別はつぎのどちらですか。あてはまる番号に 1つ○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 男性	674人	674件	42.6%
2. 女性	899人	899件	56.8%
無回答	10人	10件	0.6%
全 体	1583人	1583件	100.0%

問25 あなたの年齢はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に 1つ○印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 20～29歳	166人	166件	10.5%
2. 30～39歳	220人	220件	13.9%
3. 40～49歳	288人	288件	18.2%
4. 50～59歳	261人	261件	16.5%
5. 60～69歳	302人	302件	19.1%
6. 70歳以上	337人	337件	21.3%
無回答	9人	9件	0.6%
全 体	1583人	1583件	100.0%

問26 あなたの職業はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 正社員	400人	400件	25.3%
2. 公務員・団体職員など	59人	59件	3.7%
3. 自営業（農業を含む）	123人	123件	7.8%
4. アルバイトやパートなど（短期雇用契約社員・派遣社員を含む）	294人	294件	18.6%
5. 学生	36人	36件	2.3%
6. その他	51人	51件	3.2%
7. 家事に従事している	321人	321件	20.3%
8. 無職	262人	262件	16.6%
無回答	37人	37件	2.3%
全 体	1583人	1583件	100.0%

【問26で「1」～「6」と回答した方にうかがいます。】

問27 あなたの勤務先・通学先はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 市内	355人	355件	36.9%
2. 市外	151人	151件	15.7%
3. 東京都内	385人	385件	40.0%
4. その他	48人	48件	5.0%
無回答	24人	24件	2.5%
全 体	963人	963件	100.0%

すべての方にうかがいます。

問28 あなたは、松戸市に何年お住まいですか（他市町村に住んだことがある場合は、松戸市に通算で何年お住まいですか）。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる	160人	160件	10.1%
2. 5年未満	157人	157件	9.9%
3. 5年以上10年未満	153人	153件	9.7%
4. 10年以上15年未満	143人	143件	9.0%
5. 15年以上20年未満	153人	153件	9.7%
6. 20年以上	805人	805件	50.9%
無回答	12人	12件	0.8%
全 体	1583人	1583件	100.0%

問29 あなたの世帯（一緒に住んでいる方）はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に 1 つ〇印をつけてください。

選択肢	人数	回答数	構成比
1. ひとり世帯	178人	178件	11.2%
2. 夫婦のみ世帯（事実婚を含む）	438人	438件	27.7%
3. 親と子ども世帯の2世代世帯	741人	741件	46.8%
4. 親と子どもと孫の3世代以上の世帯	107人	107件	6.8%
5. その他	99人	99件	6.3%
無回答	20人	20件	1.3%
全 体	1583人	1583件	100.0%

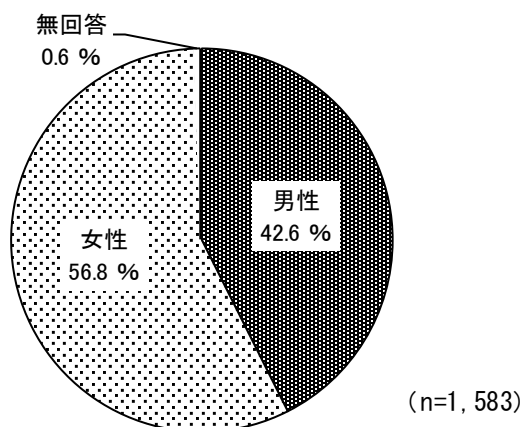
【問29で「3」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問30 同居家族のなかに小学生から中学生のお子様はいますか。あてはまる番号に 1 つ〇印をつけてください。

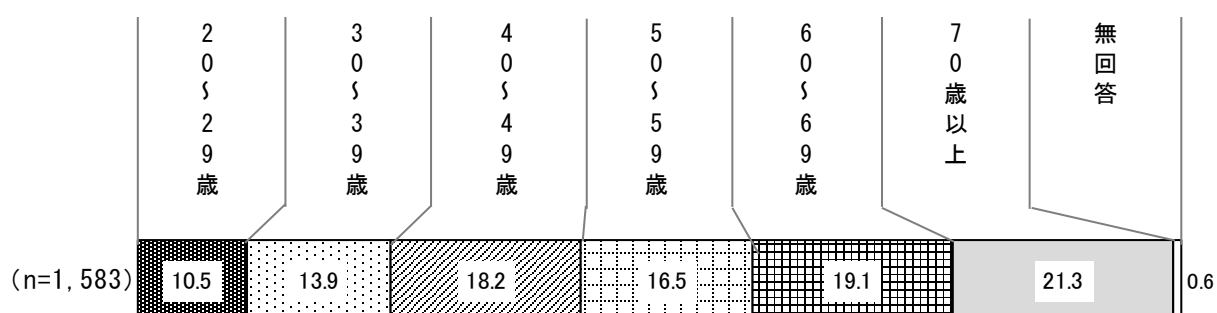
選択肢	人数	回答数	構成比
1. いる	263人	263件	27.8%
2. いない	680人	680件	71.8%
無回答	4人	4件	0.4%
全 体	947人	947件	100.0%

Ⅲ 回答者の属性

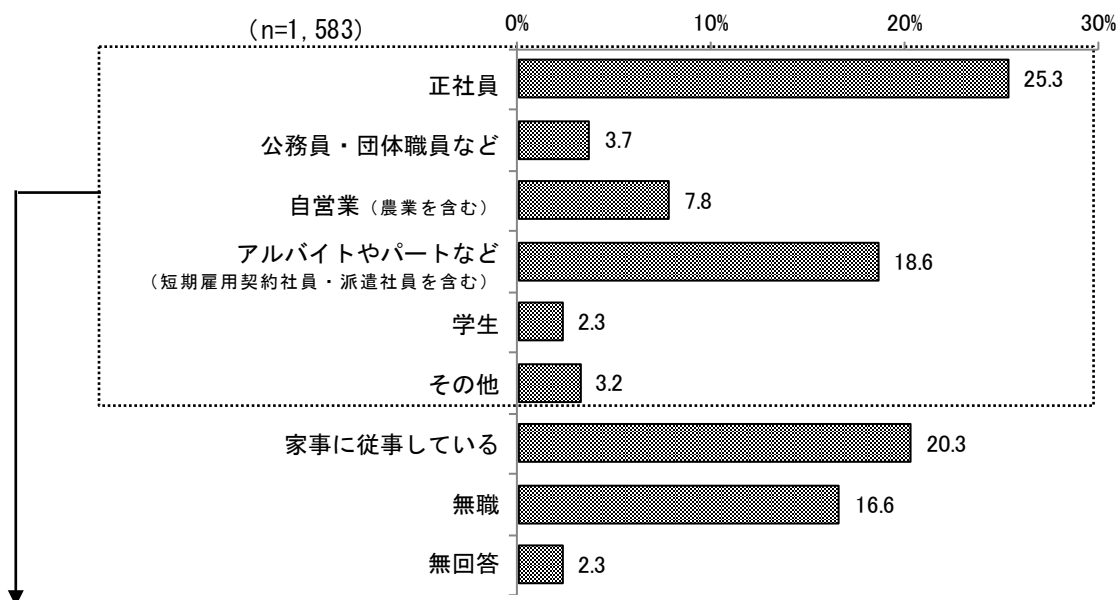
1. 性別



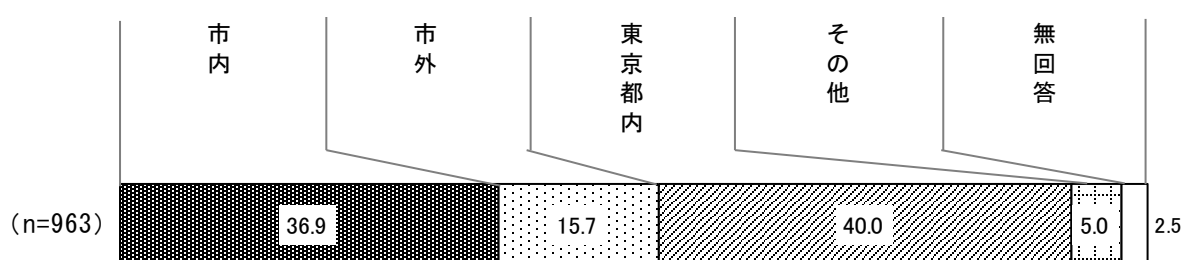
2. 年齢



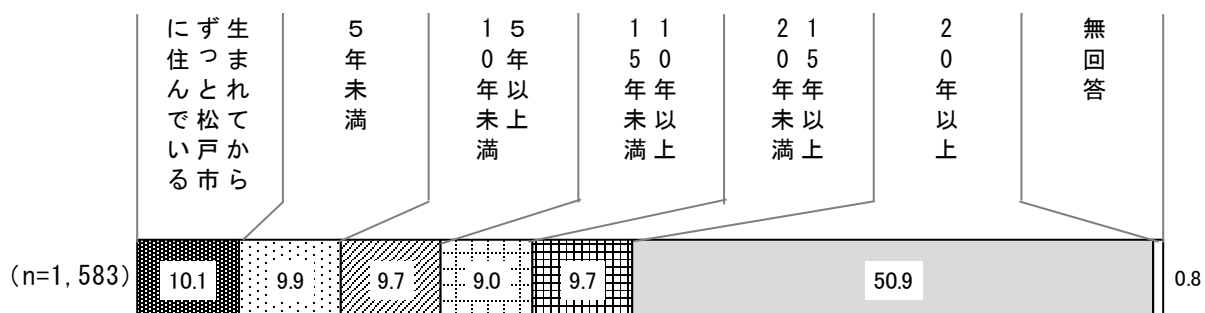
3. 職業



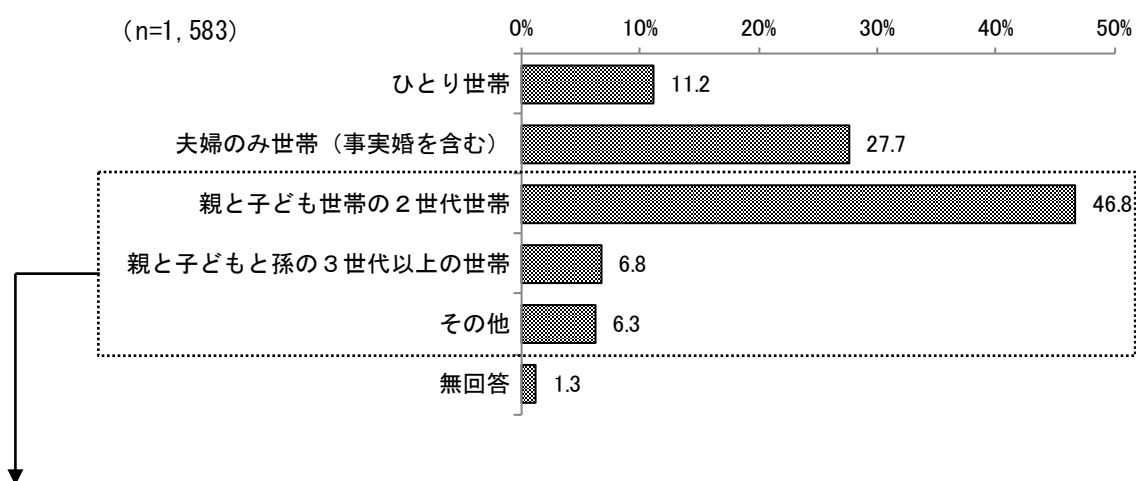
4. 勤務先・通学先



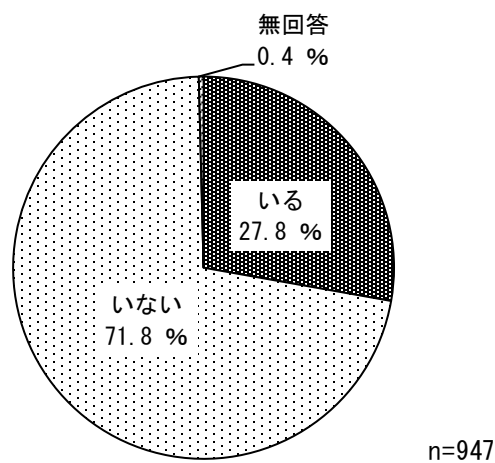
5. 松戸市の居住年数



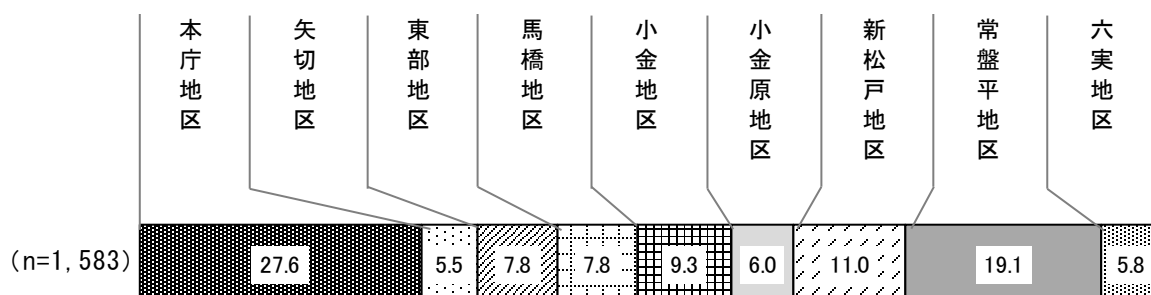
6. 世帯構成



7. 小学生から中学生までの子ども



8. 地区



IV 調査の結果

1. 生涯学習活動に対する考え方について

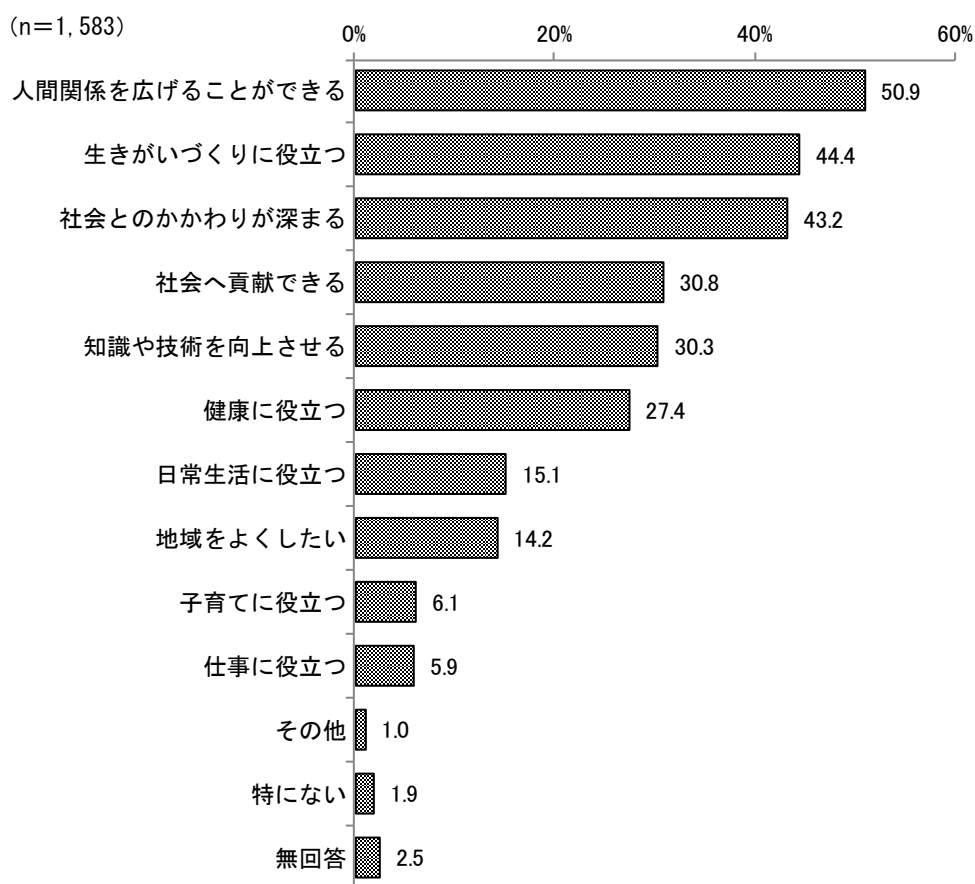
(1) 生涯学習活動の意義

◇ 男女ともに「人間関係を広げることができる」が約5割

問1 「生涯学習活動」の意義について、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。あてはまる番号に 3 つまで○印 をつけてください。

生涯学習活動の意義については、「人間関係を広げることができる」が50.9%と最も多く、次いで「生きがいがづくりに役立つ」(44.4%)、「社会とのかかわりが深まる」(43.2%)、「社会へ貢献できる」(30.8%)、「知識や技術を向上させる」(30.3%)、「健康に役立つ」(27.4%)となっている。

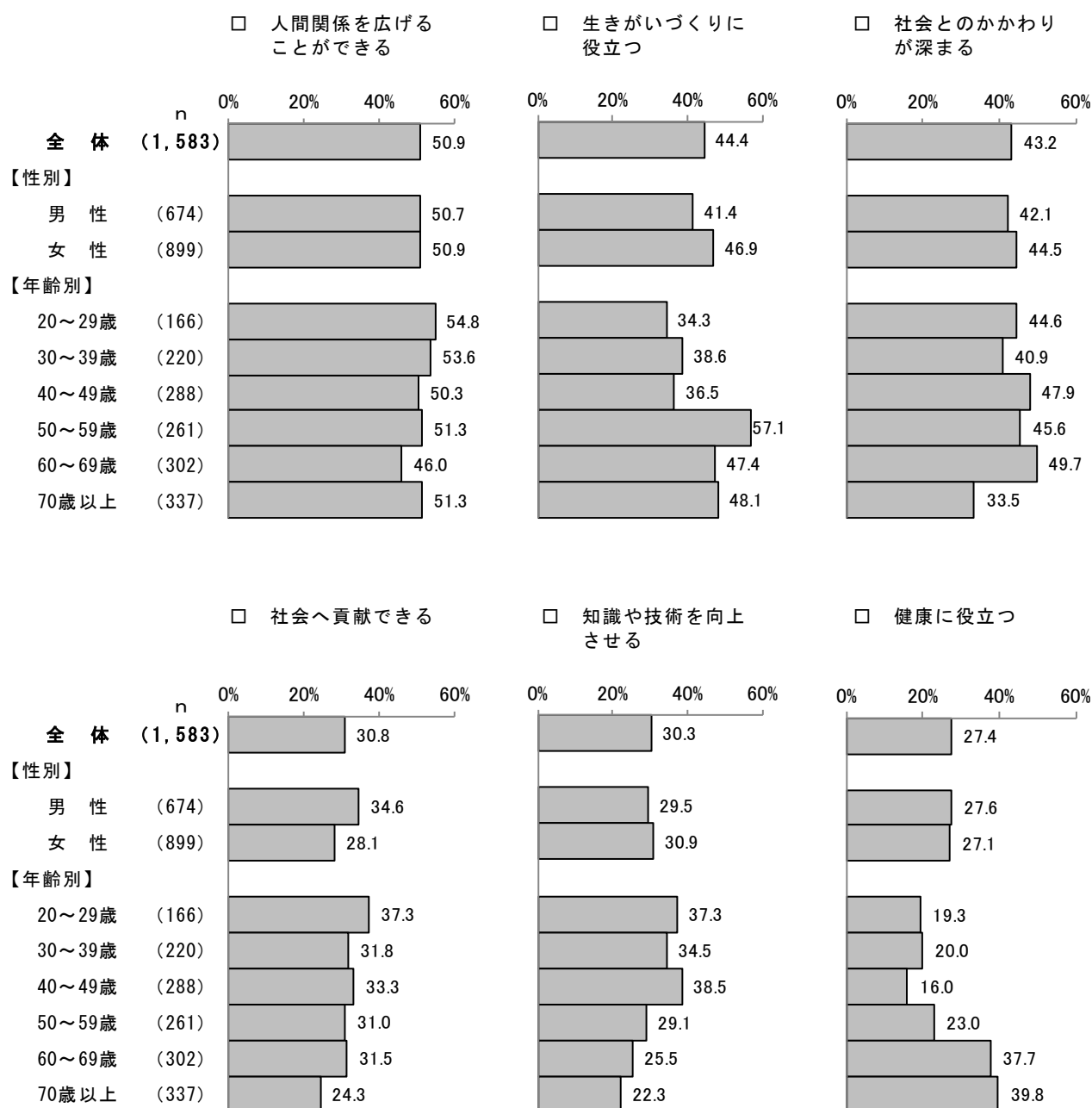
図表 1－1 「生涯学習活動」の意義



性別でみると、「人間関係を広げることができる」は男女ともに約5割となっている。「生きがいに役立つ」は女性（46.9%）が、男性（41.4%）を5.5ポイント上回っている。一方、「社会へ貢献できる」は男性（34.6%）が女性（28.1%）を6.5ポイント上回っている。

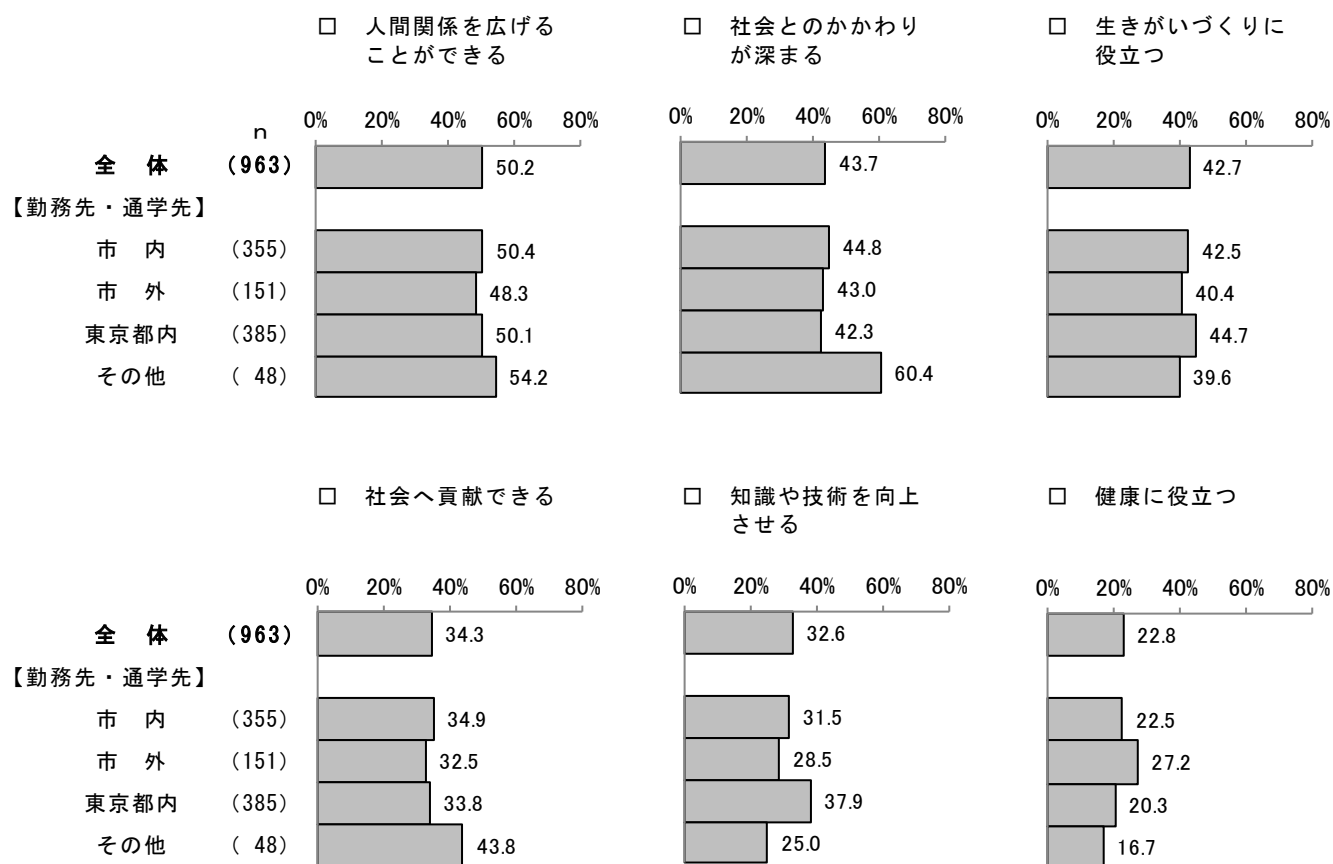
年齢別でみると、「人間関係を広げることができる」は20歳代と30歳代で5割台半ば近くとなっている。「生きがいに役立つ」は50歳代で5割台半ばを超えている。「社会とのかかわりが深まる」は70歳以上を除くすべての年代で4割を超えており、特に60歳代では5割弱となっている。

図表1－2 「生涯学習活動」の意義（性別 年齢別、上位6項目）



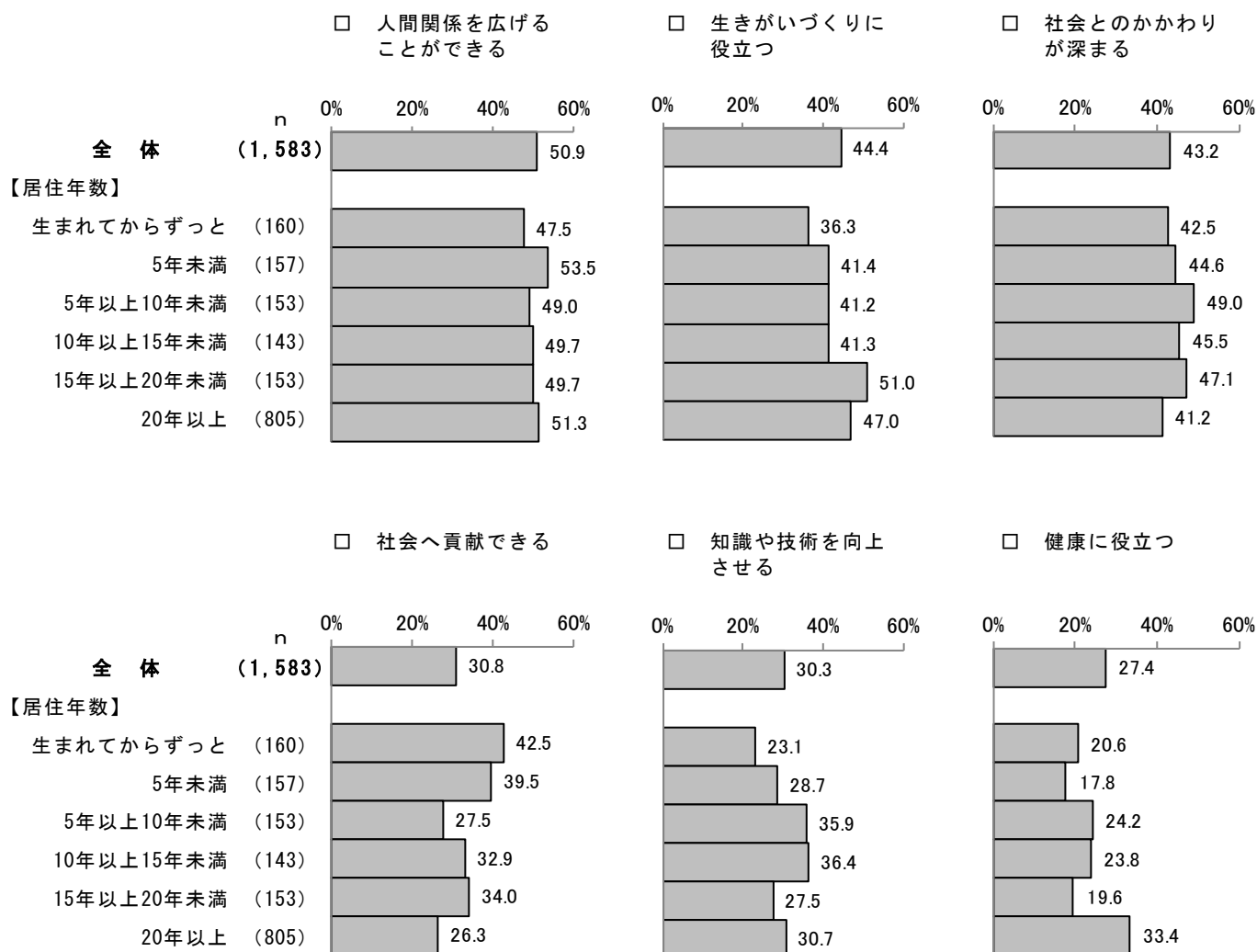
勤務先・通学先別でみると、「人間関係を広げることができる」は市内と東京都内で5割強となっている。「生きがいづくりに役立つ」は東京都内で4割台半ば近くとなっている。

図表 1－3 「生涯学習活動」の意義（勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「人間関係を広げることができる」は5年未満で5割台半ば近く、20年以上で5割強となっている。「生きがいがづくりに役立つ」は15年以上20年未満で5割強、20年以上で4割台半ばを超えている。「社会とのかかわりが深まる」は5年以上10年未満で5割弱となっている。

図表1－4 「生涯学習活動」の意義（居住年数別、上位6項目）



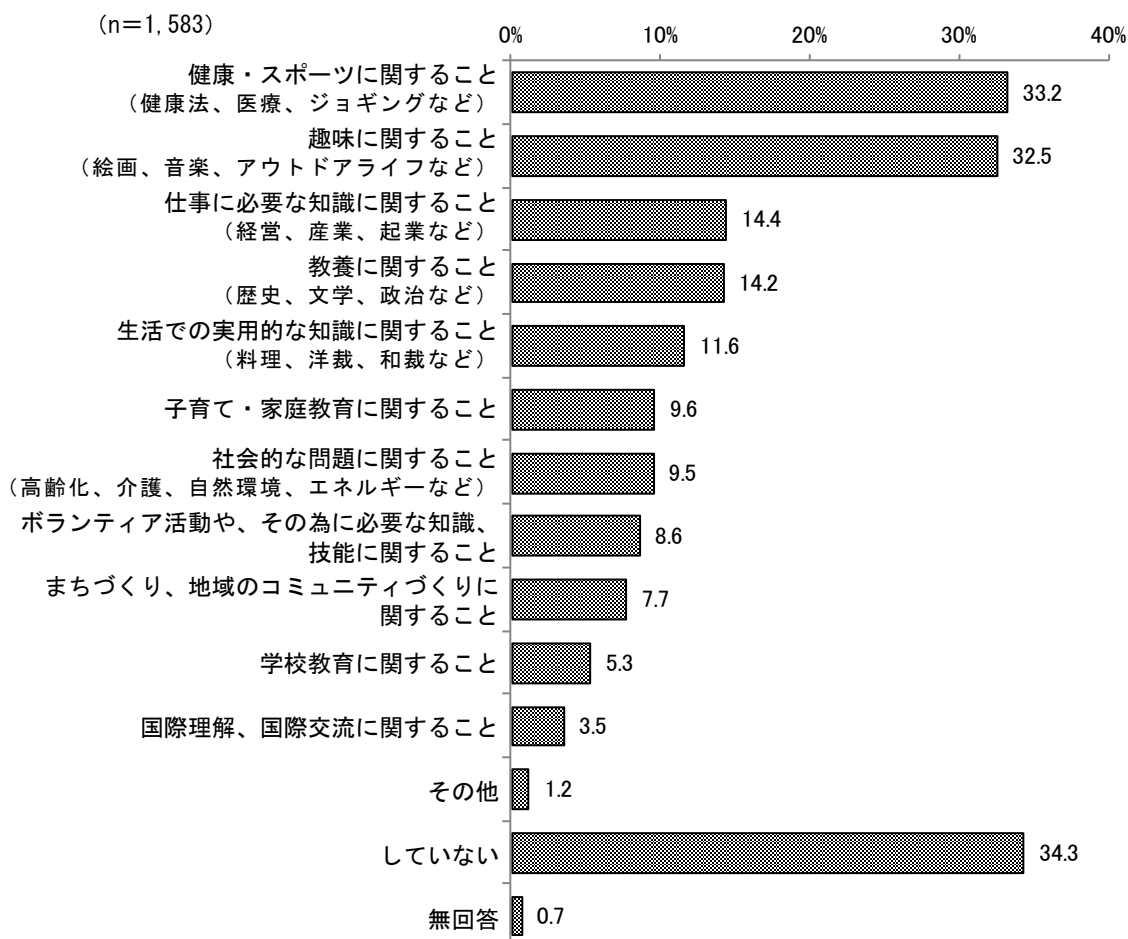
(2) 生涯学習活動の内容

◇ この１年くらいの間に生涯学習活動を行った人は６割台半ば

問２ あなたは、この１年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

この１年くらいに行った生涯学習活動の内容については、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」が33.2%と最も多く、次いで「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」(32.5%)、「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」(14.4%)、「教養に関すること（歴史、文学、政治など）」(14.2%) となっている。一方、「していない」は34.3%と３割台半ば近くとなっている。

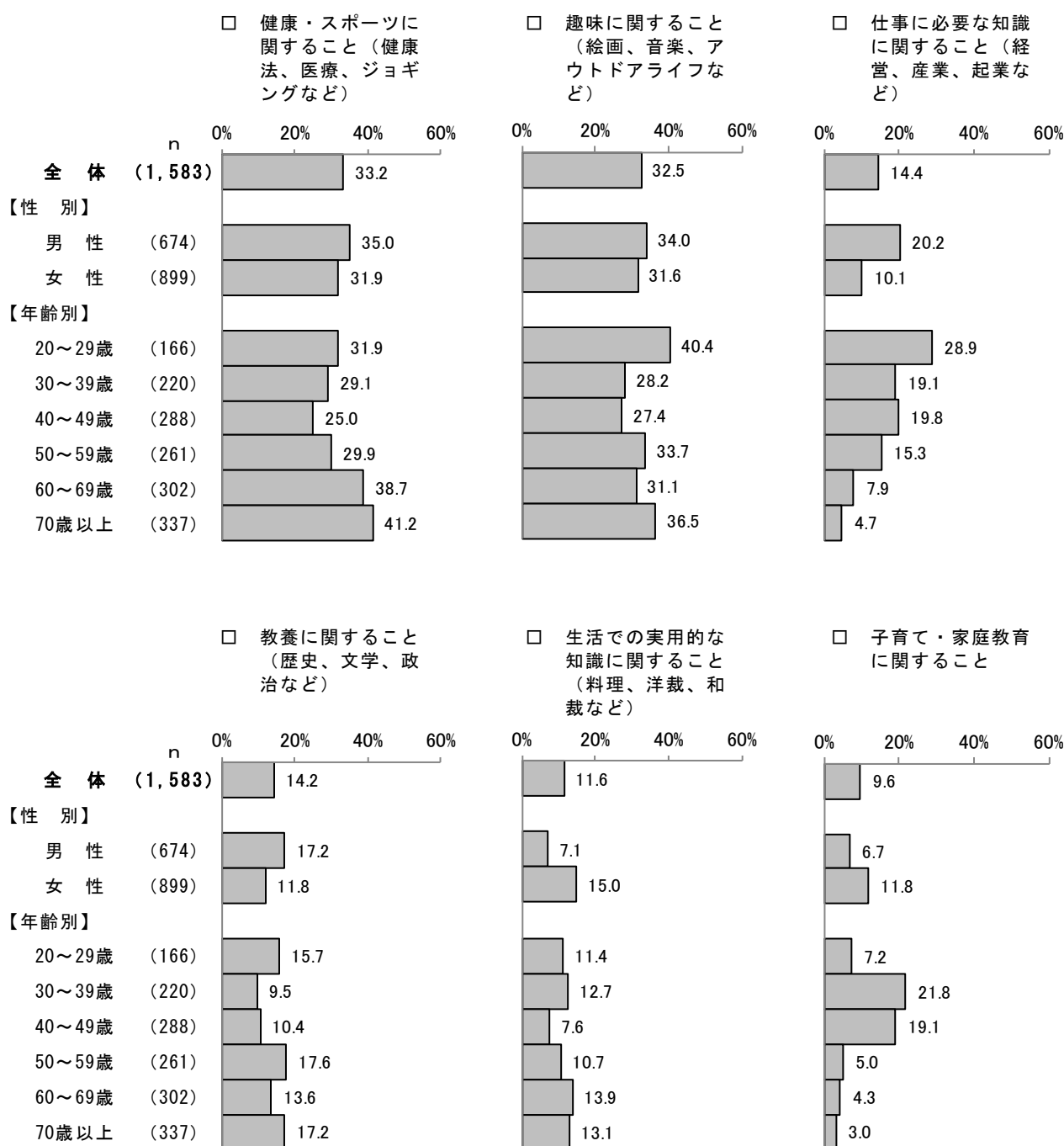
図表１－５ 生涯学習活動の内容



性別でみると、上位2項目である「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」と「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は男女ともに3割を超えている。「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は男性（20.2%）が女性（10.1%）を10.1ポイント上回っている。一方、「生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）」は女性（15.0%）が男性（7.1%）を7.9ポイント上回っている。

年齢別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は70歳以上で4割強、60歳代で4割近くとなっている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は20歳で約4割となっている。「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は20歳で3割近くとなっているが、60歳代と70歳以上では1割未満となっている。「子育て・家庭教育に関すること」は30歳代で2割強、40歳代で2割弱となっている。

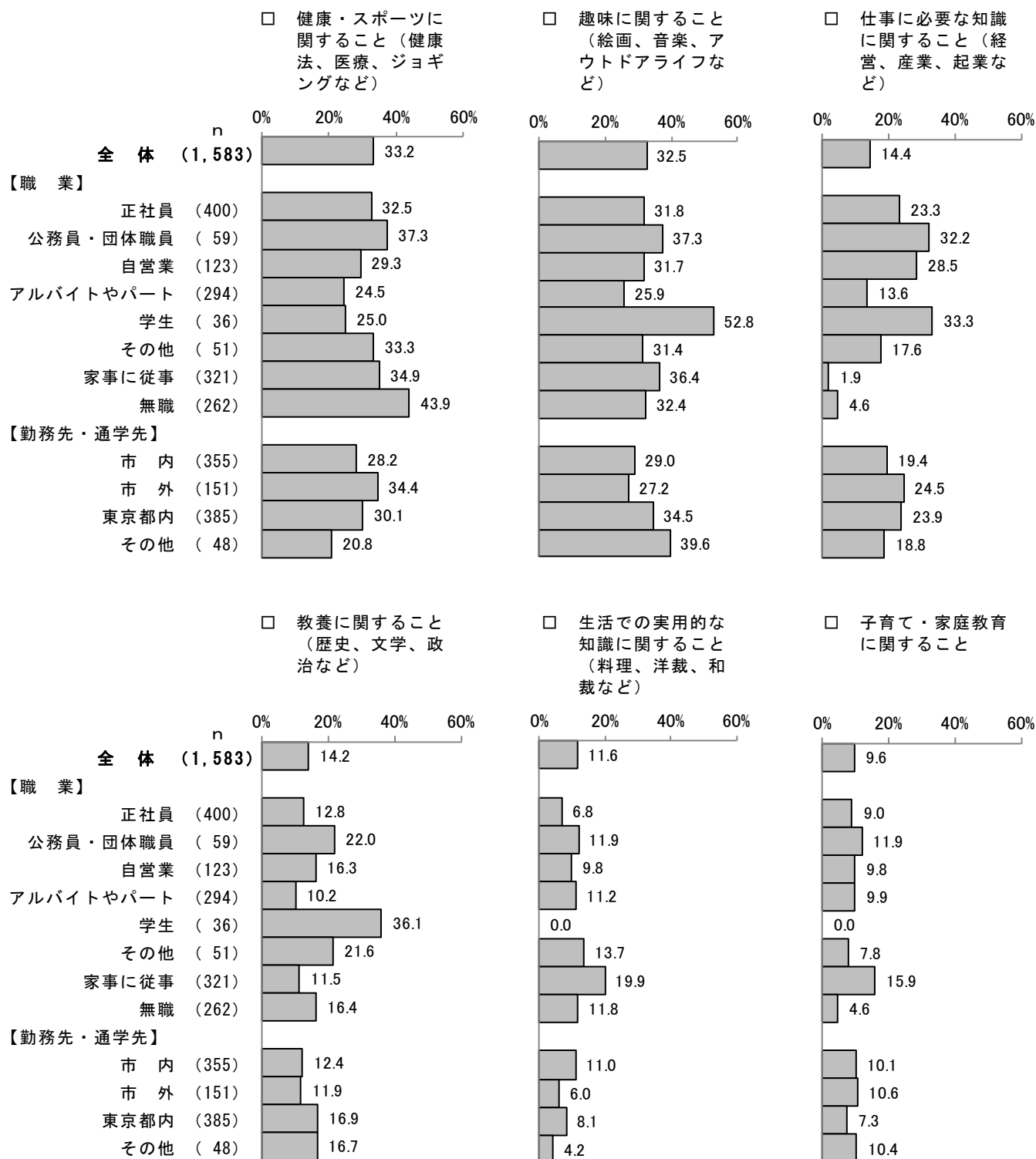
図表1-6 生涯学習活動の内容（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は無職で4割台半ば近くとなっている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は学生で5割半ば近くとなっている。

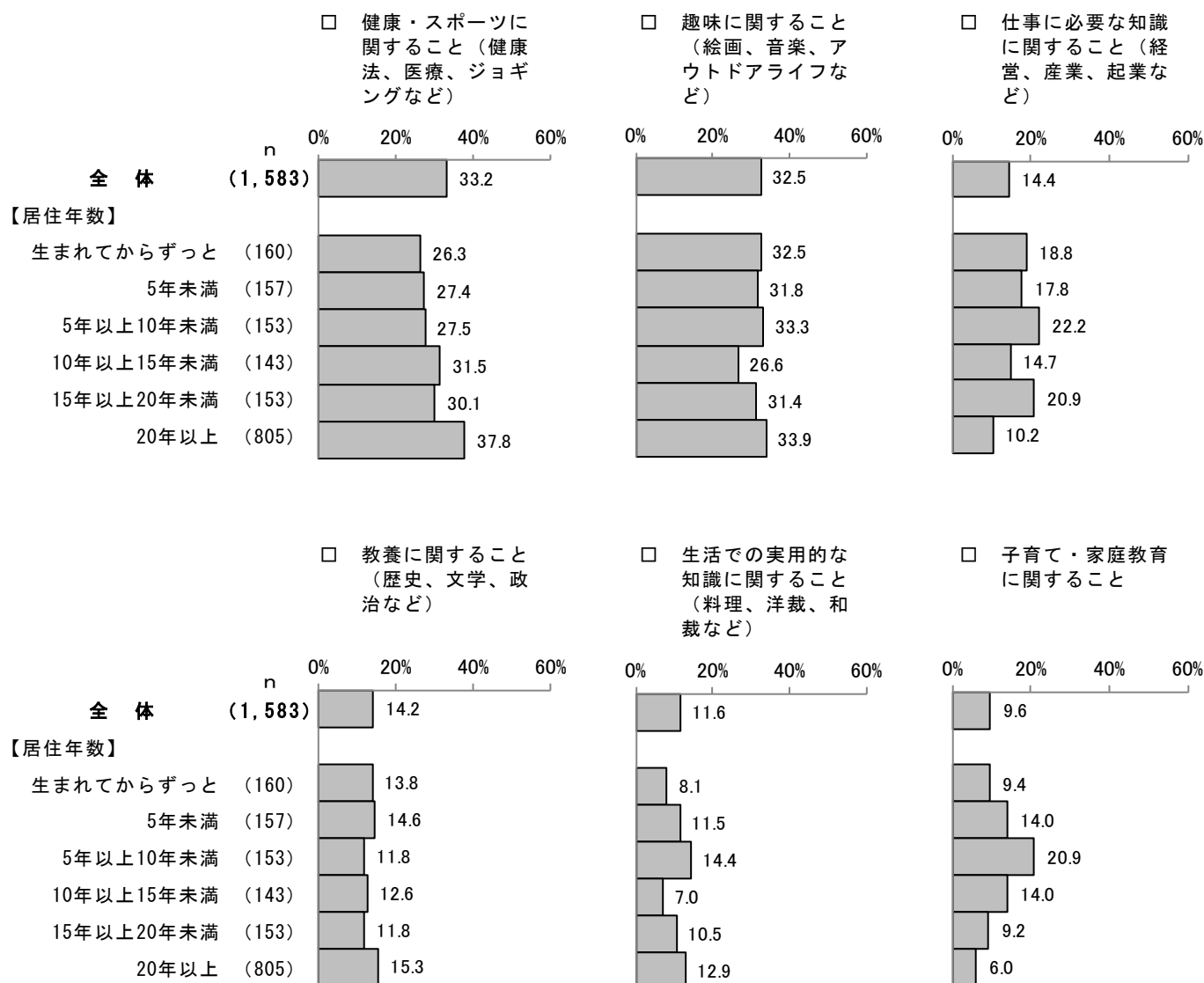
勤務先・通学先別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は市外で3割台半ば近く、「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は東京都内で3割台半ば近くとなっている。また、「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は市外と東京都内で2割台半ば近くとなっている。

図表 1-7 生涯学習活動の内容（職業別 勤務先・通学先別、上位 6 項目）



居住年数別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は20年以上で3割台半ばを超えている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は10年以上15年未満以外では3割を超えている。「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は5年生以上10年未満と15年以上20年未満で2割を超えている。「子育て・家庭教育に関すること」は5年以上から10年未満で2割強となっている。

図表1－8 生涯学習活動の内容（居住年数別、上位6項目）



(3) 生涯学習活動の方法

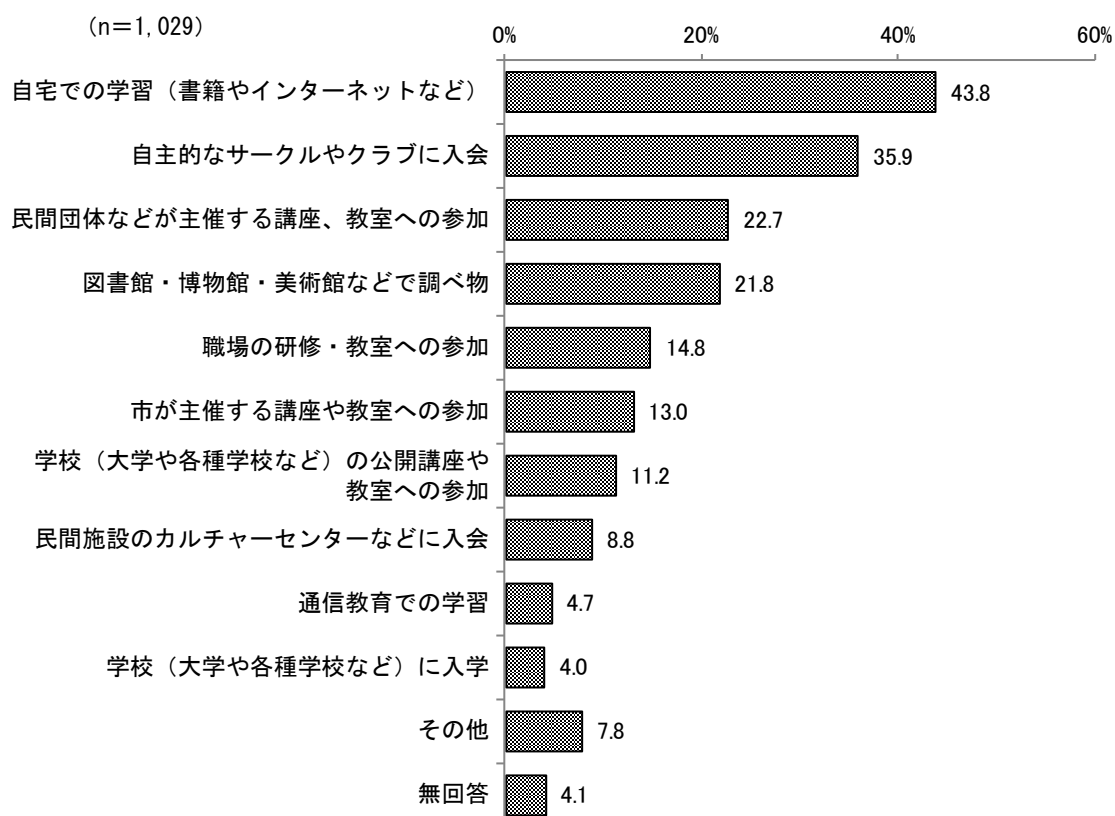
◇ 「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」が4割台半ば近く

【問2で「1」から「12」と回答した方にうかがいます。】

問3 どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

生涯学習活動の方法については、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」が43.8%と最も多く、次いで「自主的なサークルやクラブに入会」（35.9%）、「民間団体などが主催する講座、教室への参加」（22.7%）、「図書館・博物館・美術館などで調べ物」（21.8%）となっている。

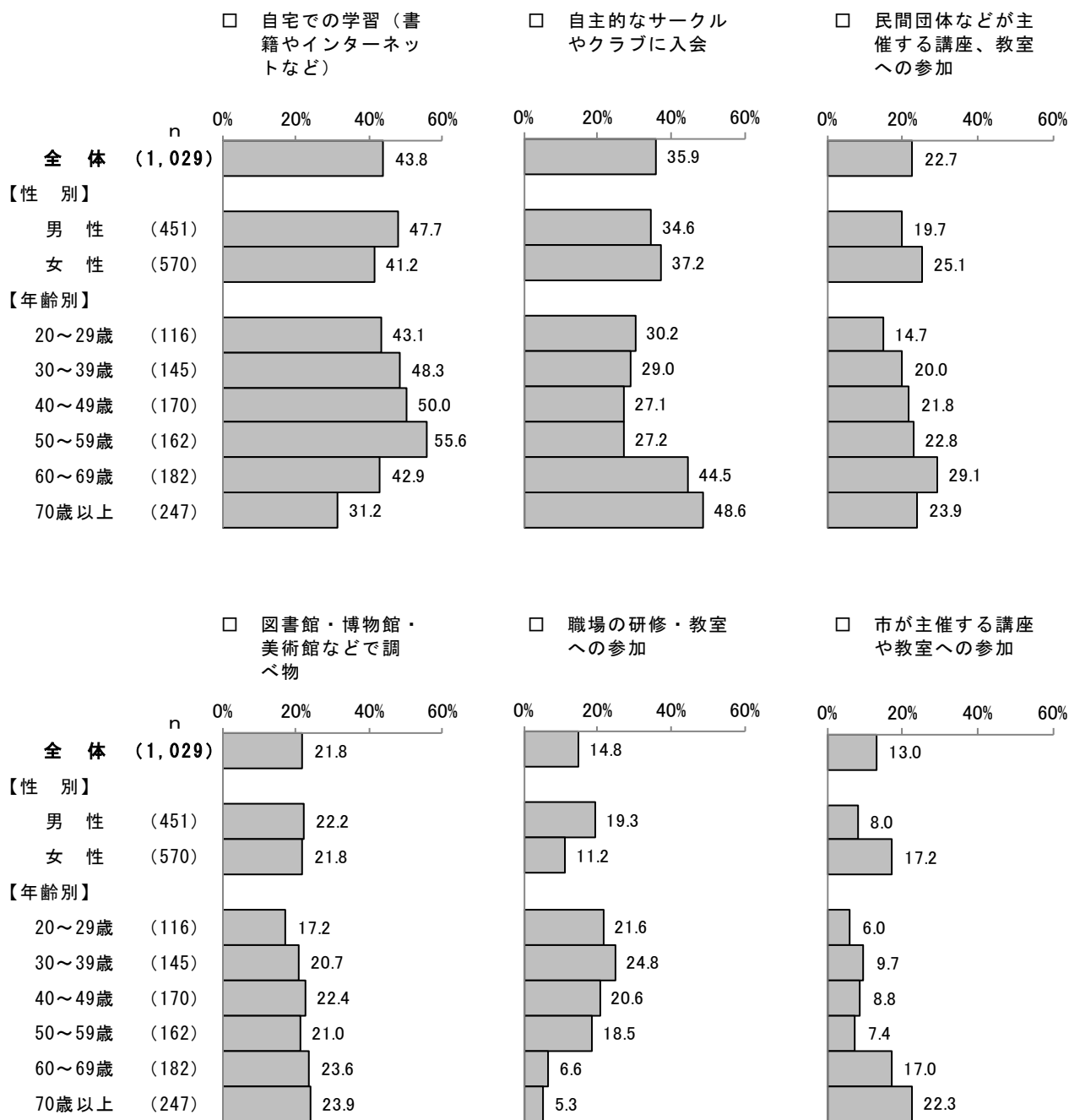
図表1-9 生涯学習活動の方法



性別でみると、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」は男性（47.7%）が女性（41.2%）を6.5ポイント上回っている。また「職場の研修・教室への参加」でも男性（19.3%）が女性（11.2%）を8.1ポイント上回っている。一方、「市が主催する講座や教室への参加」は女性（17.2%）が男性（8.0%）を9.2ポイント上回っている。

年齢別でみると、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」は50歳代で5割台半ば、40歳代で5割となっている。「自主的なサークルやクラブに入会」は60歳代で4割台半ば近く、70歳以上で5割近くとなっている。

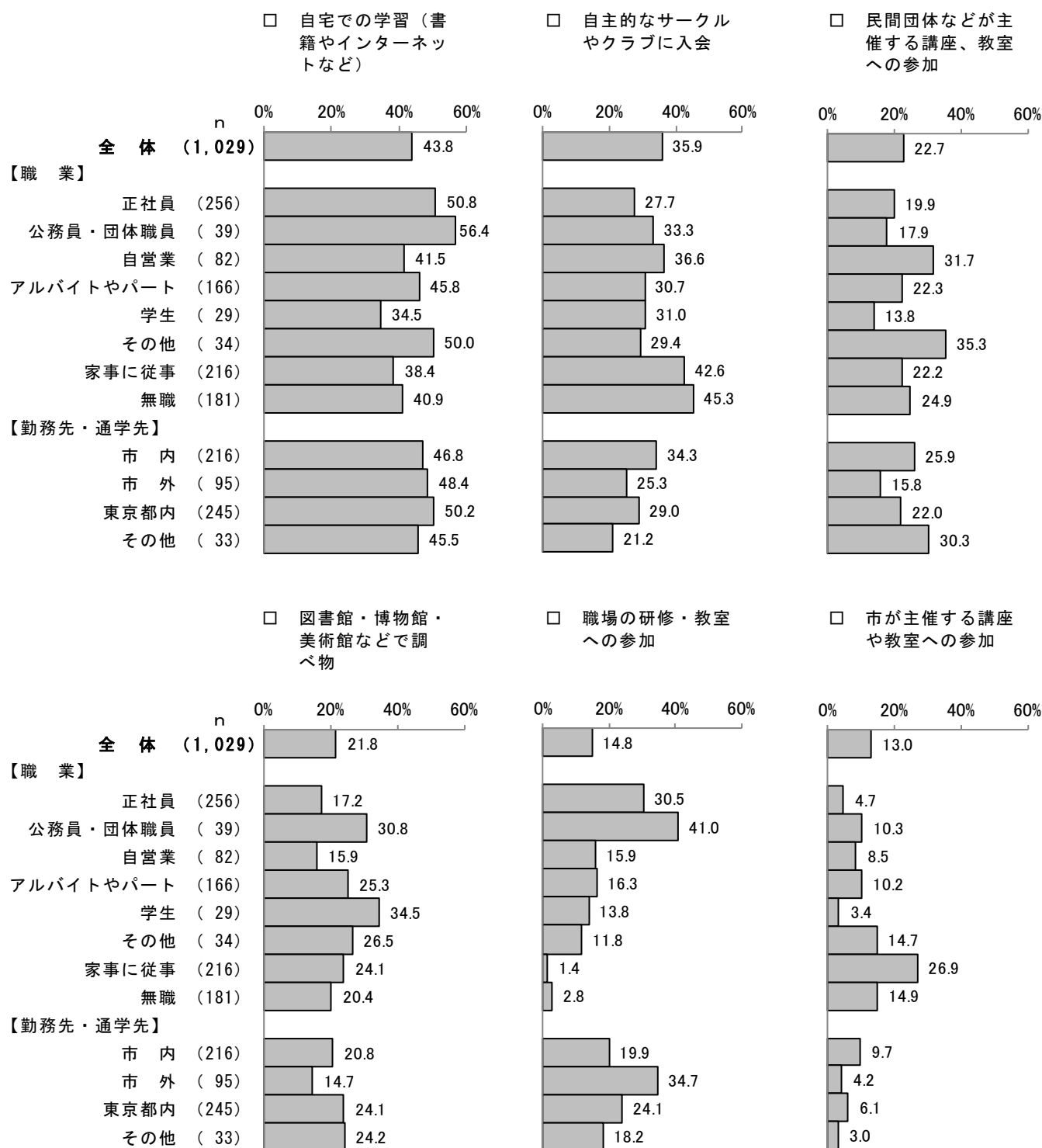
図表1-10 生涯学習活動の方法（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」は公務員・団体職員で5割台半ばを超え、正社員で5割強となっている。「自主的なサークルやクラブに入会」は無職で4割台半ば、家事に従事で4割台半ば近くとなっている。「民間団体などが主催する講座、教室への参加」は自営業で3割強となっている。「職場の研修・教室への参加」は公務員・団体職員で4割強となっている。

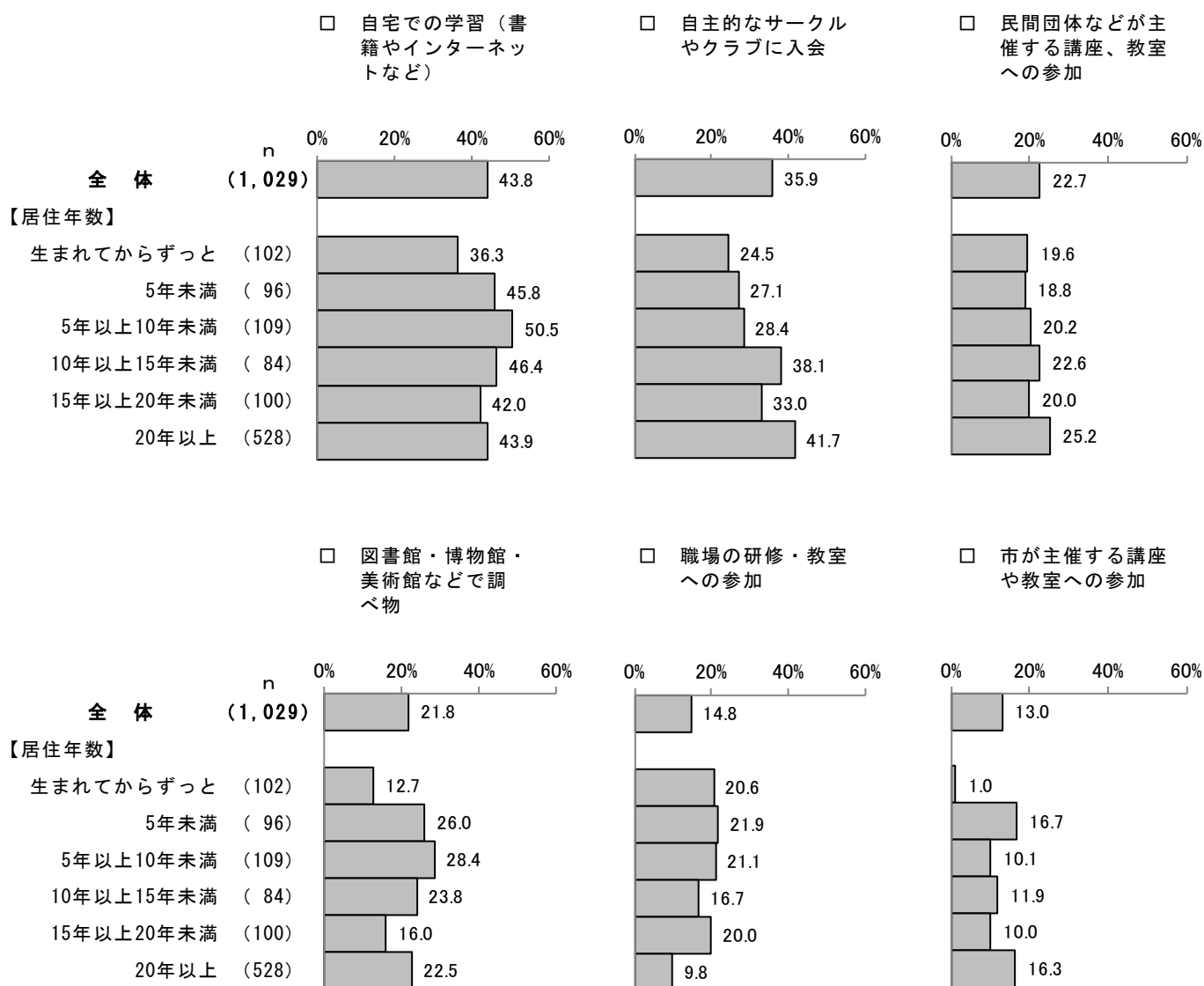
勤務先・通学先別でみると、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」は東京都内で約5割となっている。「自主的なサークルやクラブに入会」は市内で3割台半ば近く、「職場の研修・教室への参加」は市外で3割台半ば近くとなっている。

図表 1-11 生涯学習活動の方法（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「自宅での学習（書籍やインターネットなど）」は5年以上10年未満で約5割、「自主的なサークルやクラブに入会」は20年以上で4割強となっている。

図表 1-12 生涯学習活動の方法（居住年数別、上位6項目）



(4) 生涯学習活動をしなかった理由

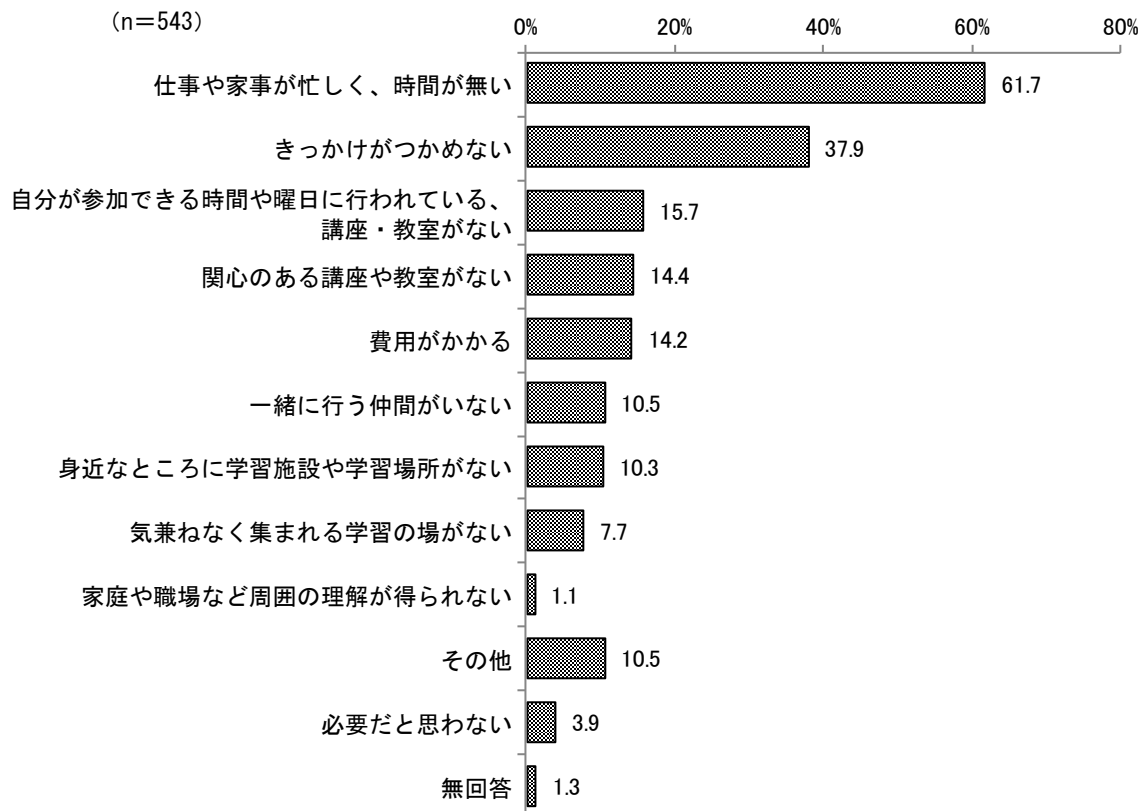
◇ 「仕事や家事が忙しく、時間が無い」が6割強

【問2で「13（していない）」と回答した方にうかがいます。】

問4 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」をしなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習活動をしなかった理由については、「仕事や家事が忙しく、時間が無い」が61.7%と最も多く、次いで「きっかけがつかめない」(37.9%)、「自分が参加できる時間や曜日に行われている、講座・教室がない」(15.7%)、「関心のある講座や教室がない」(14.4%)、「費用がかかる」(14.2%)となっている。

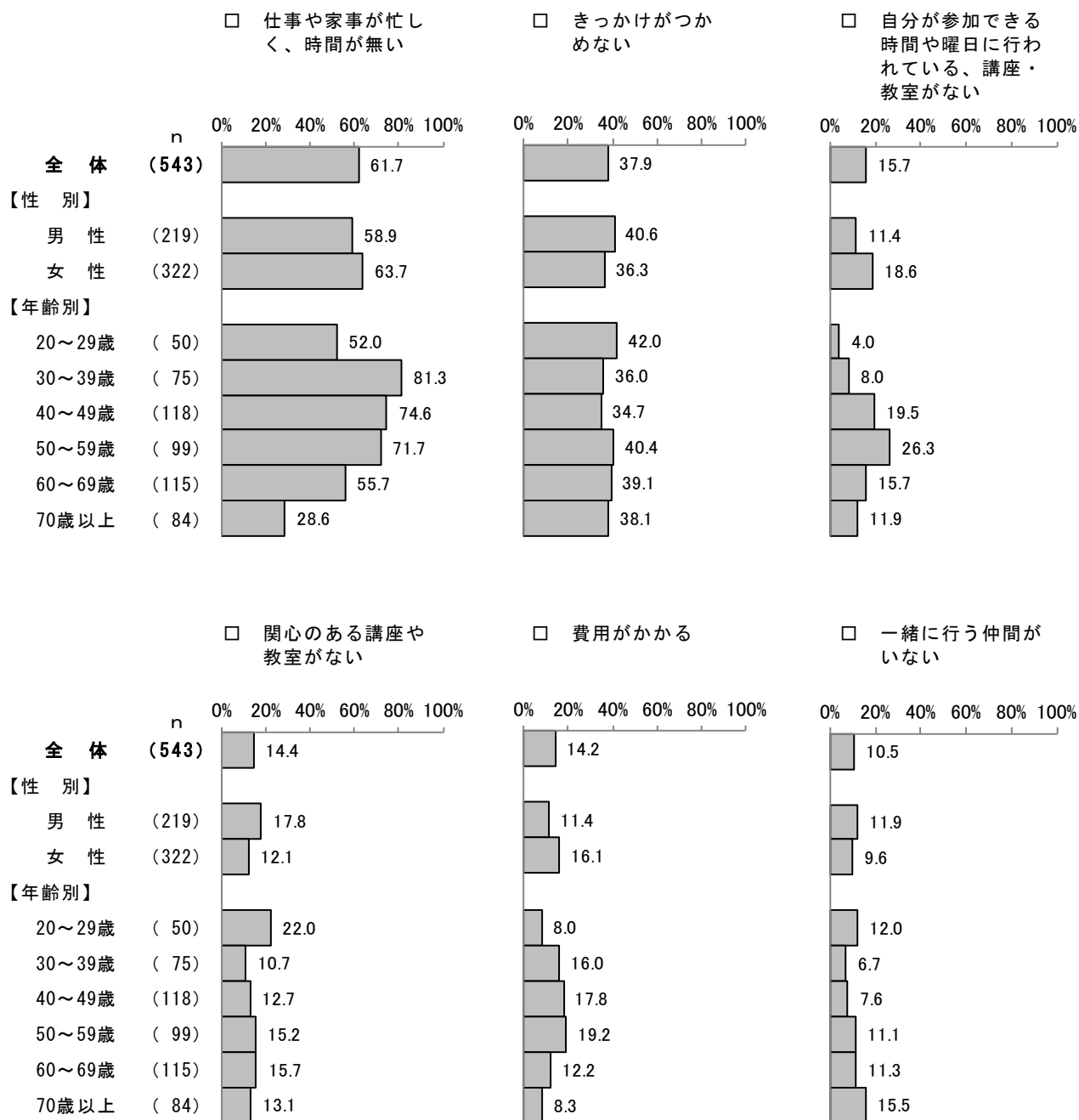
図表1-13 生涯学習活動をしなかった理由



性別でみると、「仕事や家事が忙しく、時間が無い」は女性が63.7%と6割台半ば近くとなっており、男性（58.9%）を4.8ポイント上回っている。また「自分が参加できる時間や曜日に行われている、講座・教室がない」も女性（18.6%）が男性（11.4%）を7.2ポイント上回っている。一方「関心のある講座や教室がない」は男性（17.8%）が女性（12.1%）を5.7ポイント上回っている。

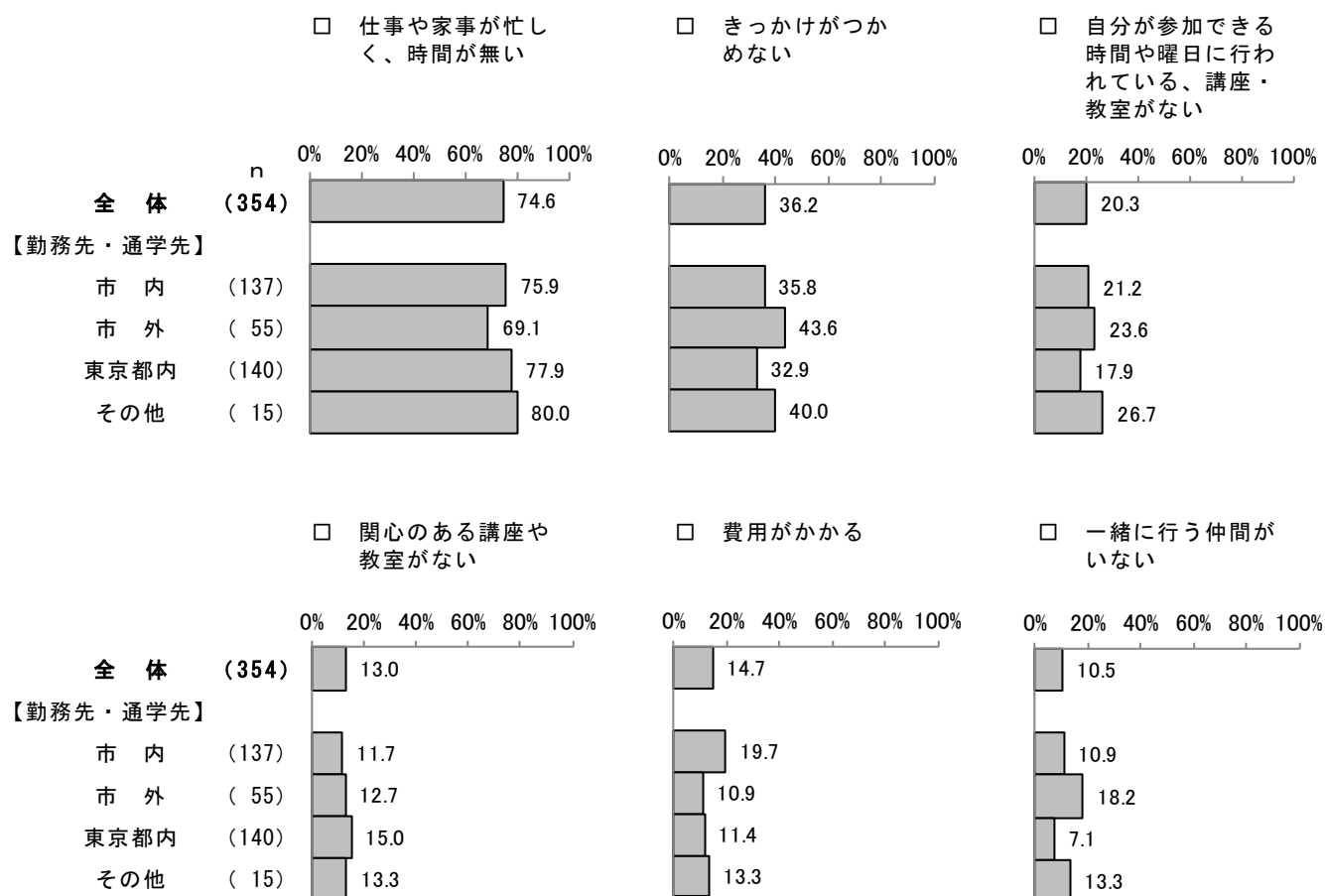
年齢別でみると、「仕事や家事が忙しく、時間が無い」は30歳代で8割強となっている。「自分が参加できる時間や曜日に行われている、講座・教室がない」と「費用がかかる」は50歳代までは年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

図表 1-14 生涯学習活動をしなかった理由（性別 年齢別、上位6項目）



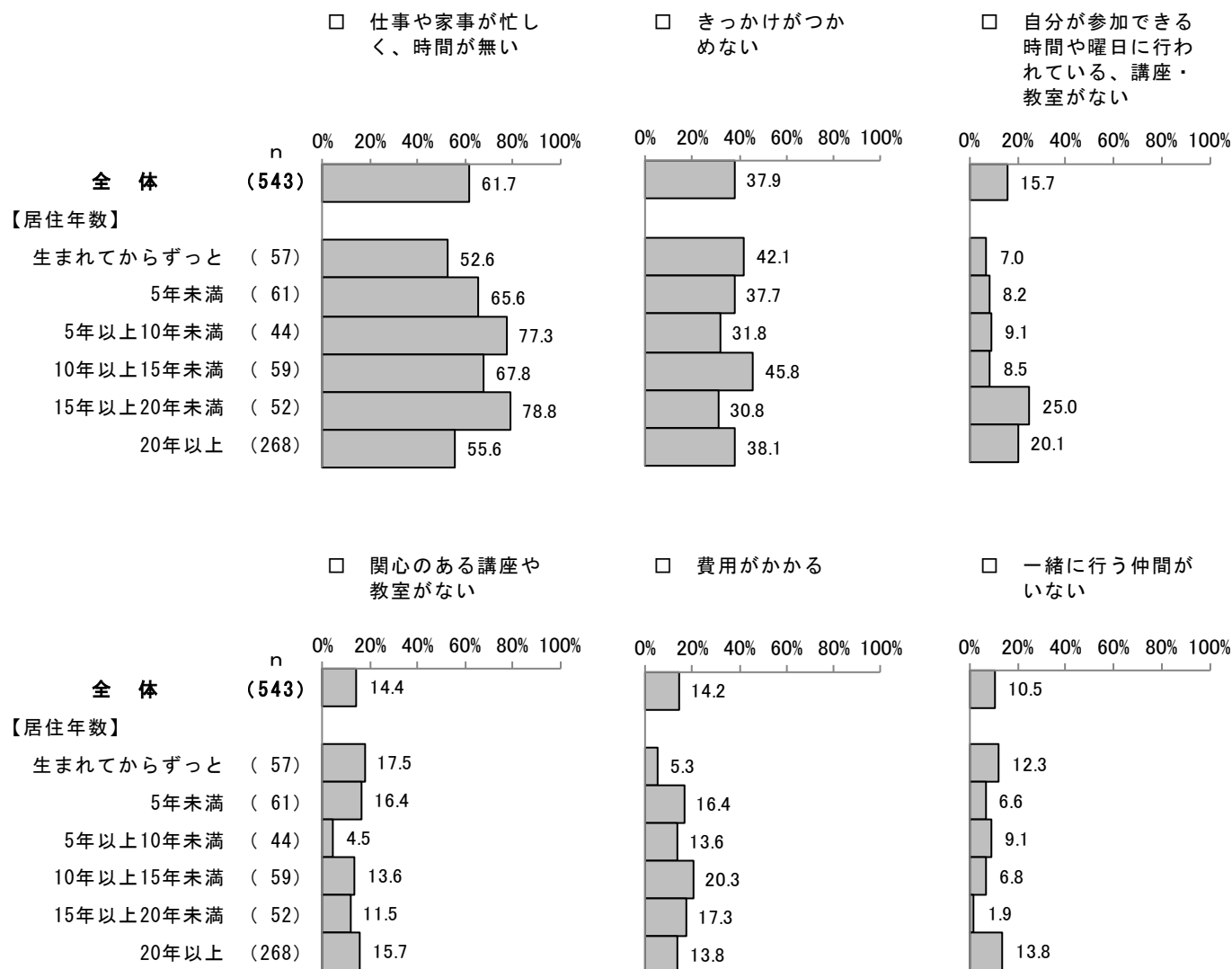
勤務先・通学先別でみると、「仕事や家事が忙しく、時間が無い」は市内と東京都内では7割台半ばを超えている。「きっかけがつかめない」は市外で4割台半ば近くとなっている。

図表 1－15 生涯学習活動をしなかった理由（勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「仕事や家事が忙しく、時間が無い」は15年以上20年未満で8割近く、5年以上10年未満で7割台半ばを超えている。「きっかけがつかめない」は10年以上15年未満で4割台半ば、生まれてからずっとで4割強となっている。

図表1-16 生涯学習活動をしなかった理由（居住年数別、上位6項目）



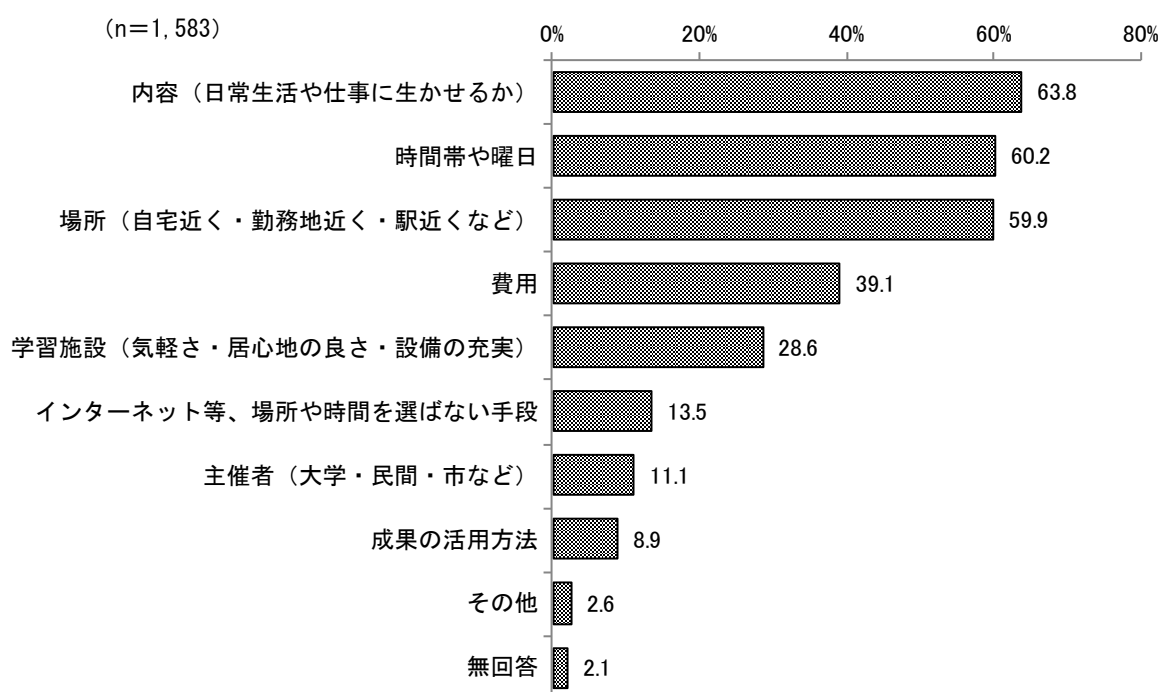
(5) 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること

◇ 「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」が6割台半ば近く

問5 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先することは何ですか。あてはまる番号に いくつでも○印をつけてください。

生涯学習活動に取り組もうとする際に優先することについては、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」が63.8%と最も多く、次いで「時間帯や曜日」（60.2%）、「場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）」（59.9%）、「費用」（39.1%）、「学習施設（気軽さ・居心地の良さ・設備の充実）」（28.6%）となっている。

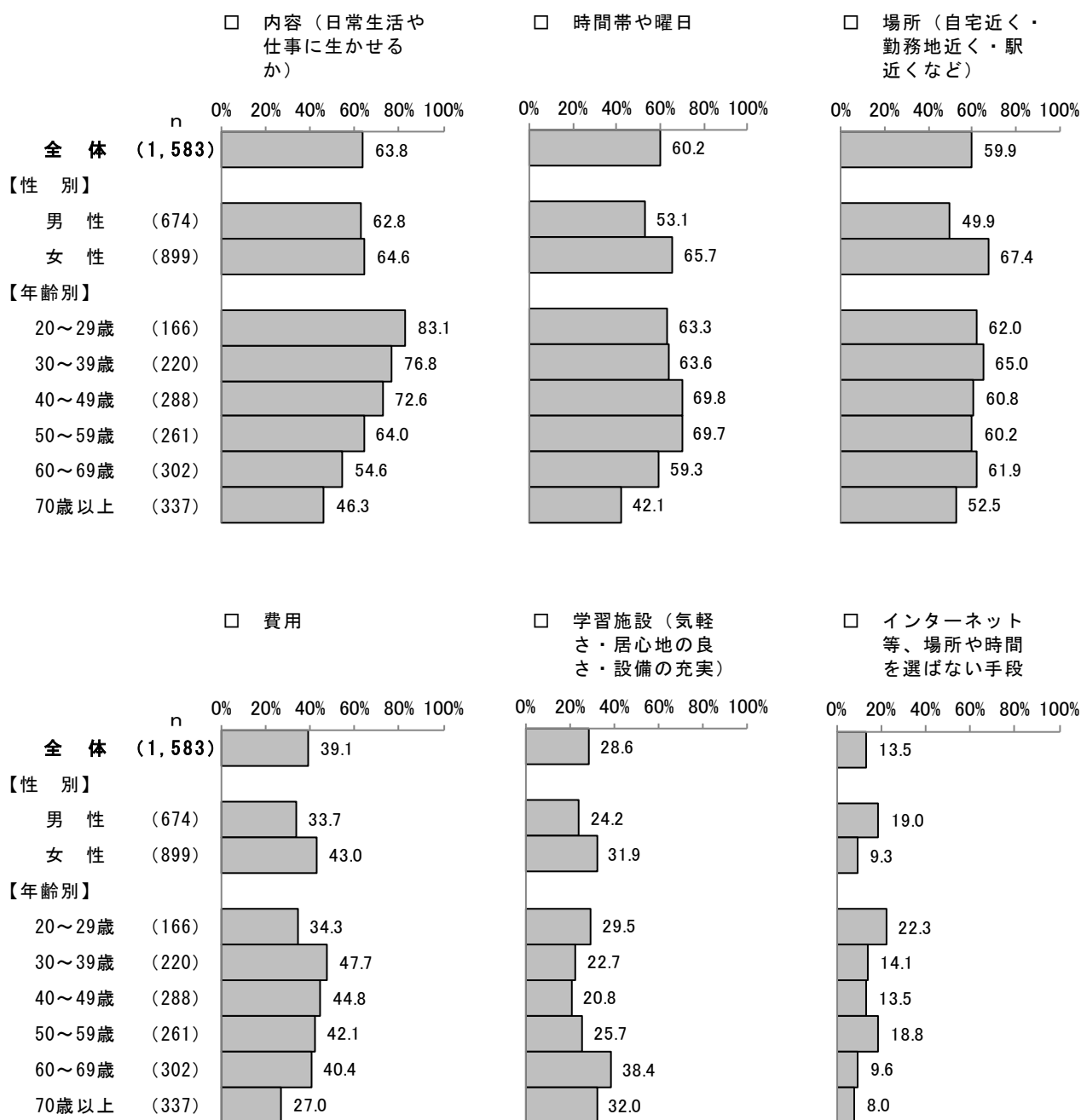
図表 1-17 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること



性別でみると、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」は男女ともに6割を超えている。「時間帯や曜日」は女性（65.7%）が男性（53.1%）を12.6ポイント上回っている。また「場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）」も女性（67.4%）が男性（49.9%）を17.5ポイント上回っている。一方、「インターネット等、場所や時間を選ばない手段」は男性（19.0%）が女性（9.3%）を9.7ポイント上回っている。

年齢別でみると、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」は20歳代では8割台半ば近くとなっており、年代が高くなるにつれて割合は低くなっている。「時間帯や曜日」は40歳代と50歳代で7割弱となっている。「場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）」は70歳以上を除く年代では6割を超えている。

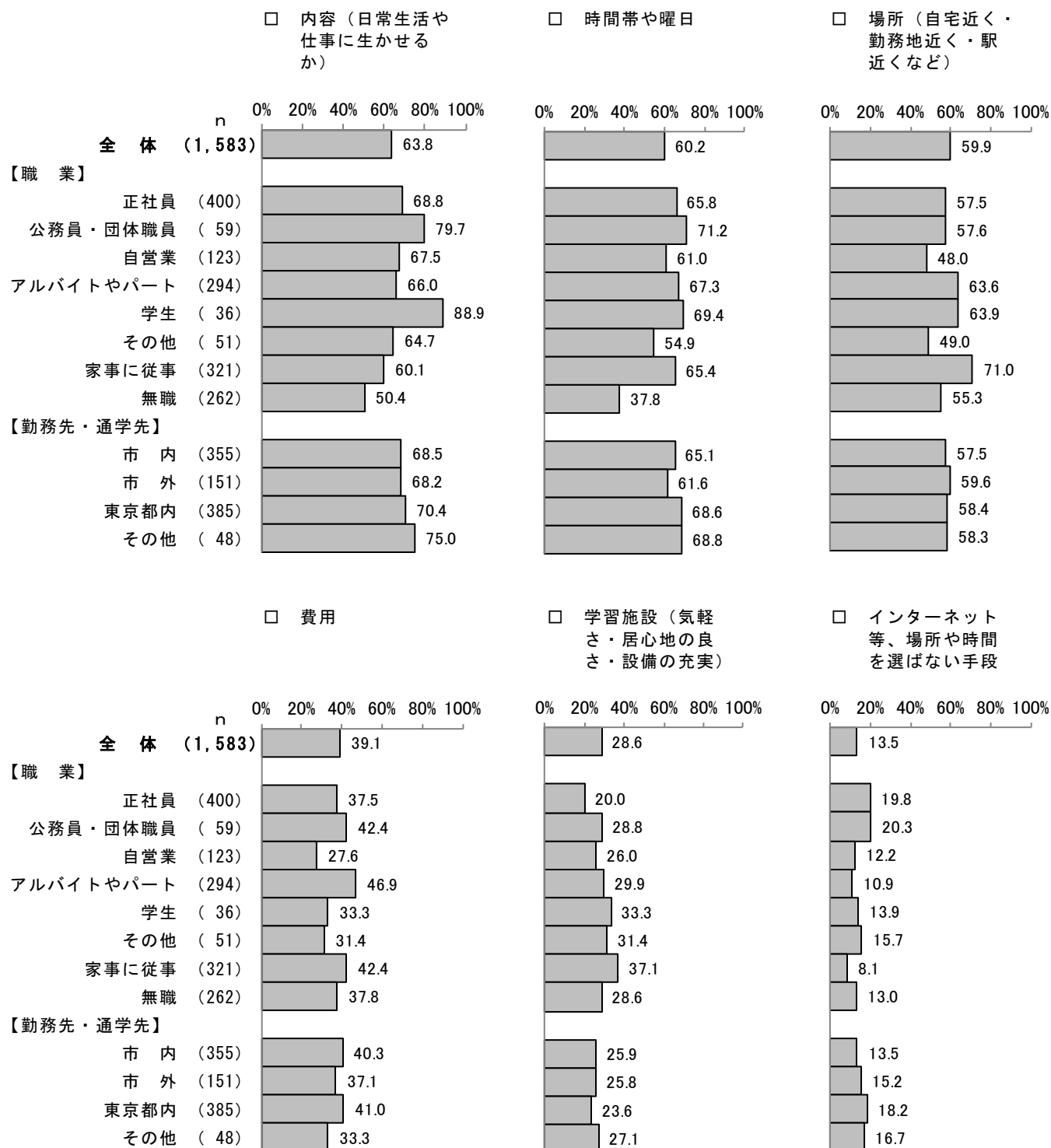
図表1-18 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」は学生で9割近く、公務員・団体職員で8割弱となっている。「時間帯や曜日」は公務員・団体職員で7割強、学生で7割弱となっている。「場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）」は家事に従事で7割強となっている。

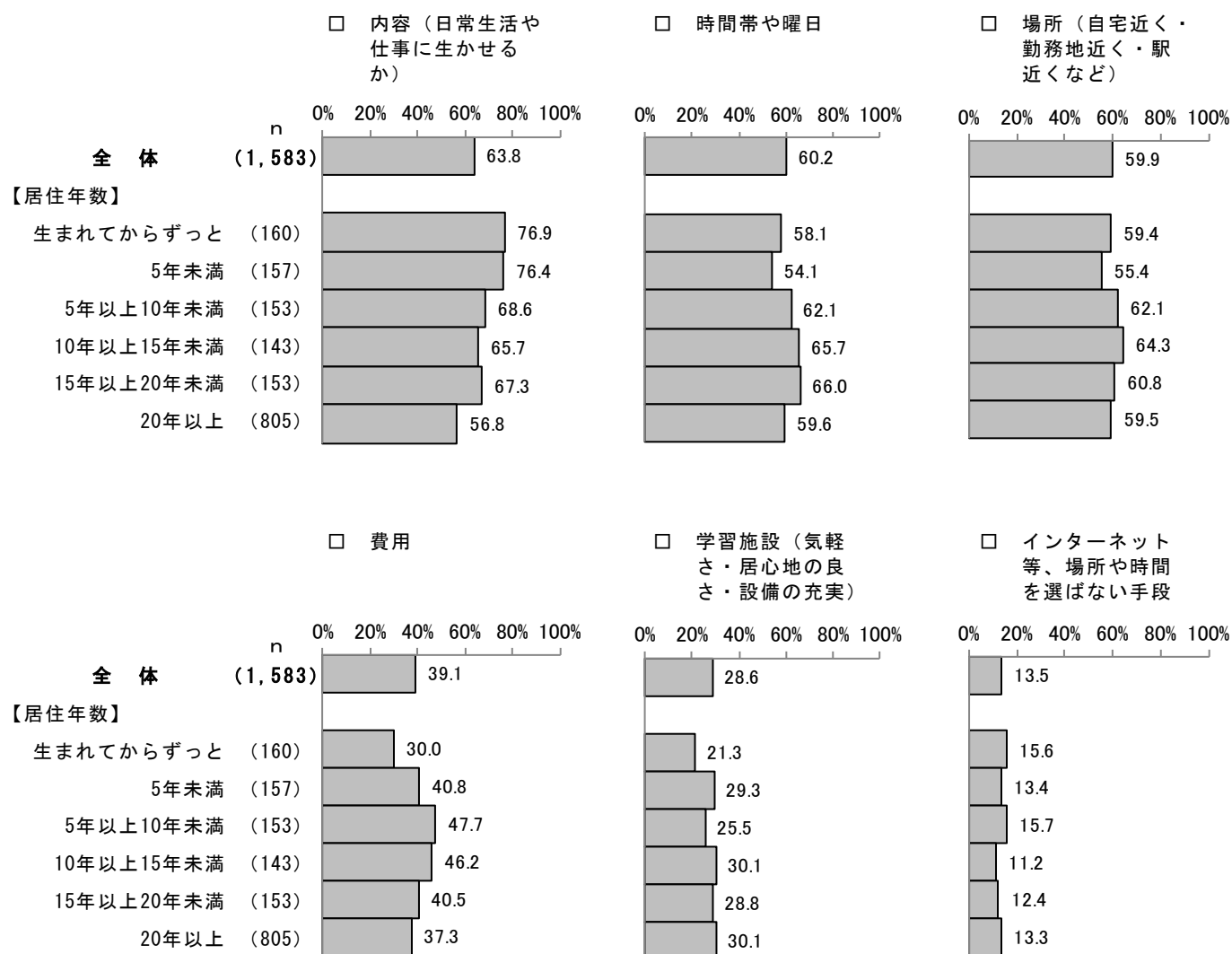
勤務先・通学先別でみると、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」は東京都内で約7割となっている。「時間帯や曜日」でも東京都内では7割近くとなっている。

図表 1－19 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること
（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「内容（日常生活や仕事に生かせるか）」は生まれてからずっとと5年未満で7割台半ばを超えている。「時間帯や曜日」は10年以上15年未満と15年以上20年未満では6割台半ばを超えている。「場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）」は10年以上15年未満で6割台半ば近くとなっている。

図表1-20 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先すること（居住年数別、上位6項目）



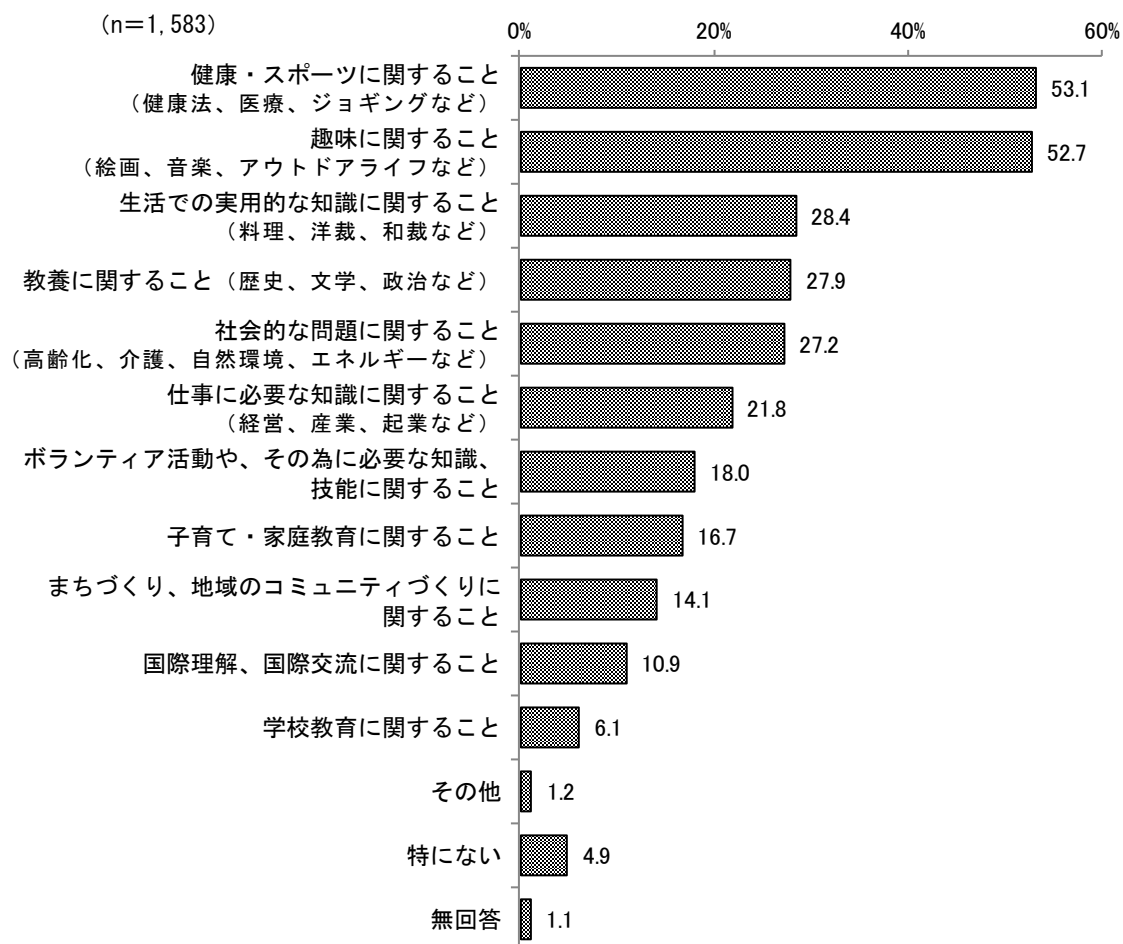
(6) 今後、学びたいこと

- ◇ 「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」と「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」が5割を超えている

問6 今後、どのようなことを学びたいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

今後、学びたいことについては、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」が53.1%と最も多く、次いで「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」(52.7%)、「生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）」(28.4%)、「教養に関すること（歴史、文学、政治など）」(27.9%)、「社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど）」(27.2%) となっている。

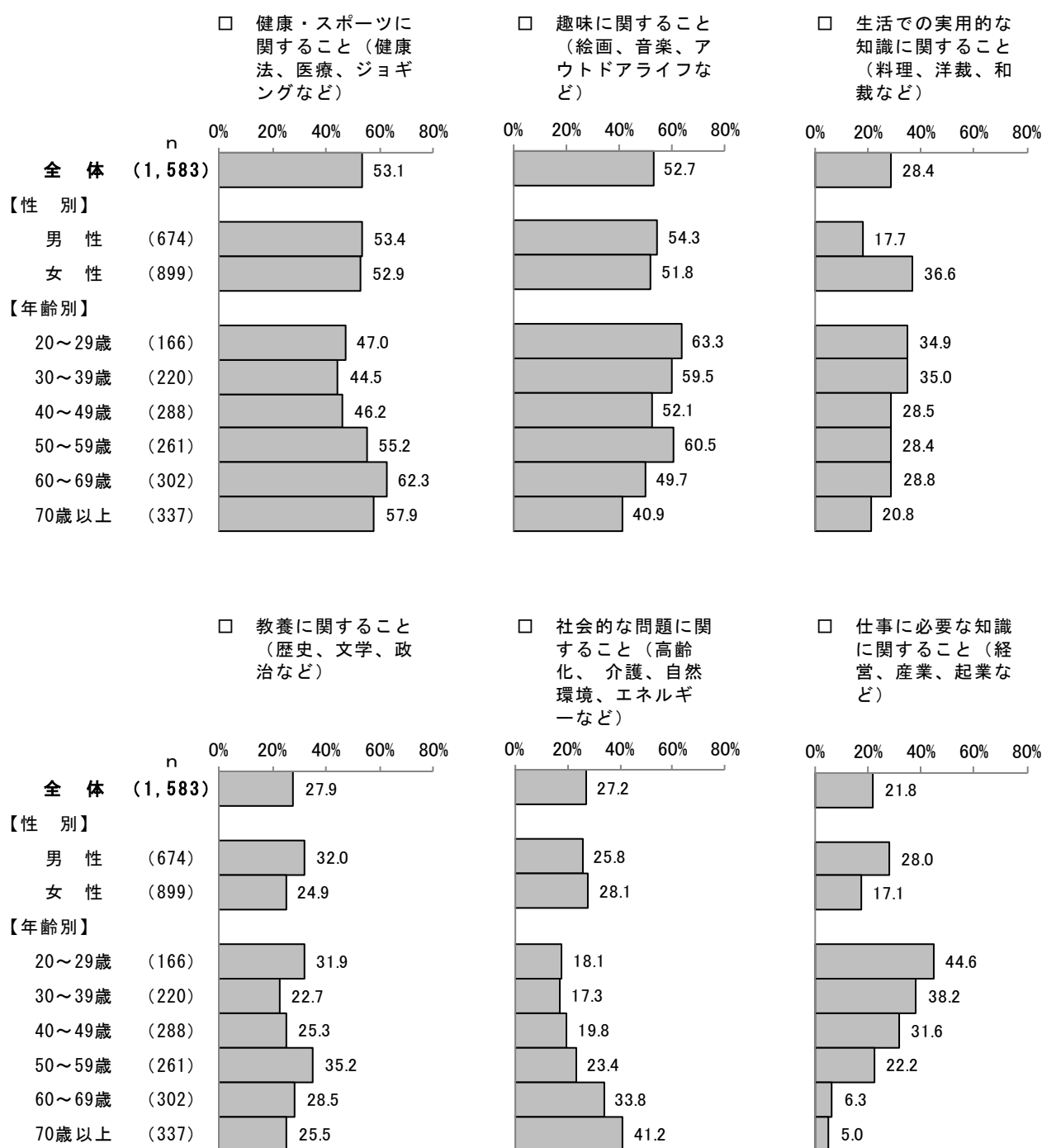
図表 1-21 今後、学びたいこと



性別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」と「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は男女ともに5割を超えている。「生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）」は女性（36.6%）が男性（17.7%）を18.9ポイント上回っている。一方、「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は男性（28.0%）が女性（17.1%）を10.9ポイント上回っている。

年齢別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は60歳代で6割強となっている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は20歳代で6割台半ば近くとなっている。「社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど）」は30歳以上では年代が上がるにつれて割合は高くなっている。一方、「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」は20歳代では4割台半ばとなっているが60歳代と70歳以上では1割未満となっており、年代が上がるにつれて割合は低くなっている。

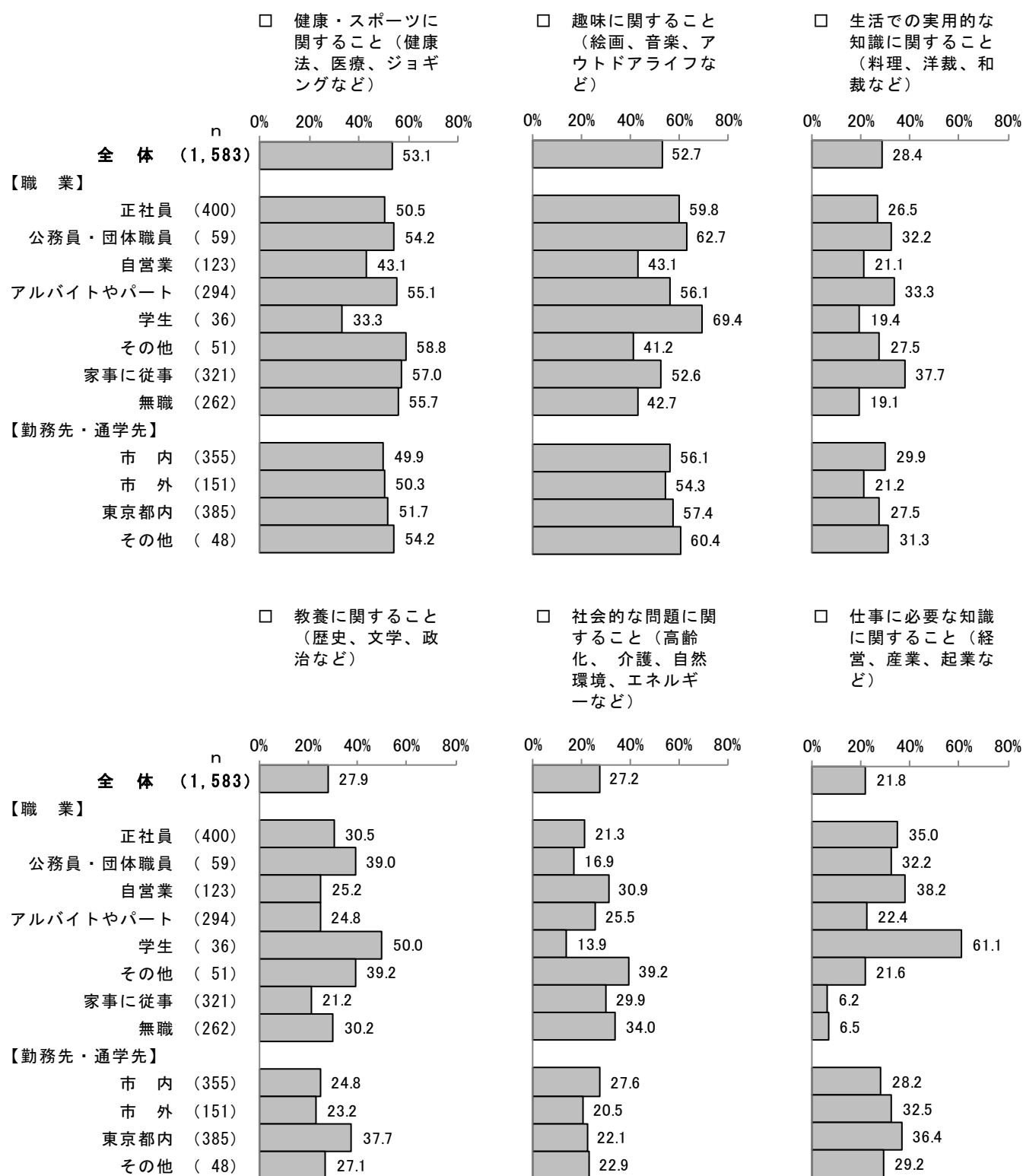
図表1-22 今後、学びたいこと（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は家事に従事と無職で5割台半ばを超えている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は学生で7割弱となっている。また「仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）」も学生では6割強となっている。

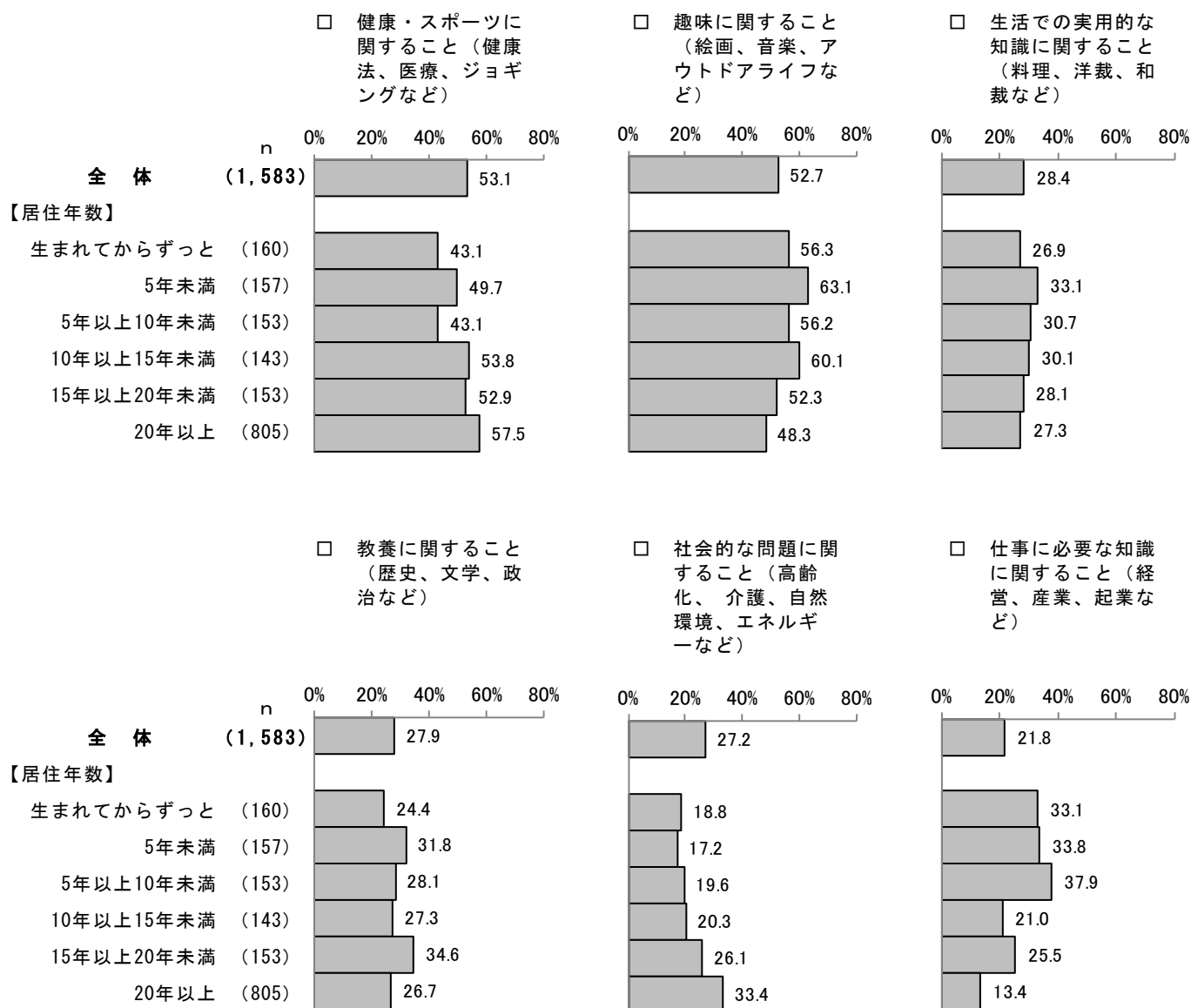
勤務先・通学先別でみると、「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は東京都内で5割台半ばを超えている

図表 1-23 今後、学びたいこと（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）」は20年以上で5割台半ばを超えている。「趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）」は5年未満で6割台半ば近くとなっている。

図表1-24 今後、学びたいこと（居住年数別、上位6項目）



2. 生涯学習活動に関する情報について

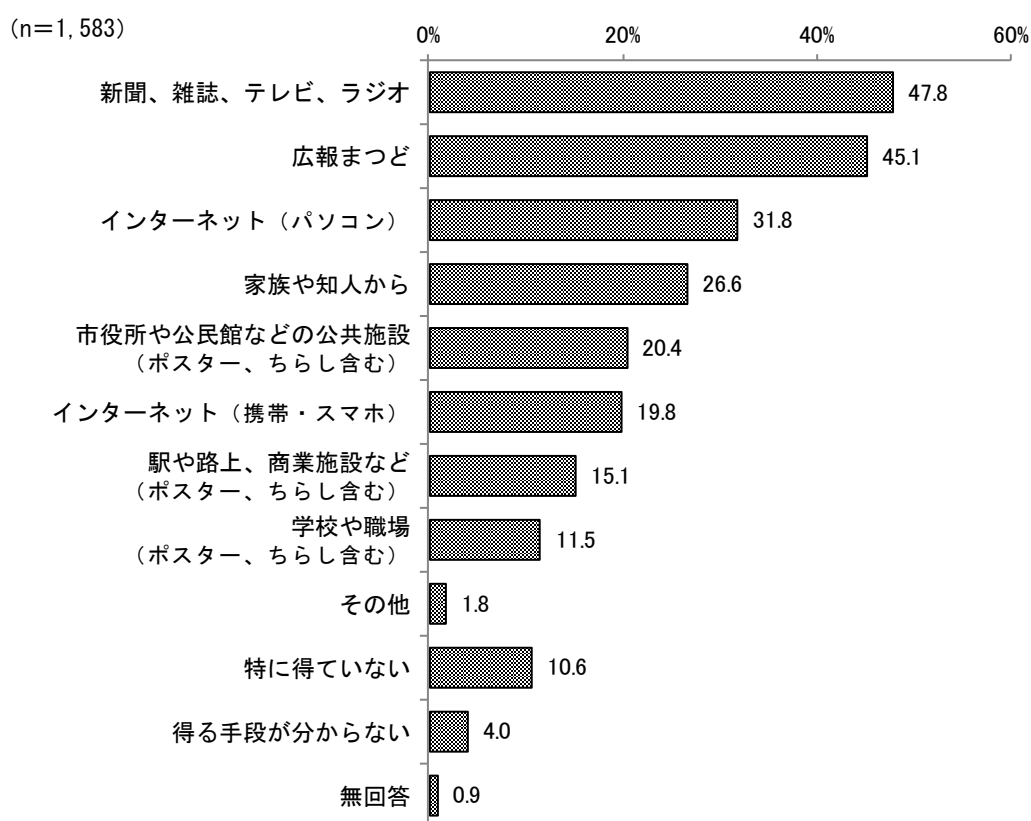
(1) 生涯学習活動に関する情報の入手方法

◇ 「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」と「広報まつど」が4割台半ばを超えている

問7 あなたは、生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習活動に関する情報の入手方法については、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」が47.8%と最も多く、次いで「広報まつど」(45.1%)、「インターネット (パソコン)」(31.8%)、「家族や知人から」(26.6%) となっている。

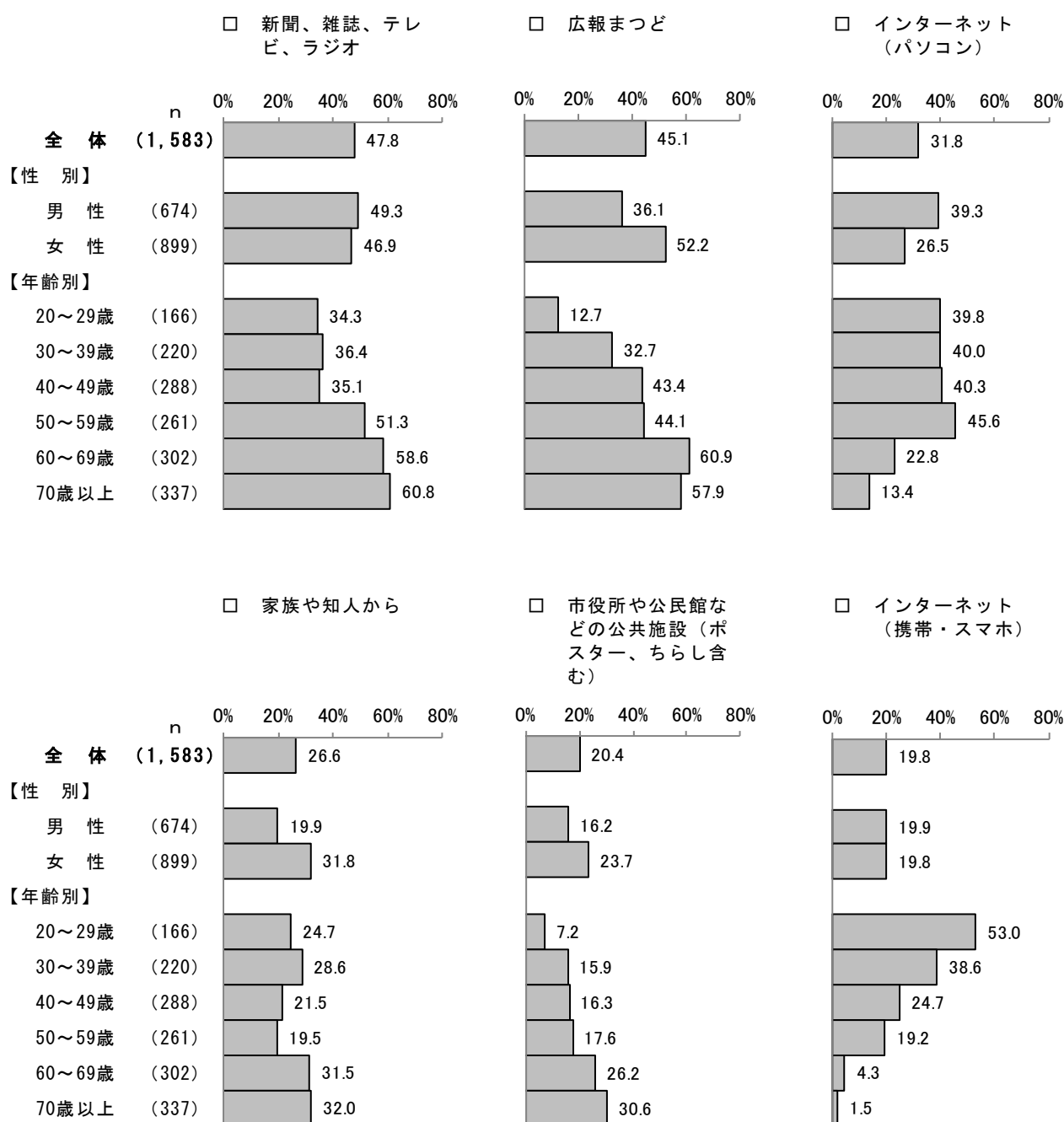
図表 2－1 生涯学習活動に関する情報の入手方法



性別でみると、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」は男性が約5割、女性が4割台半ばを超えている。「広報まつど」は女性（52.2%）が男性（36.1%）を16.1ポイント上回っている。同様に「家族や知人から」も女性（31.8%）が男性（19.9%）を11.9ポイント上回っている。一方、「インターネット（パソコン）」は男性（39.3%）が女性（26.5%）を12.8ポイント上回っている。

年齢別でみると、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」は60歳代で6割近く、70歳以上で約6割となっている。「広報まつど」は60歳代で約6割、70歳以上で5割台半ばを超えているが、20歳代では1割強にとどまっている。「市役所や公民館などの公共施設（ポスター、ちらし含む）」は20歳代では1割未満となっているが、70歳以上では約3割となっており、年代が上がるにつれて割合は高くなっている。一方、「インターネット（携帯・スマホ）」は20歳代では5割台半ば近くとなっているが、60歳代と70歳以上では1割未満となっており、年代が上がるにつれて割合は低くなっている。

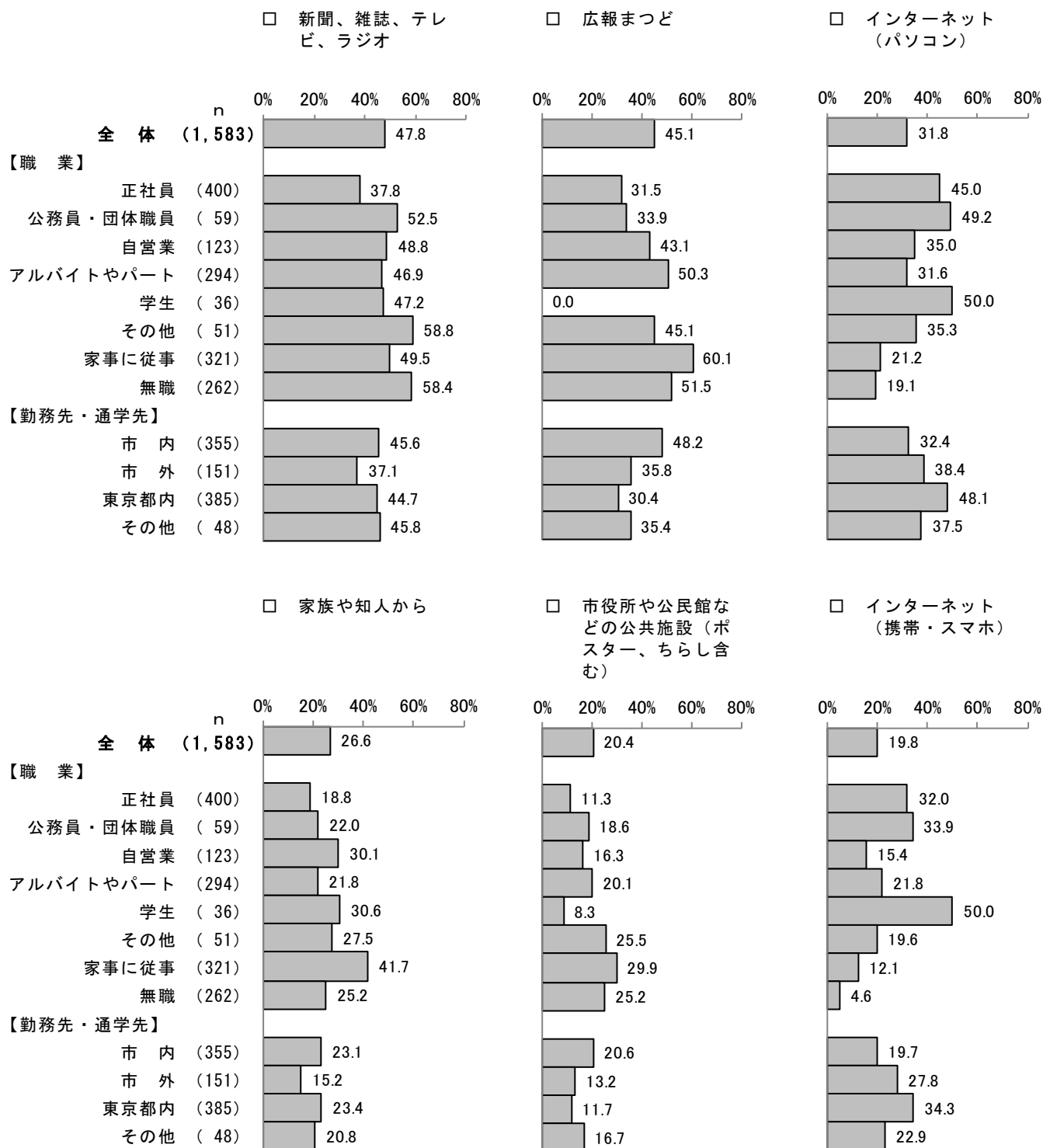
図表2-2 生涯学習活動に関する情報の入手方法（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」は無職で6割近くとなっている。「広報まつど」は家事に従事で約6割となっている。「インターネット（パソコン）」は学生でそれぞれ5割となっている。

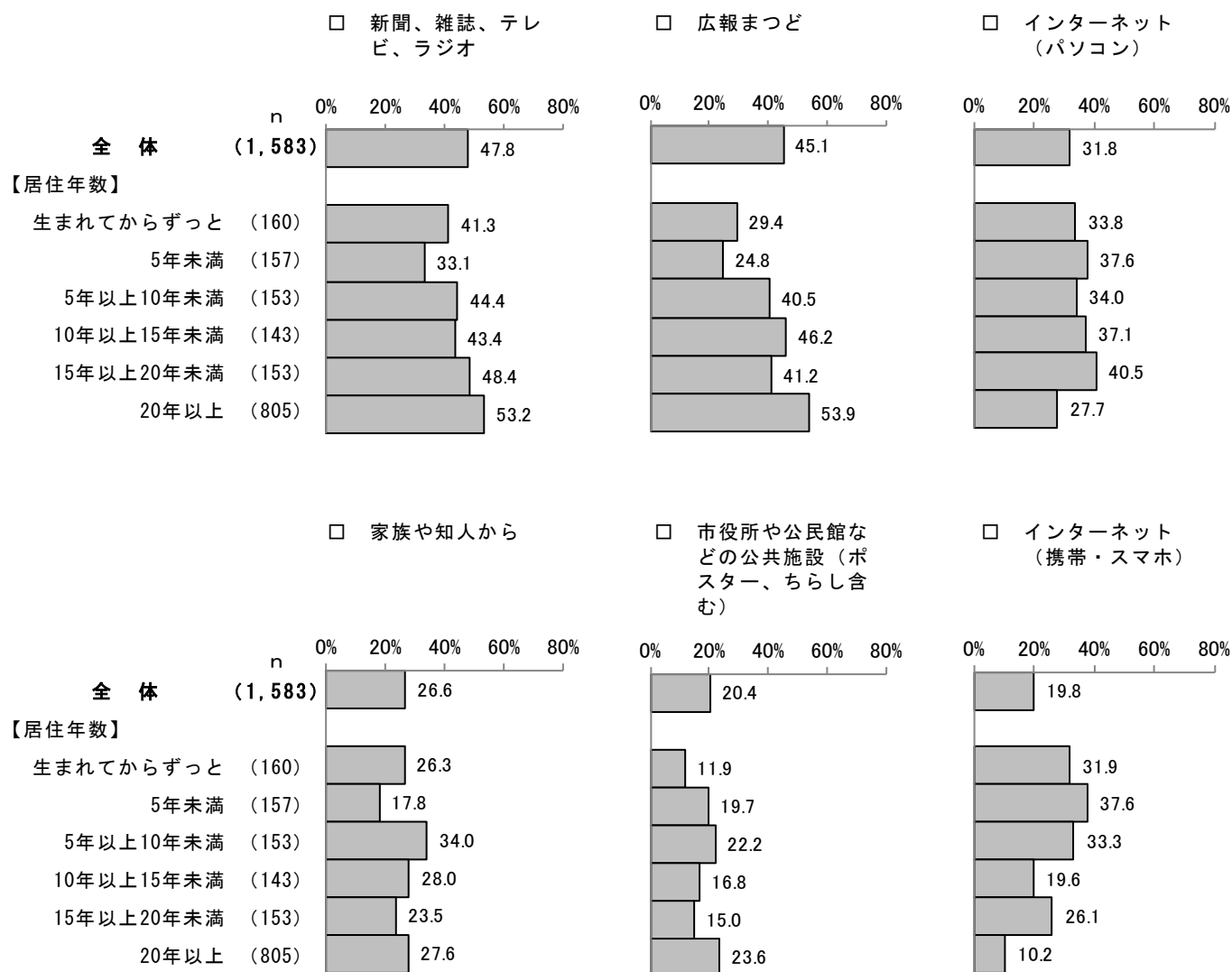
勤務先・通学先別でみると、「広報まつど」は市内で5割近くとなっている。「インターネット（パソコン）」は東京都内で5割近くとなっている。

図表2-3 生涯学習活動に関する情報の入手方法（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



居住年数別でみると、「新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」は 20 年以上で 5 割台半ばとなっている。
また「広報まつど」でも 20 年以上では 5 割台半ばとなっている。

図表 2-4 生涯学習活動に関する情報の入手方法（居住年数別、上位 6 項目）



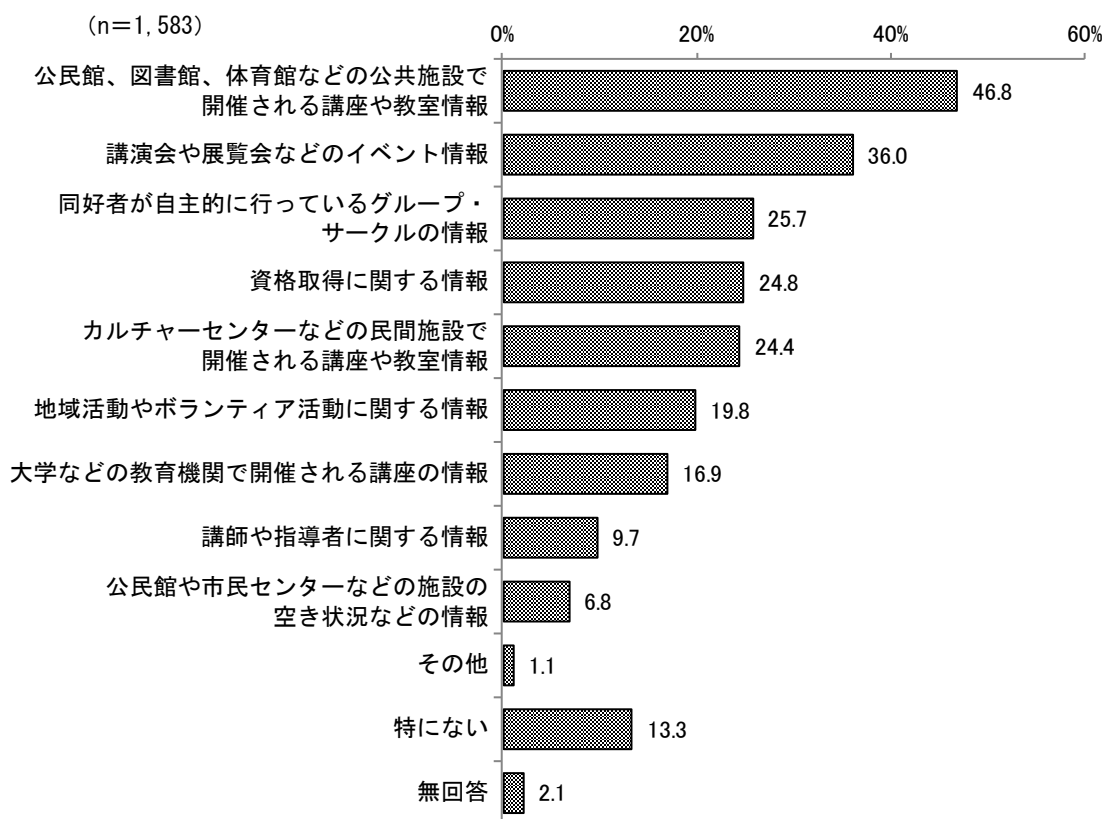
(2) 生涯学習活動に関して知りたい情報

- ◇ 「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」が4割台半ばをこえている

問 8 あなたは、生涯学習に関係するどのような情報を知りたいですか。あてはまる番号に いくつでも○印をつけてください。

生涯学習活動に関して知りたい情報については、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」が46.8%と最も多く、次いで「講演会や展覧会などのイベント情報」(36.0%)、「同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報」(25.7%)、「資格取得に関する情報」(24.8%)、「カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報」(24.4%)となっている。

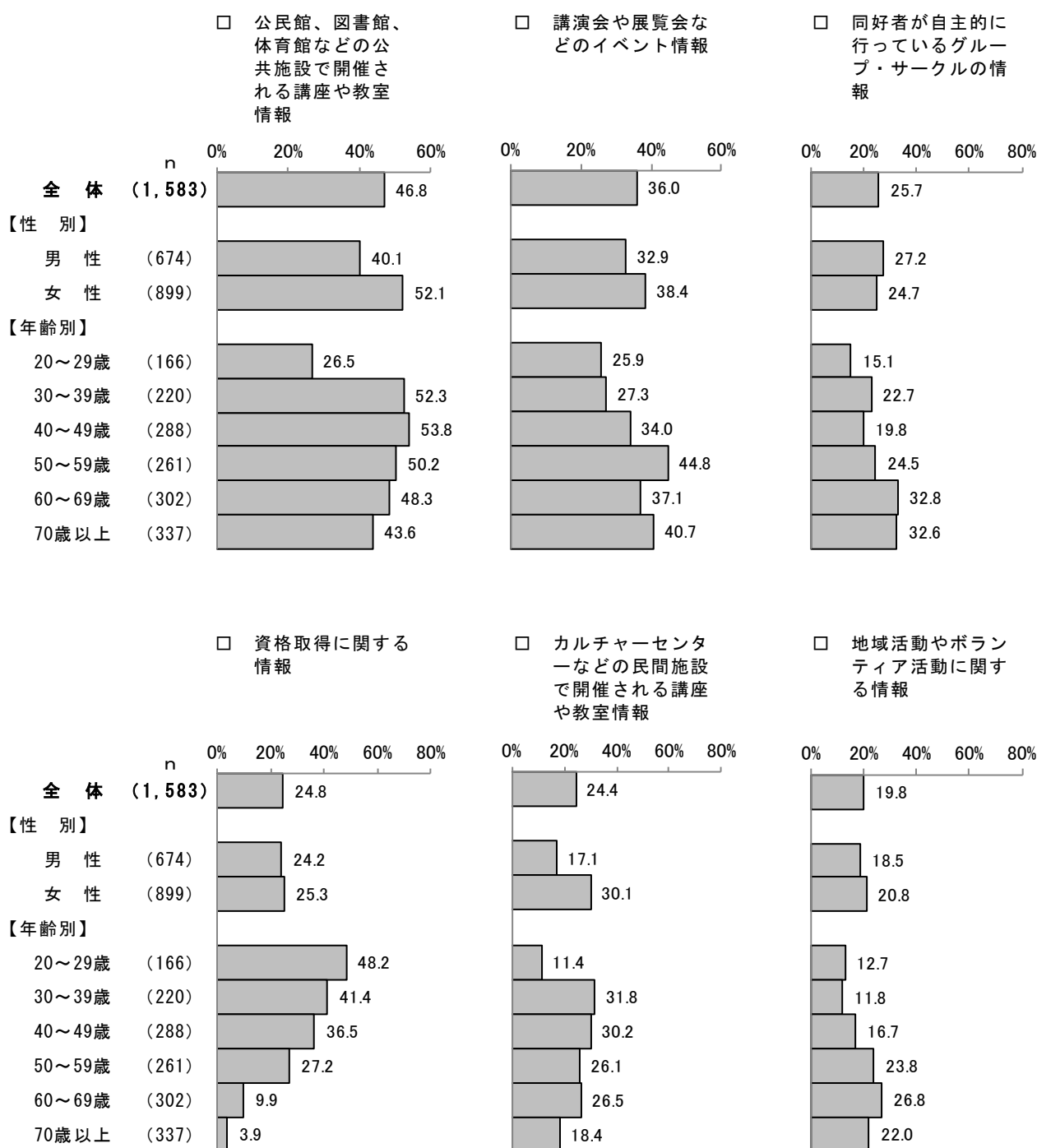
図表 2－5 生涯学習活動に関して知りたい情報



性別でみると、上位6項目のうち5項目は女性が男性を上回っており、特に「カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報」は女性（30.1%）と男性（17.1%）の差は13.0ポイント、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は女性（52.1%）と男性（40.1%）の差は12.0ポイントとなっている。一方、「同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報」は男性（27.2%）が女性（24.7%）を2.5ポイント上回っている。

年齢別でみると、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は40歳代で5割台半ば近く、30歳代では5割強となっている。「講演会や展覧会などのイベント情報」は50歳代までは年代が上がるにつれて割合も高くなっており、50歳代では4割台半ば近くとなっている。一方、「資格取得に関する情報」は20歳代では5割近くとなっているが、60歳代と70歳以上では1割未満となっており、年代が上がるにつれて割合は低くなっている。

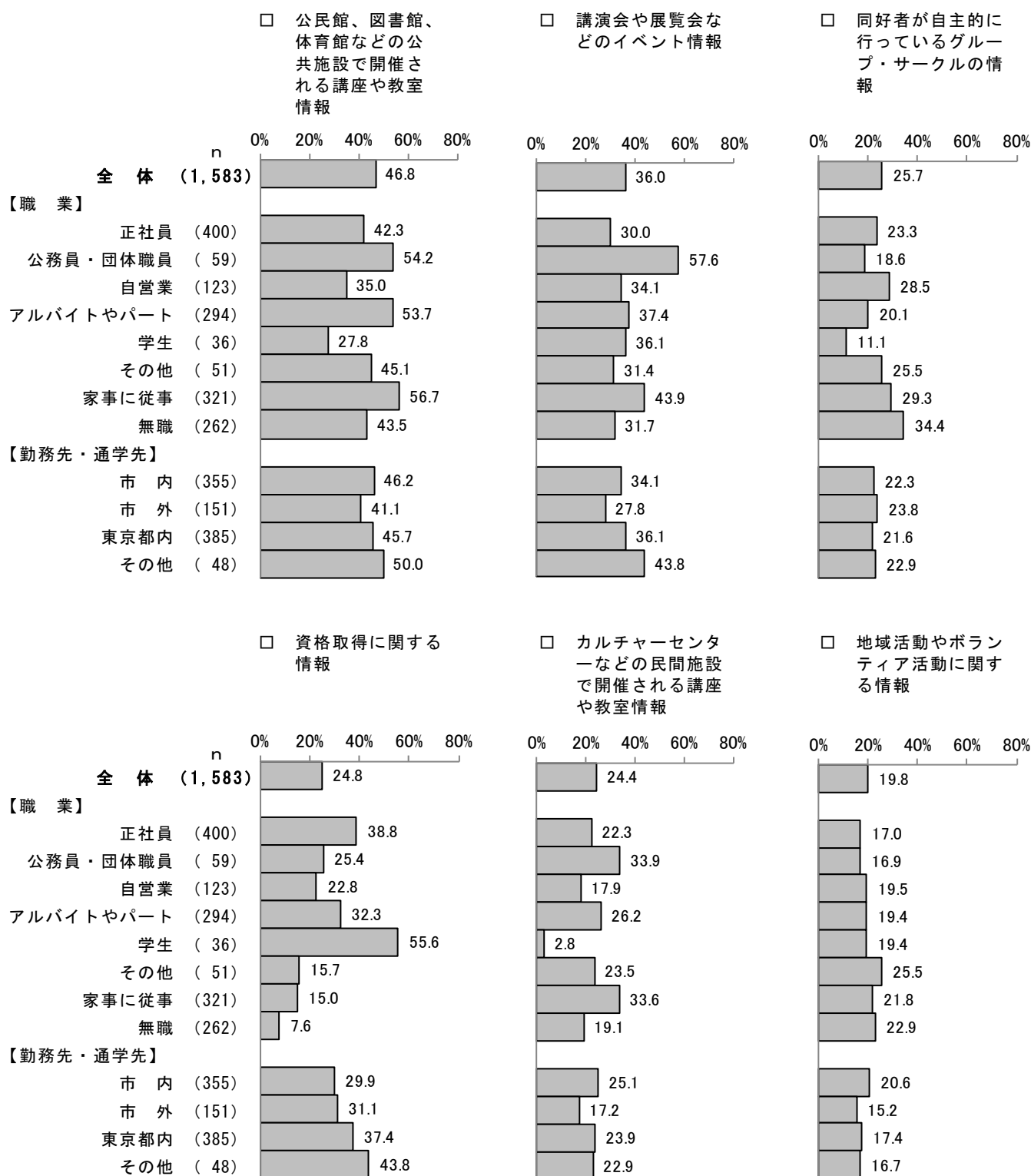
図表2-6 生涯学習活動に関して知りたい情報（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は家事に従事で5割台半ばを超え、公務員・団体職員とアルバイトやパートで5割台半ば近くとなっている。

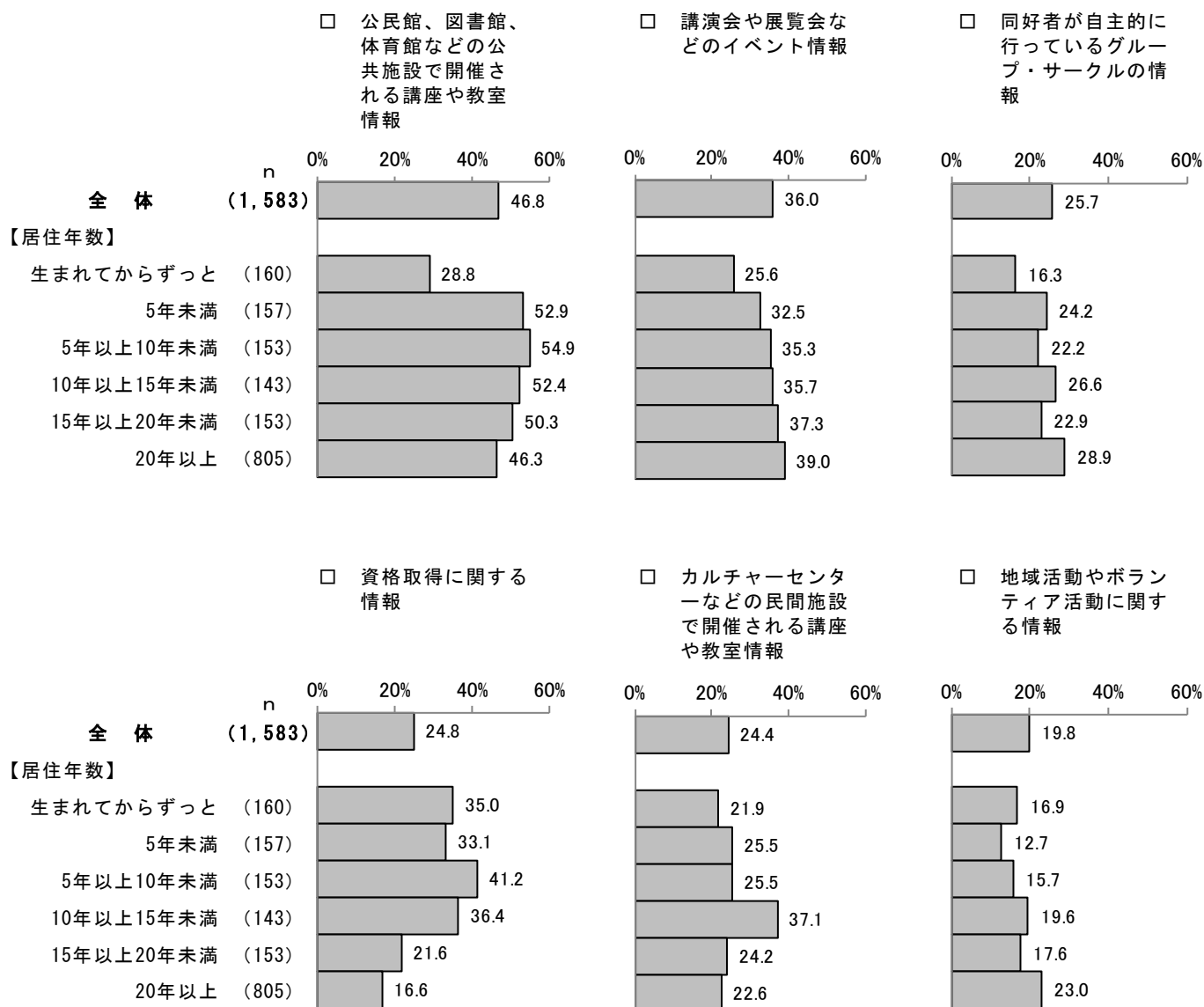
勤務先・通学先別でみると、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は市内と東京都内で4割台半ばを超えている。「資格取得に関する情報」は東京都内で3割台半ばを超えている。

図表 2-7 生涯学習活動に関して知りたい情報（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



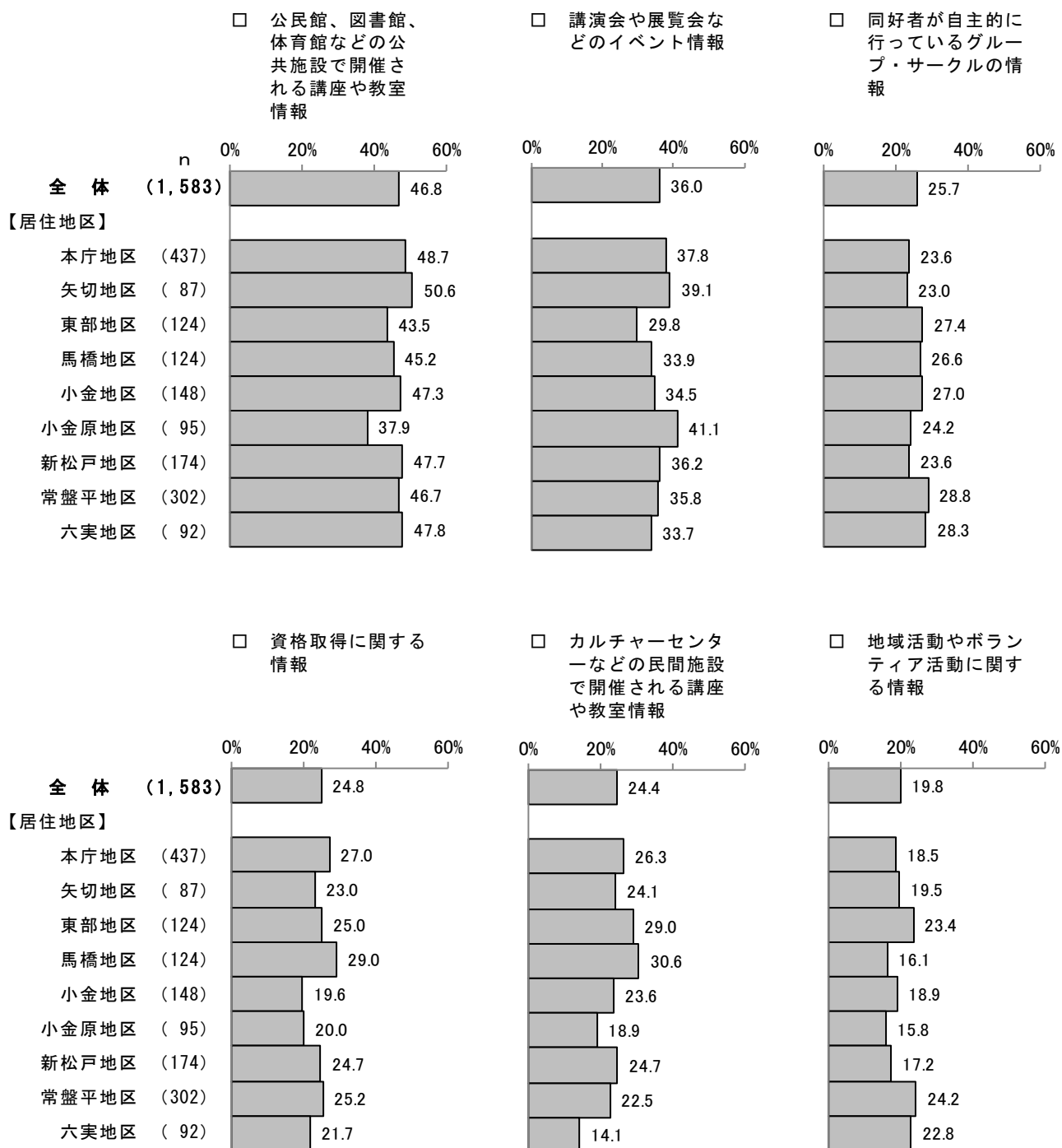
居住年数別でみると、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は5年以上10年未満で5割台半ば近くとなっているが、生まれてからずっとでは3割に満たない。「講演会や展覧会などのイベント情報」は20年以上で4割弱となっている。

図表2-8 生涯学習活動に関して知りたい情報（居住年数別、上位6項目）



居住地区別でみると、「公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報」は矢切地区で約5割となっている。「講演会や展覧会などのイベント情報」は小金原地区で4割強となっている。「カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報」は馬橋地区で約3割、東部地区で3割弱となっている。

図表2-9 生涯学習活動に関して知りたい情報（居住地区別、上位6項目）



3. これからの、生涯学習活動における現状や課題について

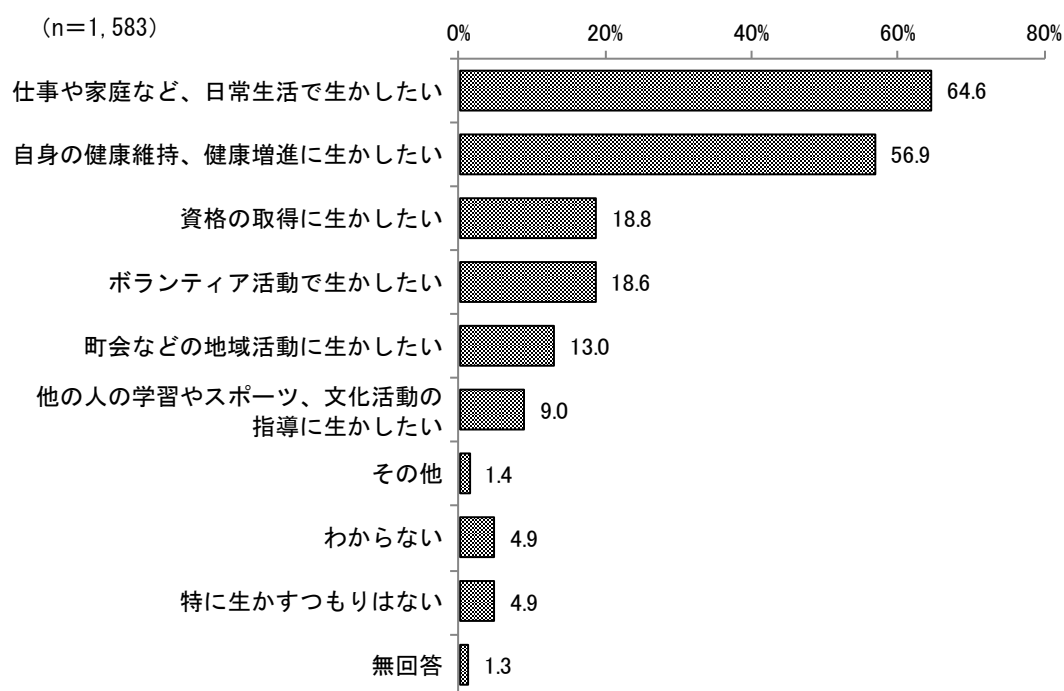
(1) 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方

◇ 「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」が6割台半ば近く

問9 あなたは、「生涯学習活動」を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしたいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方については、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」が64.6%と最も多く、次いで「自身の健康維持、健康増進に生かしたい」(56.9%)となっており、上位2項目が5割台半ばを超えている。

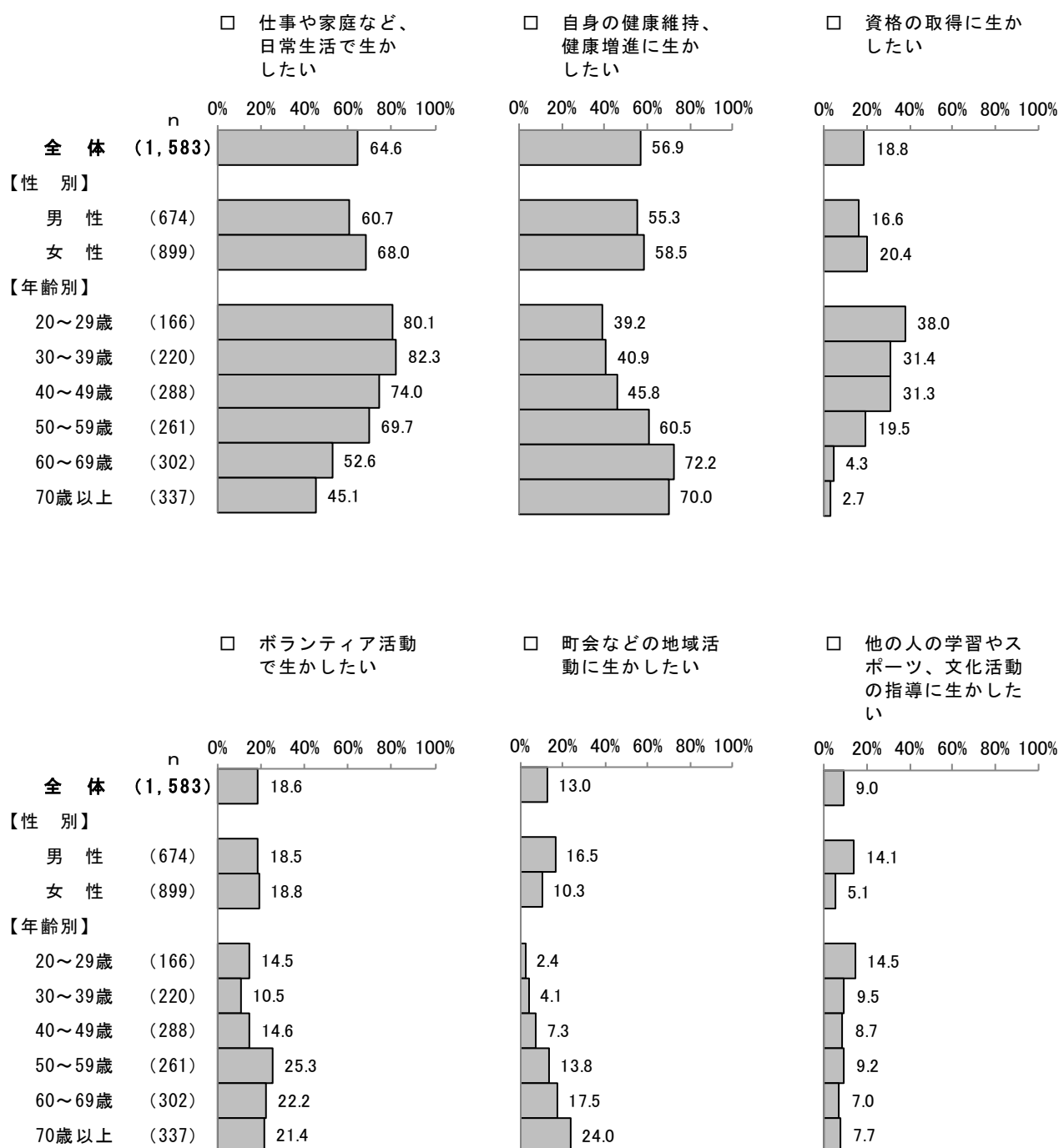
図表3-1 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方



性別でみると、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」は女性が68.0%と7割近くとなっており、男性（60.7%）を7.3ポイント上回っている。一方、「他の人の学習やスポーツ、文化活動の指導に生かしたい」は男性（14.1%）が女性（5.1%）を9.0ポイント上回っている。

年齢別でみると、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」は20歳代と30歳代では8割を超えている。「自身の健康維持、健康増進に生かしたい」は60歳代で7割強、70歳以上で7割となっている。「資格の取得に生かしたい」は20歳代では4割近くとなっているが、60歳代と70歳以上では1割未満となっており、年代が上がるにしたがって割合は低くなっている。一方、「町会などの地域活動に生かしたい」は年代が上がるにつれて割合も高くなっている。

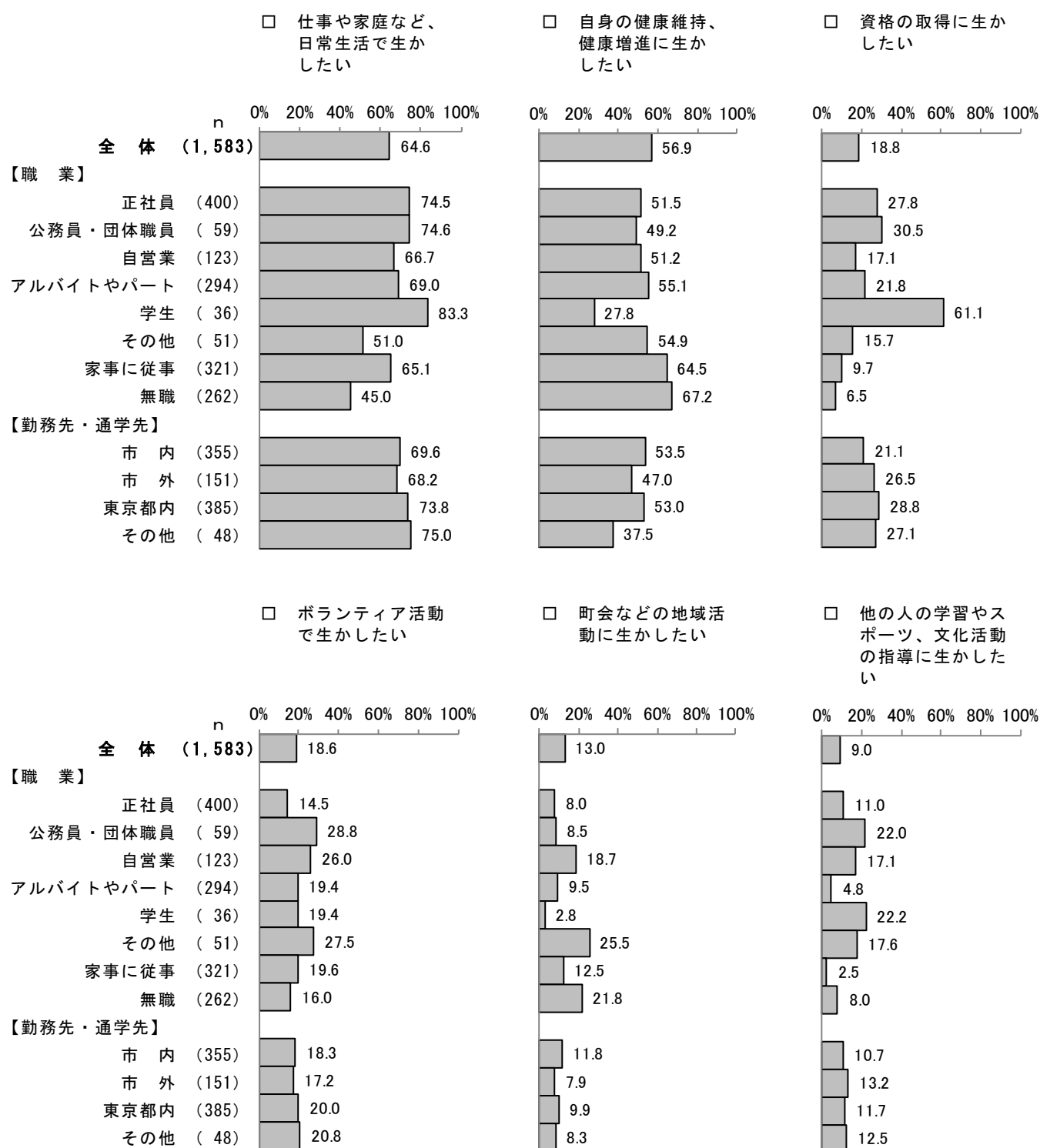
図表3-2 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方
(性別 年齢別、上位6項目)



職業別でみると、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」は学生で8割台半ば近く、正社員と公務員・団体職員は7割台半ば近くとなっている。「自身の健康維持、健康増進に生かしたい」は無職で6割台半ばを超え、家事に従事で6割台半ば近くとなっている。「資格の取得に生かしたい」は学生で6割強となっている。

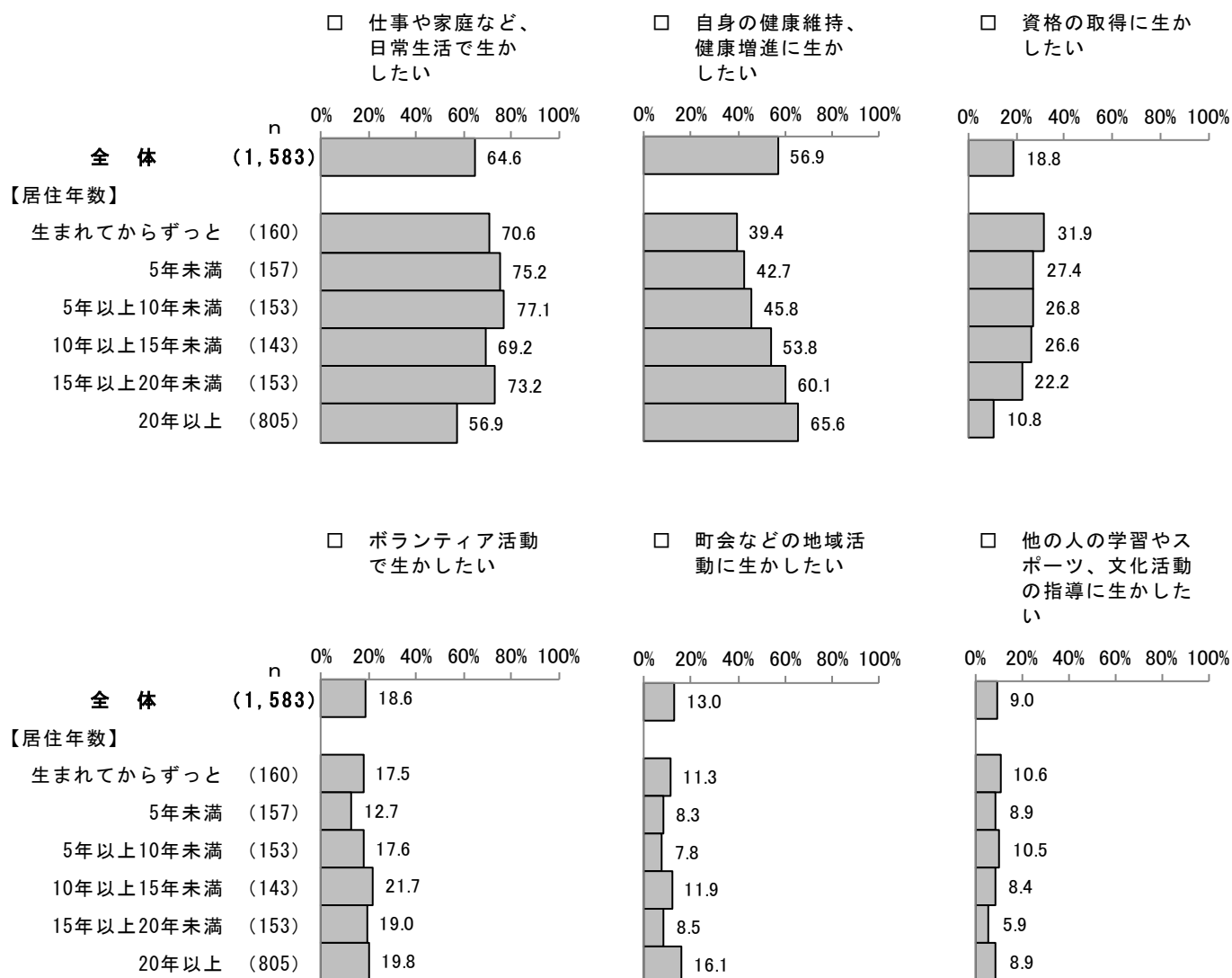
勤務先・通学先別でみると、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」は東京都内で7割台半ば近くとなっている。「自身の健康維持、健康増進に生かしたい」は市内と東京都内で5割台半ば近くとなっている。

図表 3-3 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方
(職業別 勤務先・通学先別、上位6項目)



居住年数別でみると、「仕事や家庭など、日常生活で生かしたい」は5年未満と5年以上10年未満で7割台半ばを超えている。「自身の健康維持、健康増進に生かしたい」は20年以上で6割台半ばを超えている。

図表3-4 生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験の生かし方
(居住年数別、上位6項目)



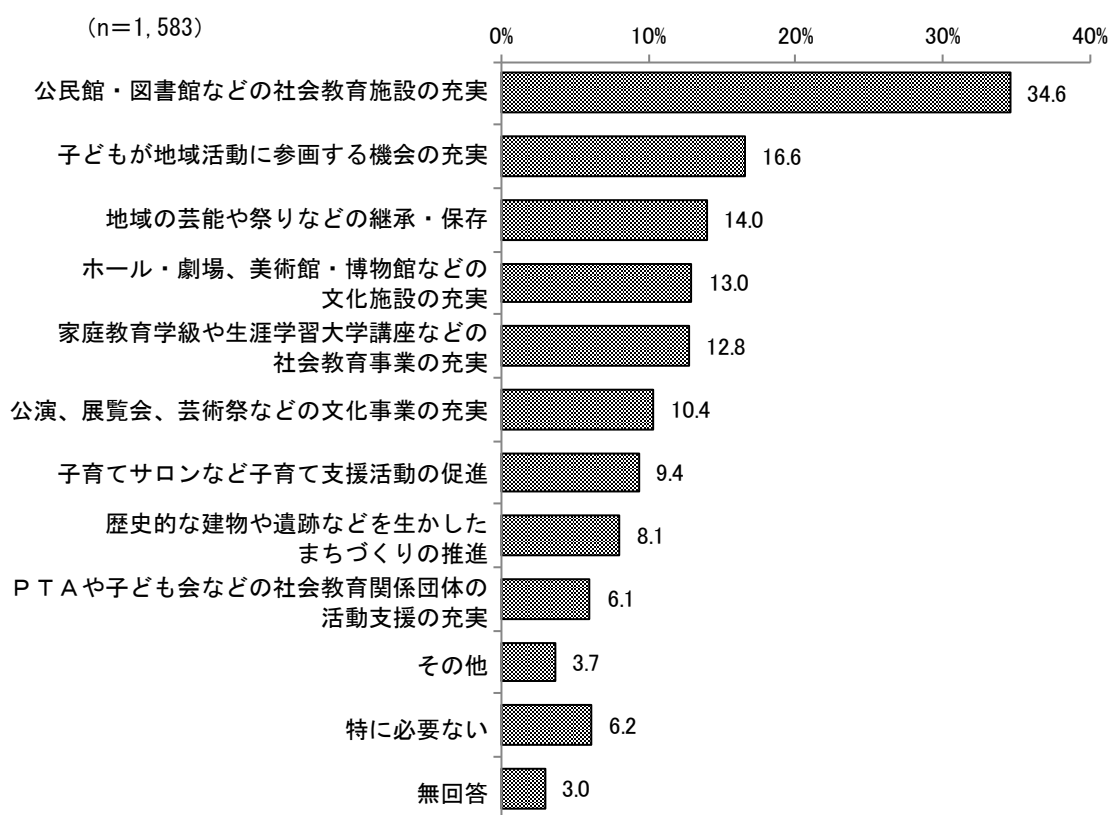
(2) 地域の学習環境を充実させるために必要なこと

◇ 「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」が3割台半ば近く

問 10 地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。あてはまる番号に※1つ〇印をつけてください。

地域の学習環境を充実させるために必要なことについては、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」が34.6%と最も多く、次いで「子どもが地域活動に参画する機会の充実」(16.6%)、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」(14.0%)、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」(13.0%)、「家庭教育学級や生涯学習大学講座などの社会教育事業の充実」(12.8%)となっている。

図表 3-5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと

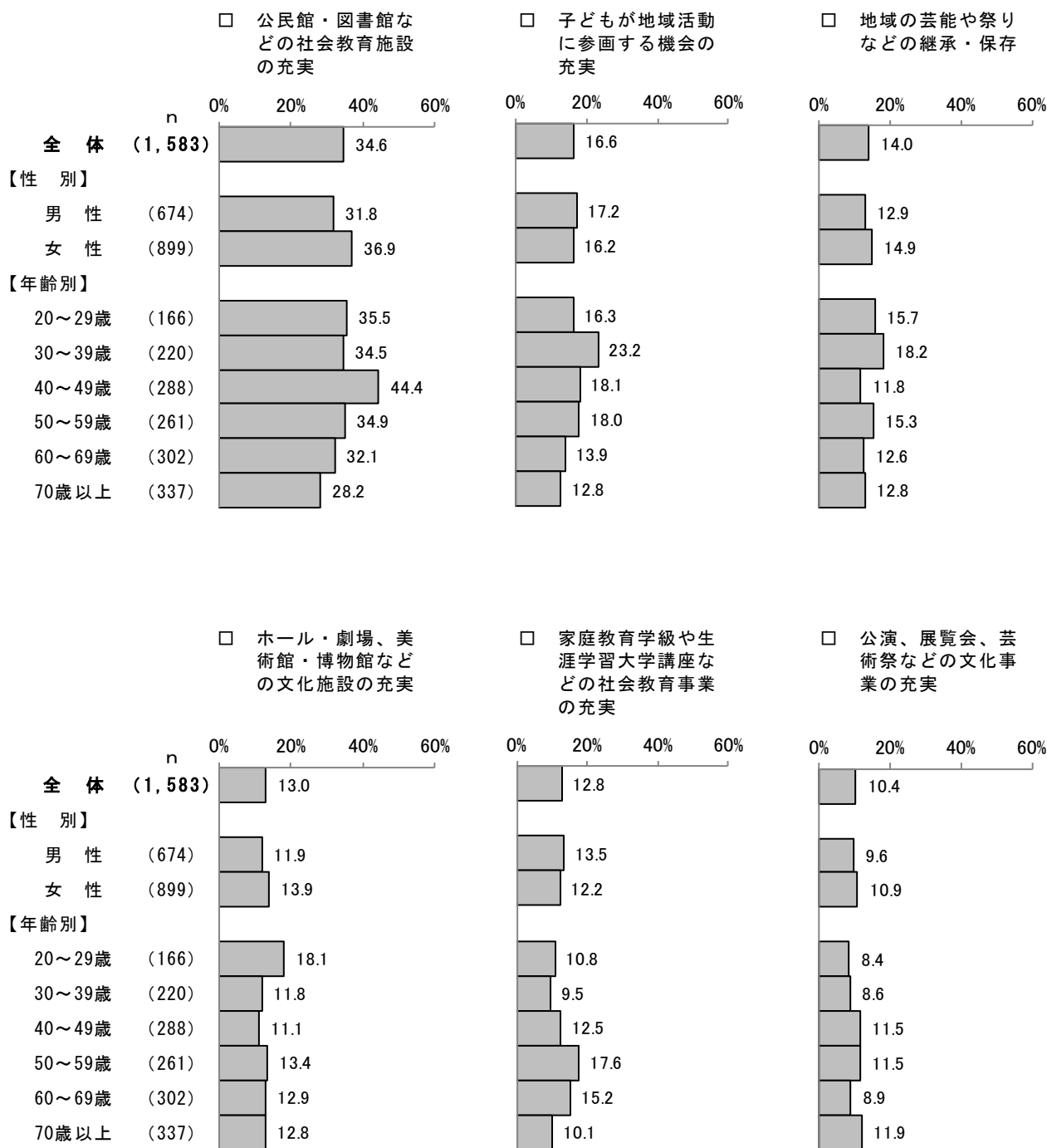


※設問では 1つ〇印 としましたが、複数回答の方が多く、ニーズ把握のためすべての回答を有効とした結果です。

性別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は、女性が 36.9%と 3 割台半ばを超え、男性（31.8%）を 5.1 ポイント上回っている。

年齢別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は 40 歳代で 4 割台半ば近くとなっている。「子どもが地域活動に参画する機会の充実」は 30 歳代で 2 割半ば近くとなっている。

図表 3-6 地域の学習環境を充実させるために必要なこと（性別 年齢別、上位 6 項目）

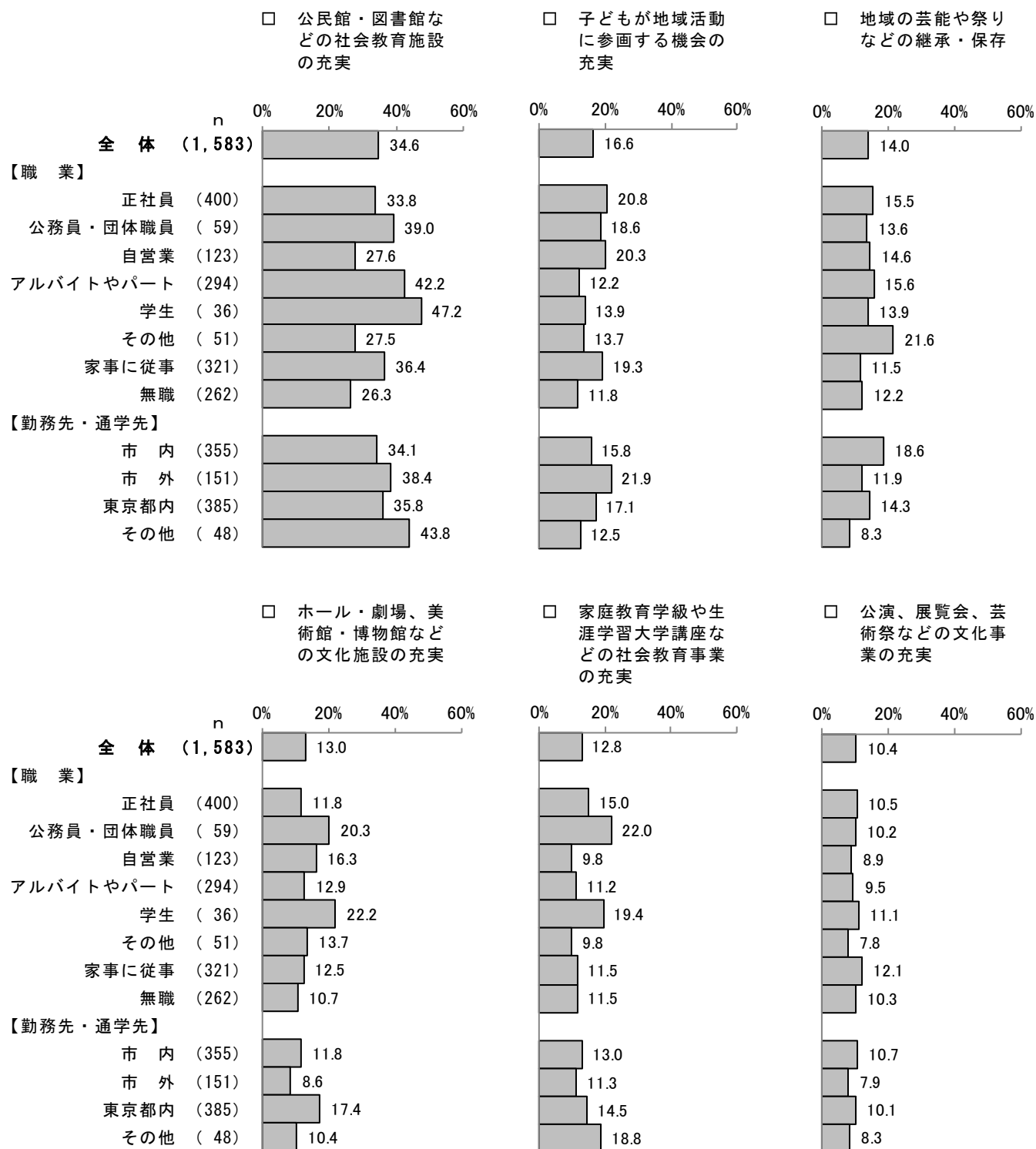


職業別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は学生で4割台半ばを超え、アルバイトやパートでは4割強となっている。

勤務先・通学先別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は市外で4割近くとなっている。

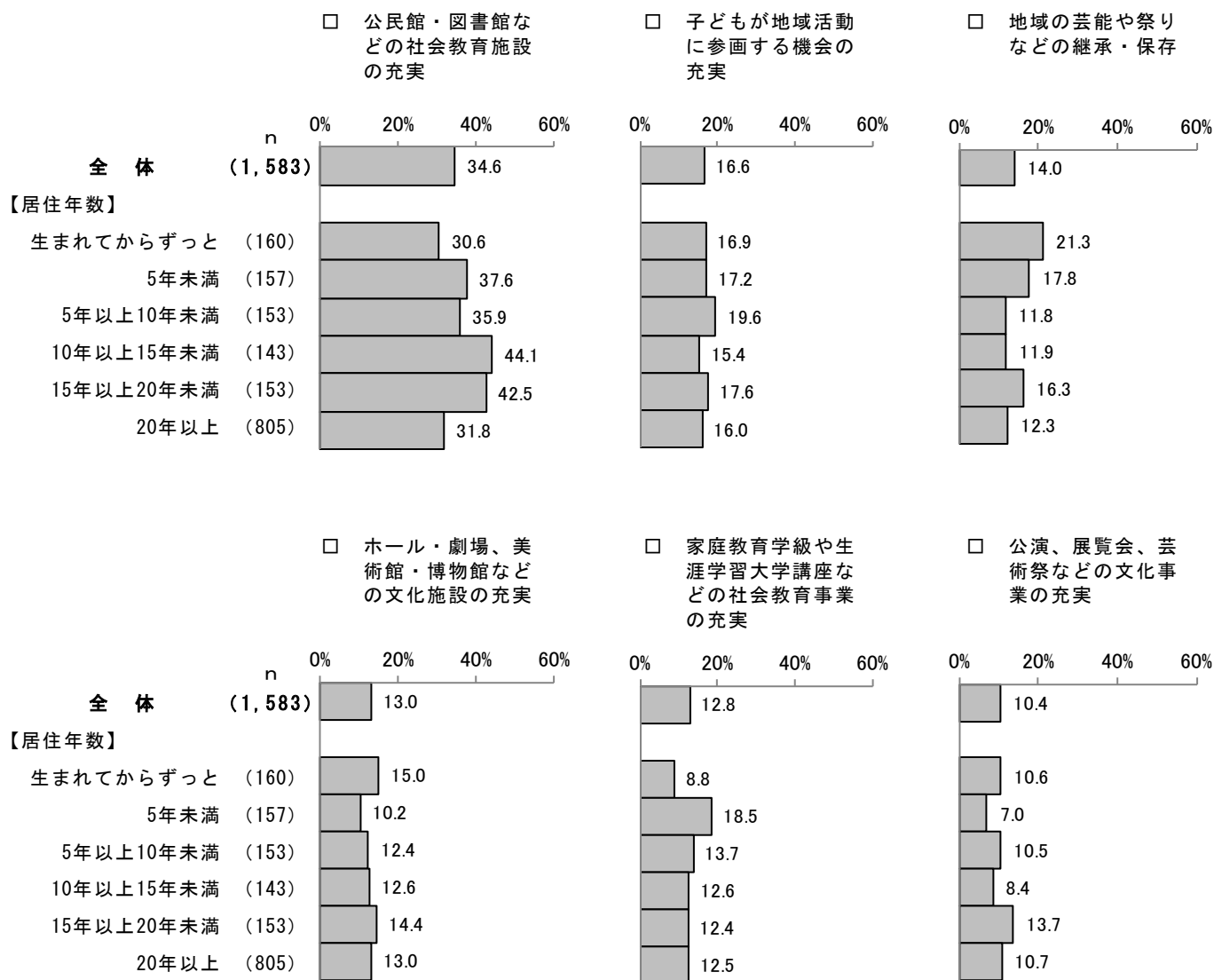
図表３－７ 地域の学習環境を充実させるために必要なこと

(職業別 勤務先・通学先別、上位６項目)



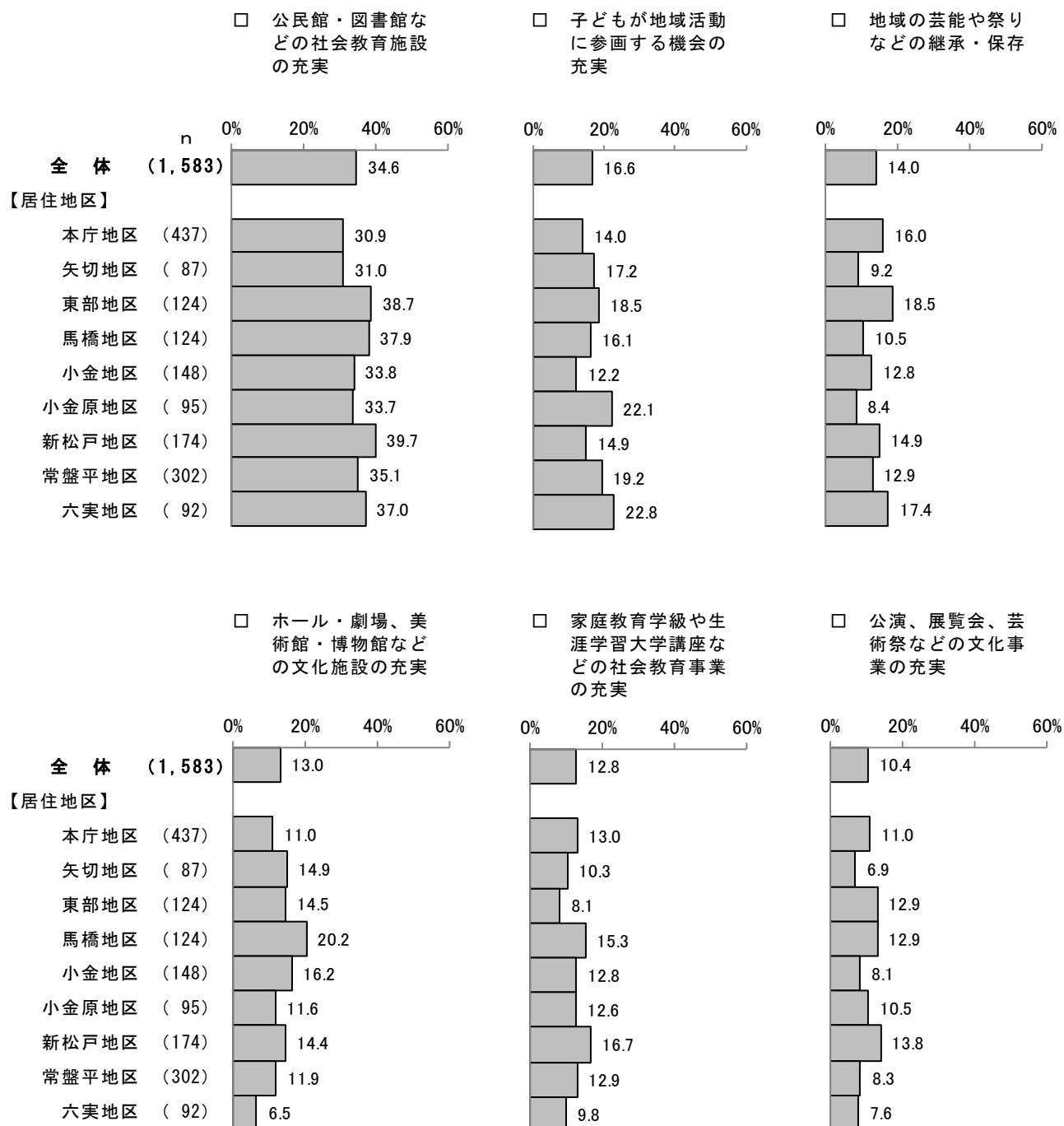
居住年数別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は10年以上15年未満で4割台半ば近く、15年以上20年未満で4割強となっている。

図表3-8 地域の学習環境を充実させるために必要なこと
(居住年数別、上位6項目)



居住地区別でみると、「公民館・図書館などの社会教育施設の充実」は、新松戸地区で4割弱、東部地区で4割近くとなっている。「子どもが地域活動に参画する機会の充実」は小金原地区と六実地区で2割を超えている。「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」は馬橋地区で2割強となっている。

図表3-9 地域の学習環境を充実させるために必要なこと（居住地区別、上位6項目）



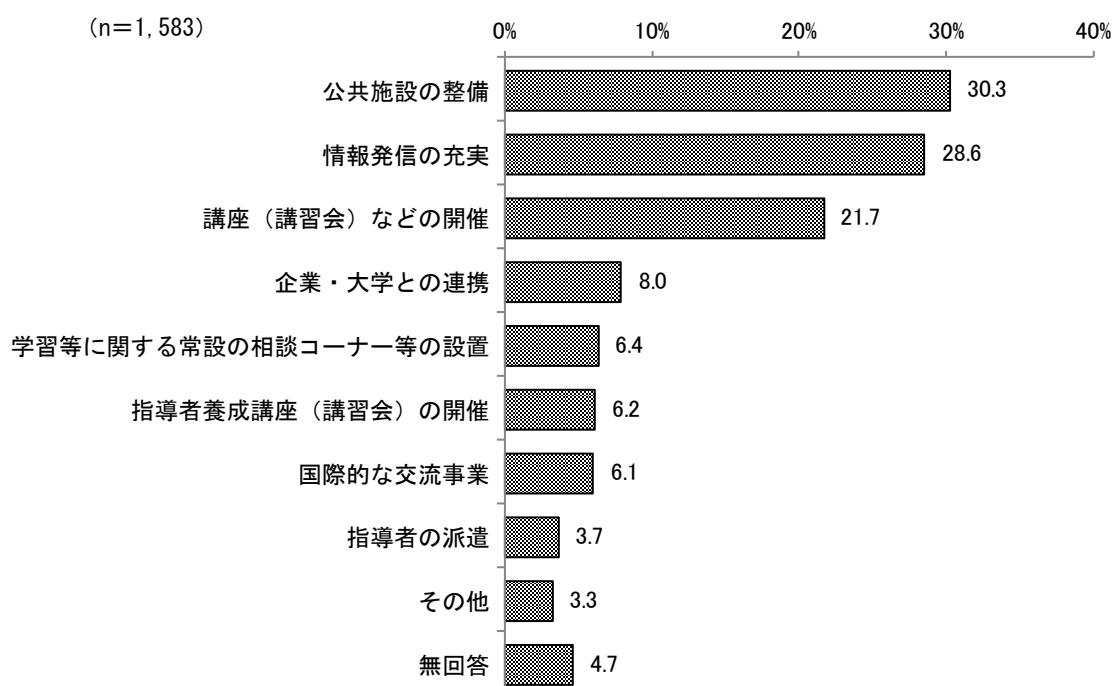
（３）生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと

◇ 「公共施設の整備」が約３割、「情報発信の充実」が３割弱

問 11 今後、松戸市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れると良いと思いますか。
あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

地域の学習環境を充実させるために必要だと思うことについては、「公共施設の整備」が 30.3%と最も多く、次いで「情報発信の充実」（28.6%）、「講座（講習会）などの開催」（21.7%）となっており、上位３項目以外は１割未満となっている。

図表 3-10 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと

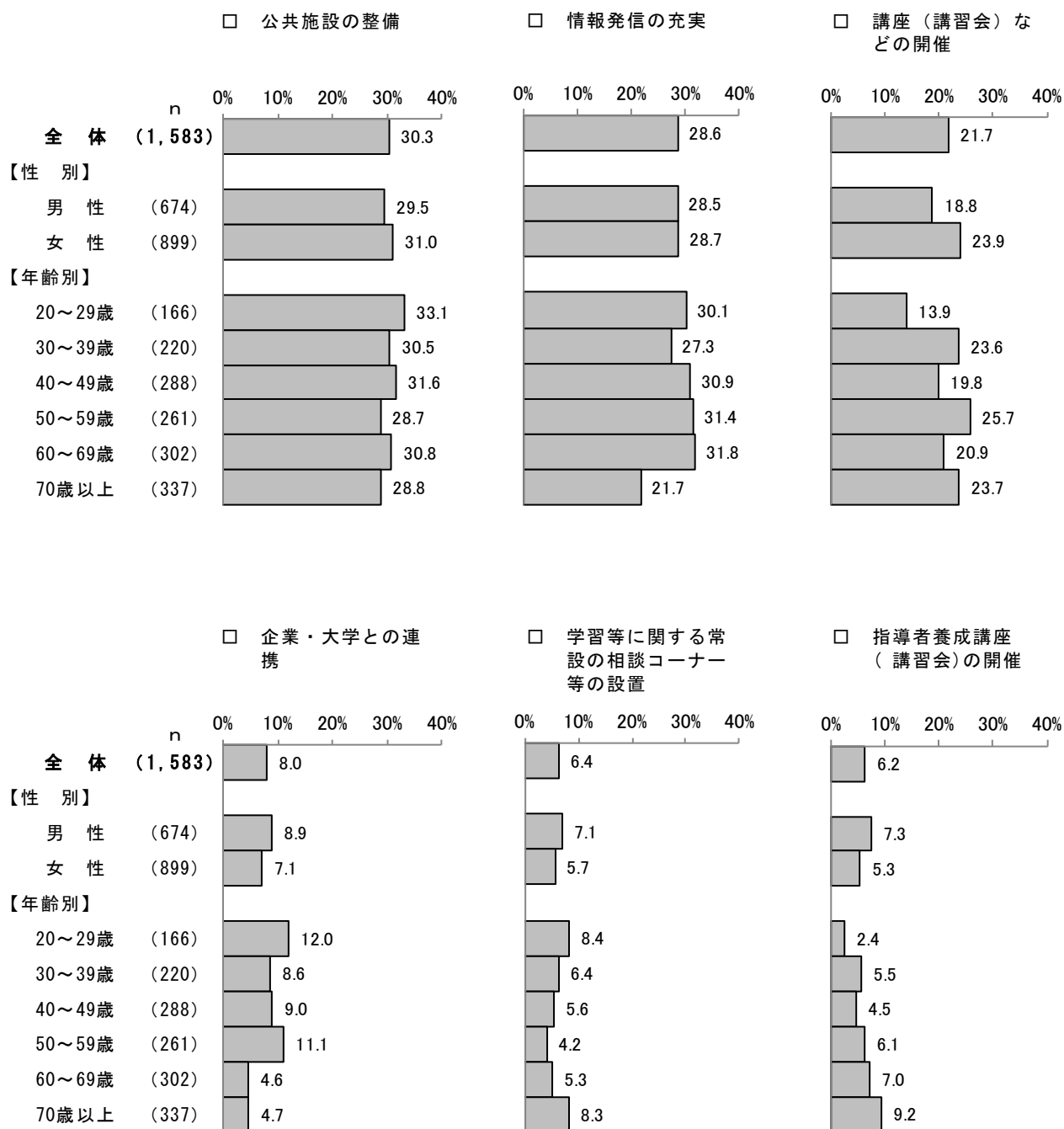


※設問では 1つ〇印 としましたが、複数回答の方が多く、ニーズ把握のためすべての回答を有効とした結果です。

性別でみると、「公共施設の整備」と「情報発信の充実」は男女ともに3割前後となっている。「講座（講習会）などの開催」は女性（23.9%）が男性（18.8%）を5.1ポイント上回っている。

年齢別でみると、「公共施設の整備」は20歳代で3割台半ば近くとなっている。「情報発信の充実」は70歳以上を除くすべての年代で2割台半ばを超えている。

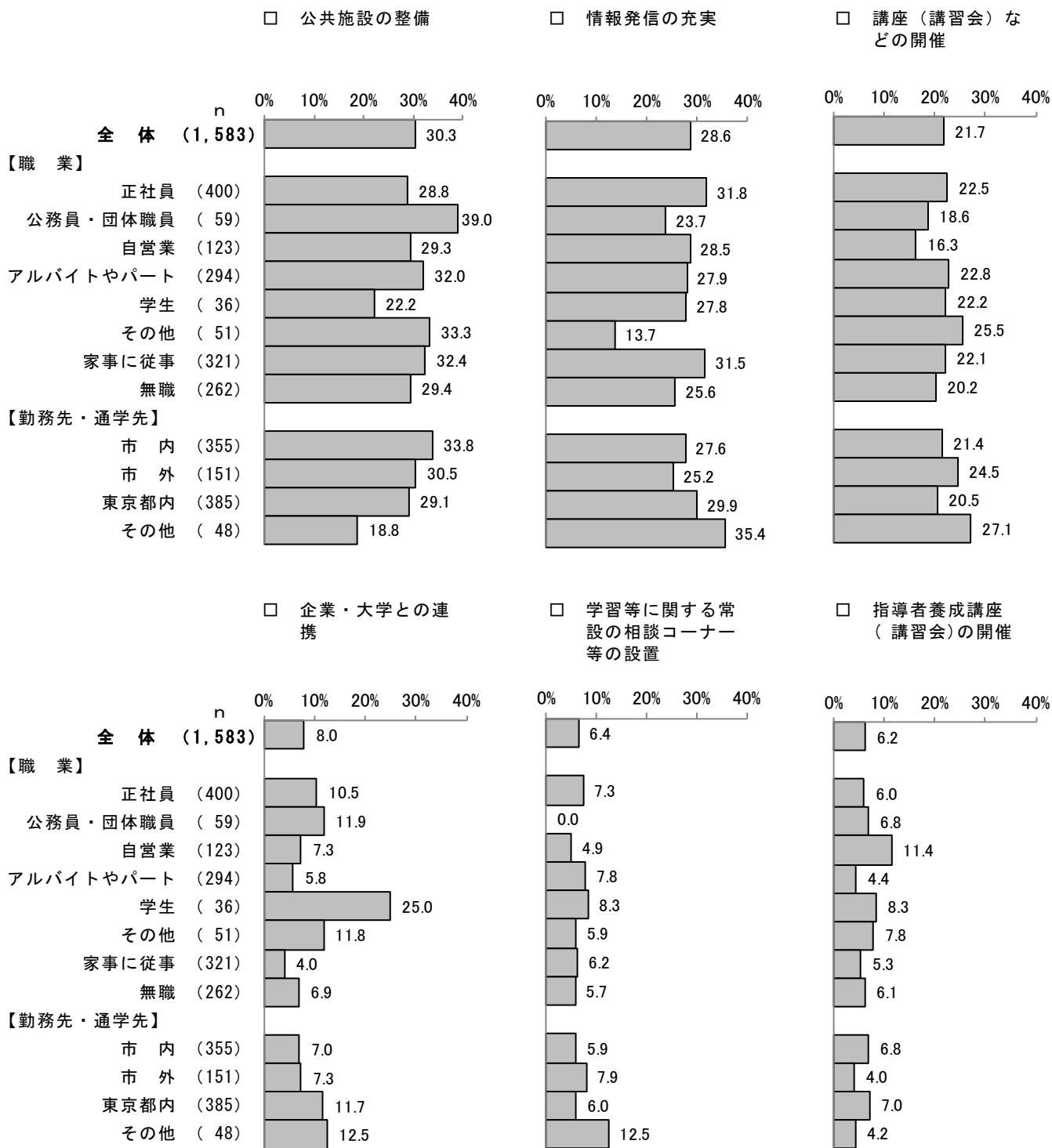
図表3-11 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと（性別 年齢別）



職業別でみると、「公共施設の整備」は公務員・団体職員は4割弱となっている。「情報発信の充実」は正社員と家事に従事で3割強となっている。「企業・大学との連携」は学生で2割台半ばとなっている。

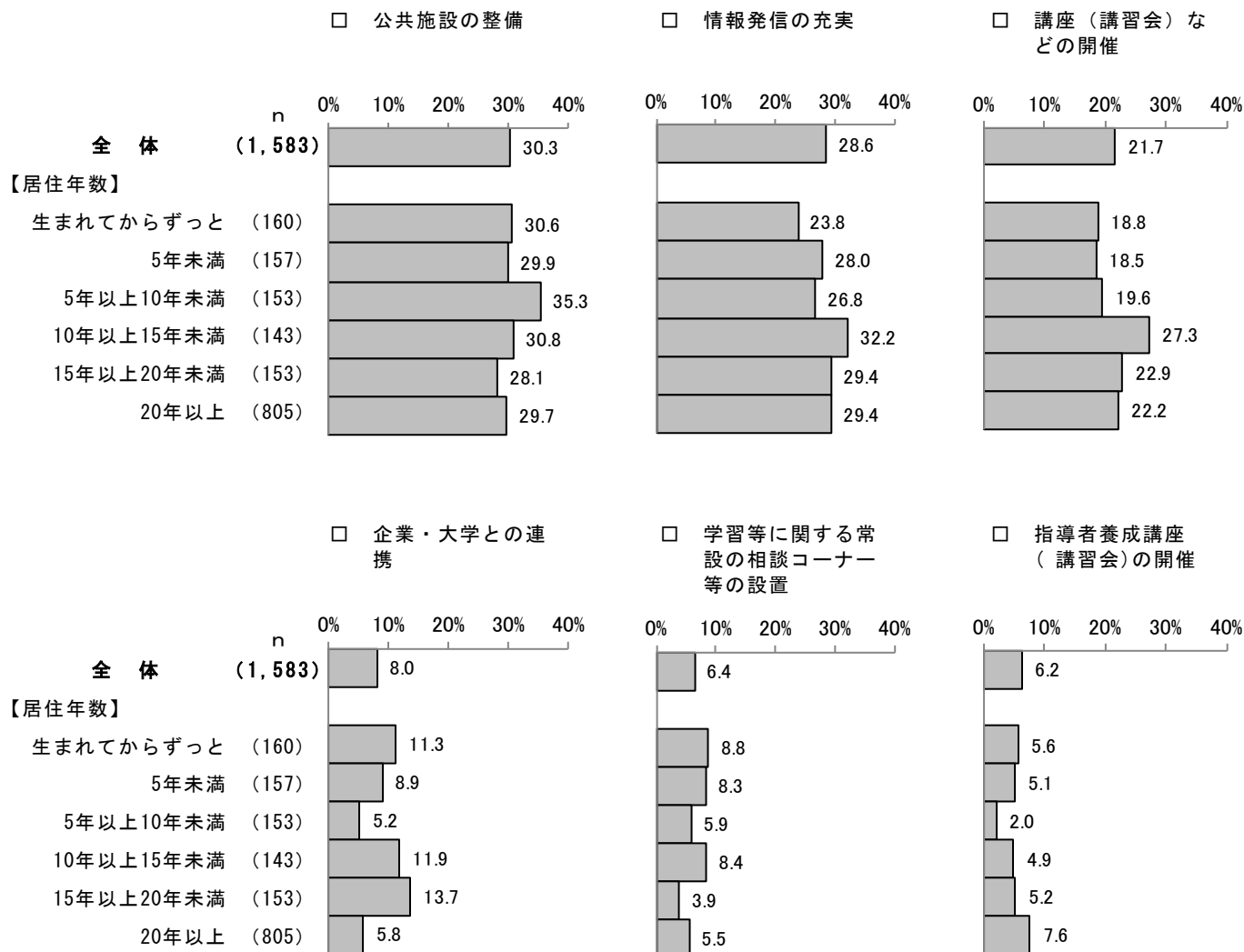
勤務先・通学先別でみると、「公共施設の整備」は市内で3割台半ば近く、市外で約3割となっている。「情報発信の充実」は東京都内で3割弱となっている。

図表3-12 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと（職業別 勤務先・通学先別）



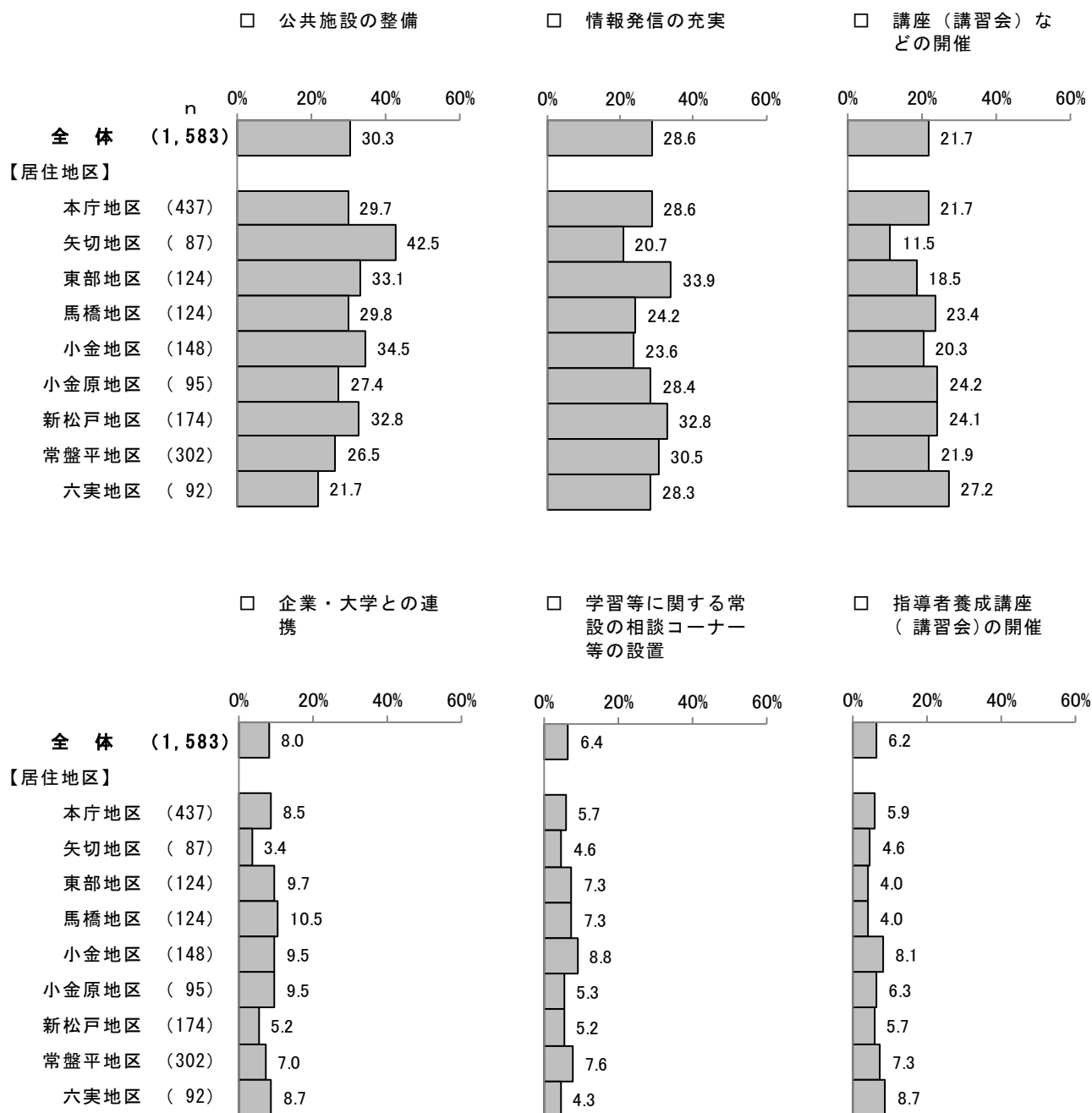
居住年数別でみると、「公共の施設の整備」は5年以上10年未満で3割台半ばとなっている。「情報発信の充実」は10年以上15年未満で3割強となっており、「講座（講習会）などの開催」でも10年以上15年未満で2割台半ばとなっている。

図表3-13 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと（居住年数別）



居住地区別でみると、「公共施設の整備」は矢切地区で4割強となっている。「情報発信の充実」は東部地区で3割台半ばを超え、新松戸地区で3割強となっている。「講座（講習会）などの開催」は六実地区で2割台半ばを超えている。

図表3-14 生涯学習事業について、市に力を入れてほしいこと（居住地区別）



4. 地域の子どもたち（青少年）に対する考えについて

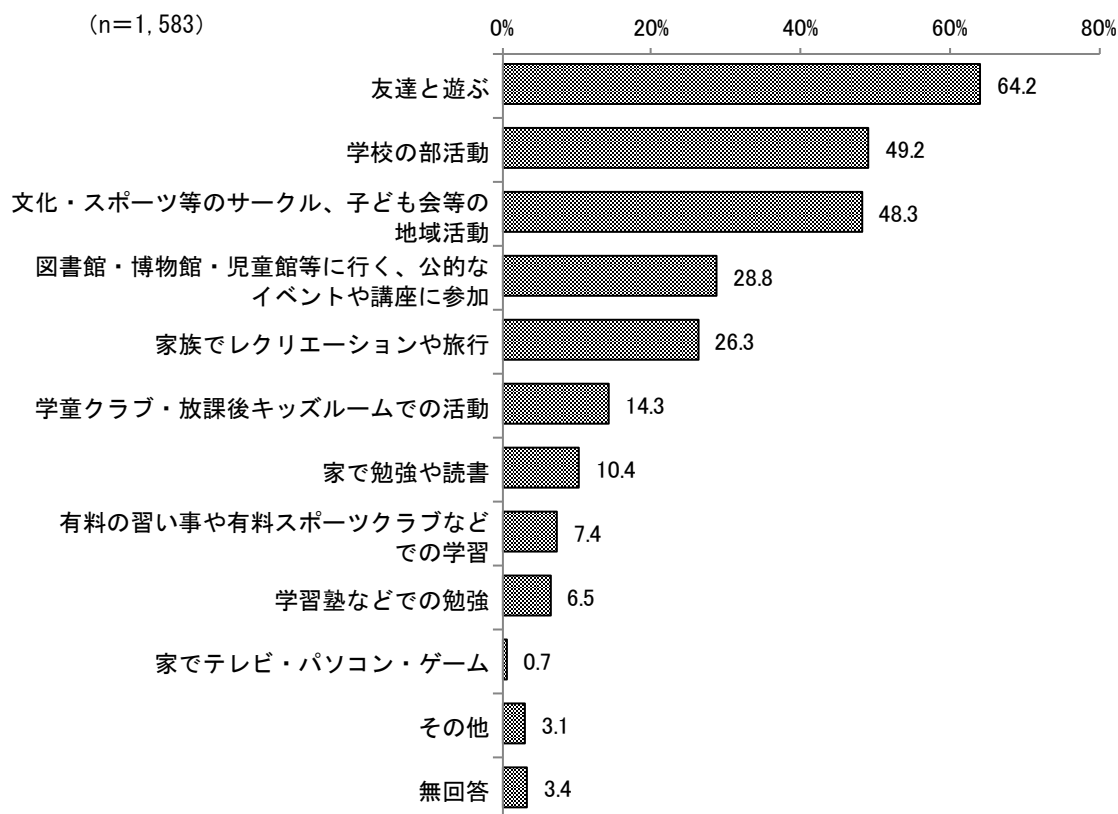
（１）地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方

◇ 「友達と遊ぶ」が６割台半ば近く

問 12 あなたは、地域の子どもたちに、放課後や休日をどのように過ごしてほしいと思いますか。
あてはまる番号に 3 つまで○印をつけてください。

地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方については、「友達と遊ぶ」が 64.2%と最も多く、次いで「学校の部活動」(49.2%)、「文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動」(48.3%)、「図書館・博物館・児童館等に行く、公的なイベントや講座に参加」(28.8%)、「家族でレクリエーションや旅行」(26.3%)となっている。

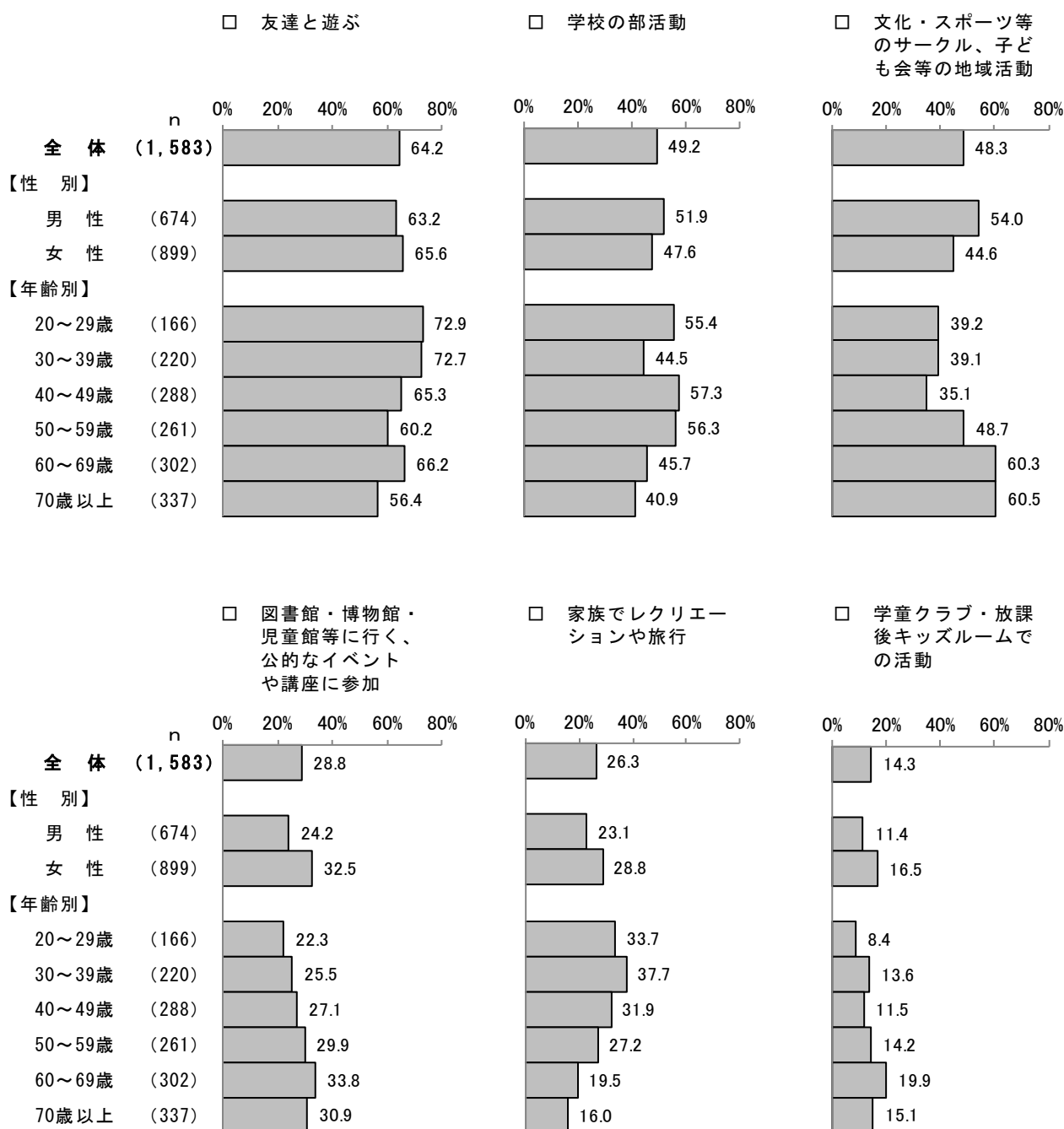
図表 4－1 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方



性別でみると、「友達と遊ぶ」は男女ともに6割を超えている。「文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動」は男性（54.0%）が女性（44.6%）を9.4ポイント上回っている。一方、「図書館・博物館・児童館等に行く、公的なイベントや講座に参加」は女性（32.5%）が男性（24.2%）を8.3ポイント上回っている。

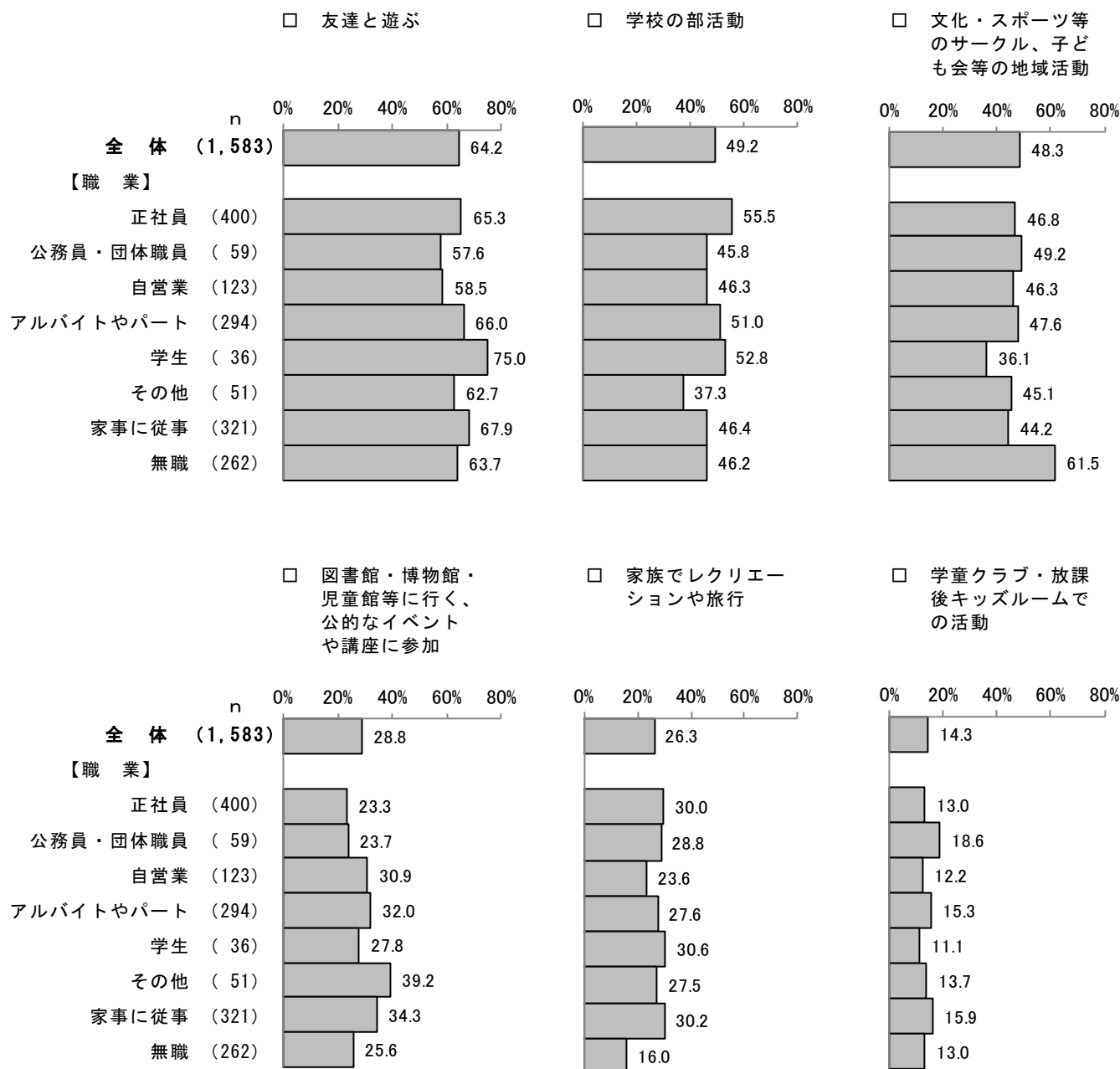
年齢別でみると、「友達と遊ぶ」は20歳代と30歳代では7割強となっている。「文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動」は60歳代と70歳以上では約6割となっている。「家族でレクリエーションや旅行」は30歳代では3割台半ばを超えている。

図表4-2 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方（性別 年齢別、上位6項目）



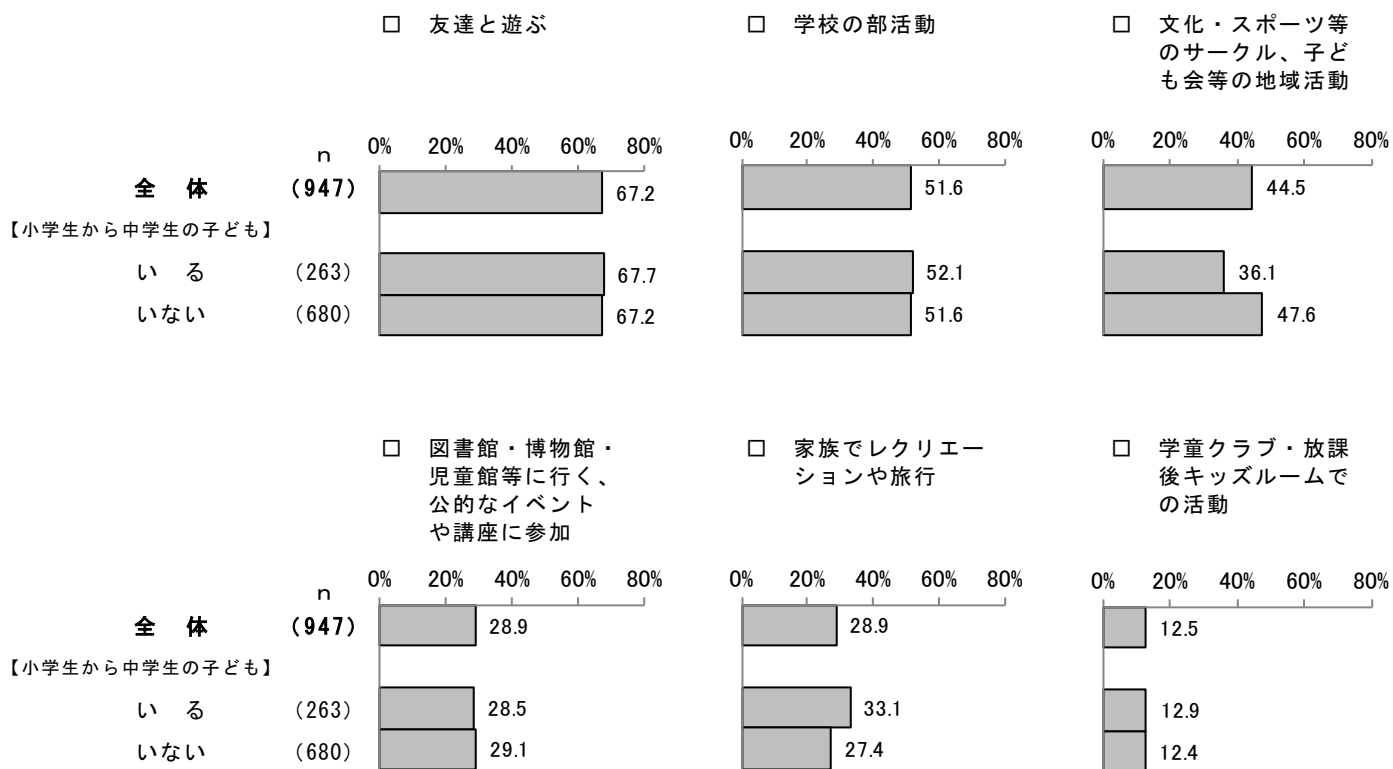
職業別でみると、「友達と遊ぶ」は学生で7割台半ばとなっている。「学校の部活動」は正社員で5割台半ば、学生で5割台半ば近くとなっている。「文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動」は無職で6割強となっている。

図表4-3 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方（職業別、上位6項目）



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、「文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動」は「いない」(47.6%)が「いる」(36.1%)を11.5ポイント上回っている。一方、「家族でレクリエーションや旅行」は「いる」(33.1%)が「いない」(27.4%)を5.7ポイント上回っている。

図表4-4 地域の子どもたちに望む放課後や休日の過ごし方
(小学生から中学生の子どもの有無別、上位6項目)



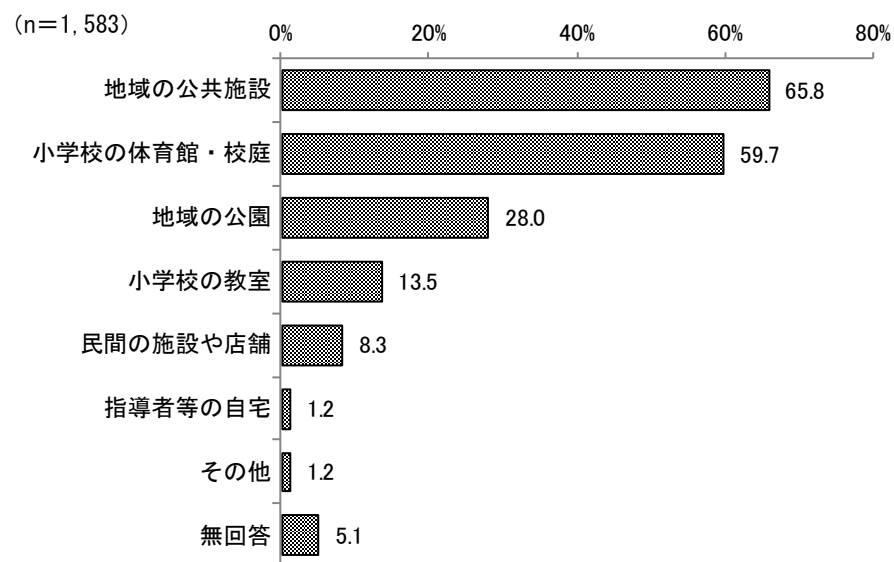
(2) 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所

◇ 「地域の公共施設」が6割台半ば、「小学校の体育館・校庭」が6割弱

問 13 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動(文化・スポーツ・レクリエーション等)をするにはどの場所がふさわしいと思いますか。あてはまる番号に 2つまで〇印 をつけてください。

放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所については、「地域の公共施設」が65.8%と最も多く、次いで「小学校の体育館・校庭」(59.7%)、「地域の公園」(28.0%)となっている。

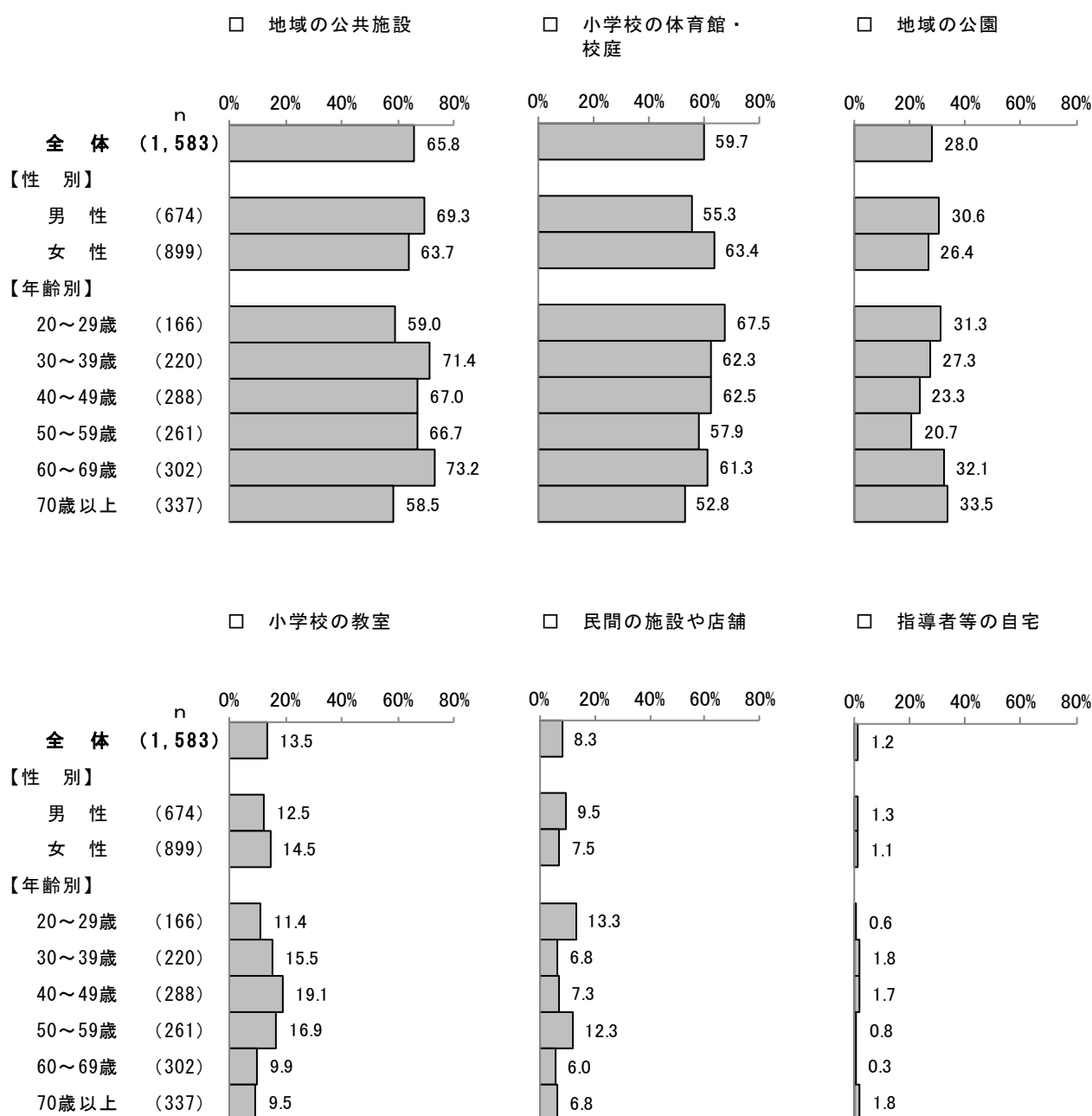
図表 4－5 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所



性別でみると、「地域の公共施設」は男性（69.3%）が女性（63.7%）を5.6ポイント上回っている。また「地域の公園」も男性（30.6%）が女性（26.4%）を4.2ポイント上回っている。一方、「小学校の体育館・校庭」は女性（63.4%）が男性（55.3%）を8.1ポイント上回っている。

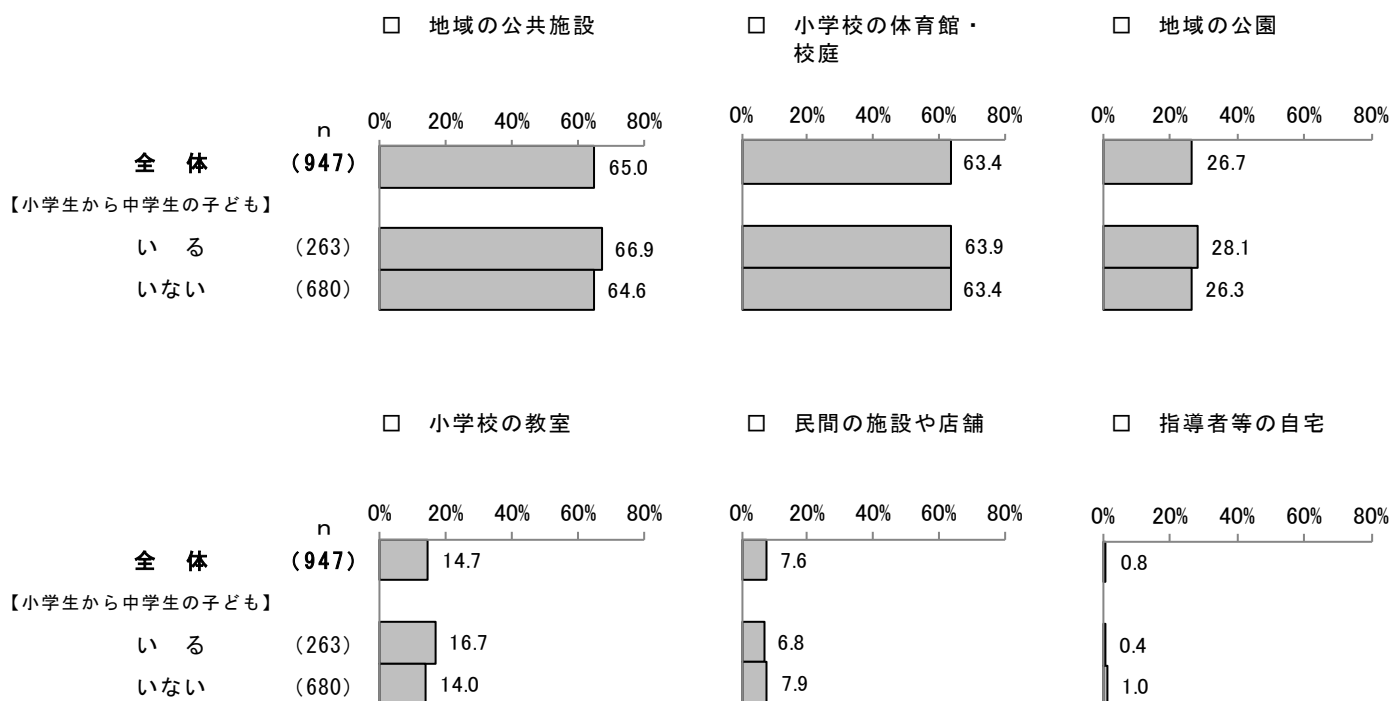
年齢別でみると、「地域の公共施設」は60歳代で7割台半ば近く、30歳代で7割強となっている。「小学校の体育館・校庭」は20歳代で6割台半ばを超えている。

図表4-6 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所
(性別 年齢別、上位6項目)



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、大きな違いはみられない。

図表４－７ 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所
(小学生から中学生の子どもの有無別、上位６項目)



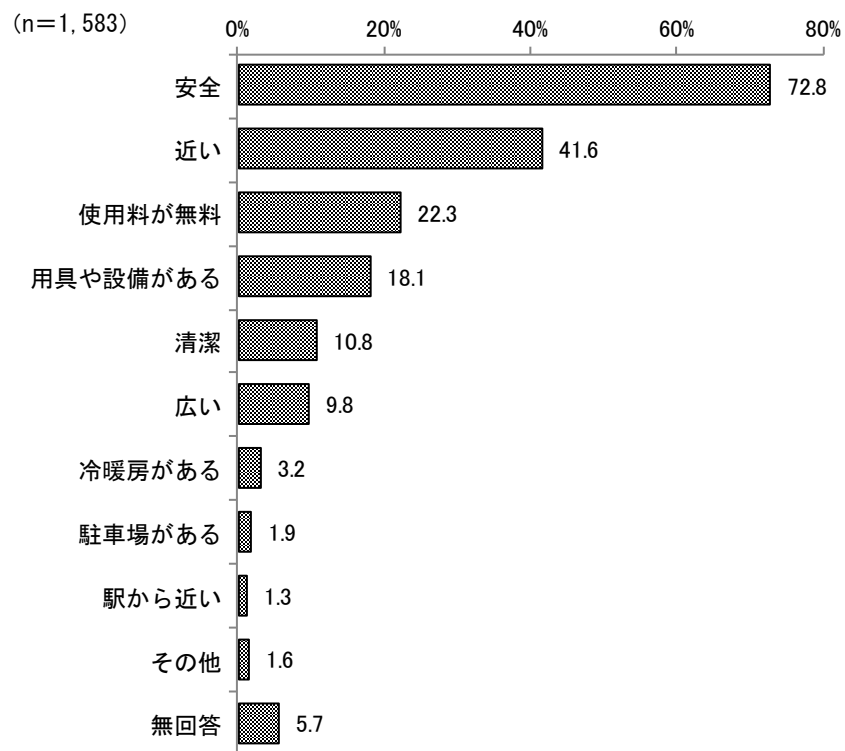
(3) 子どもの活動場所に求めること

◇ 「安全」が7割強

問 14 問 13 の子どもの活動場所に求めることは何ですか？あてはまる番号に 2つまで○印 をつけてください。

子どもの活動場所に求めることについては、「安全」が72.8%と最も多く、次いで「近い」(41.6%)、「使用料が無料」(22.3%)、「用具や設備がある」(18.1%)となっている。

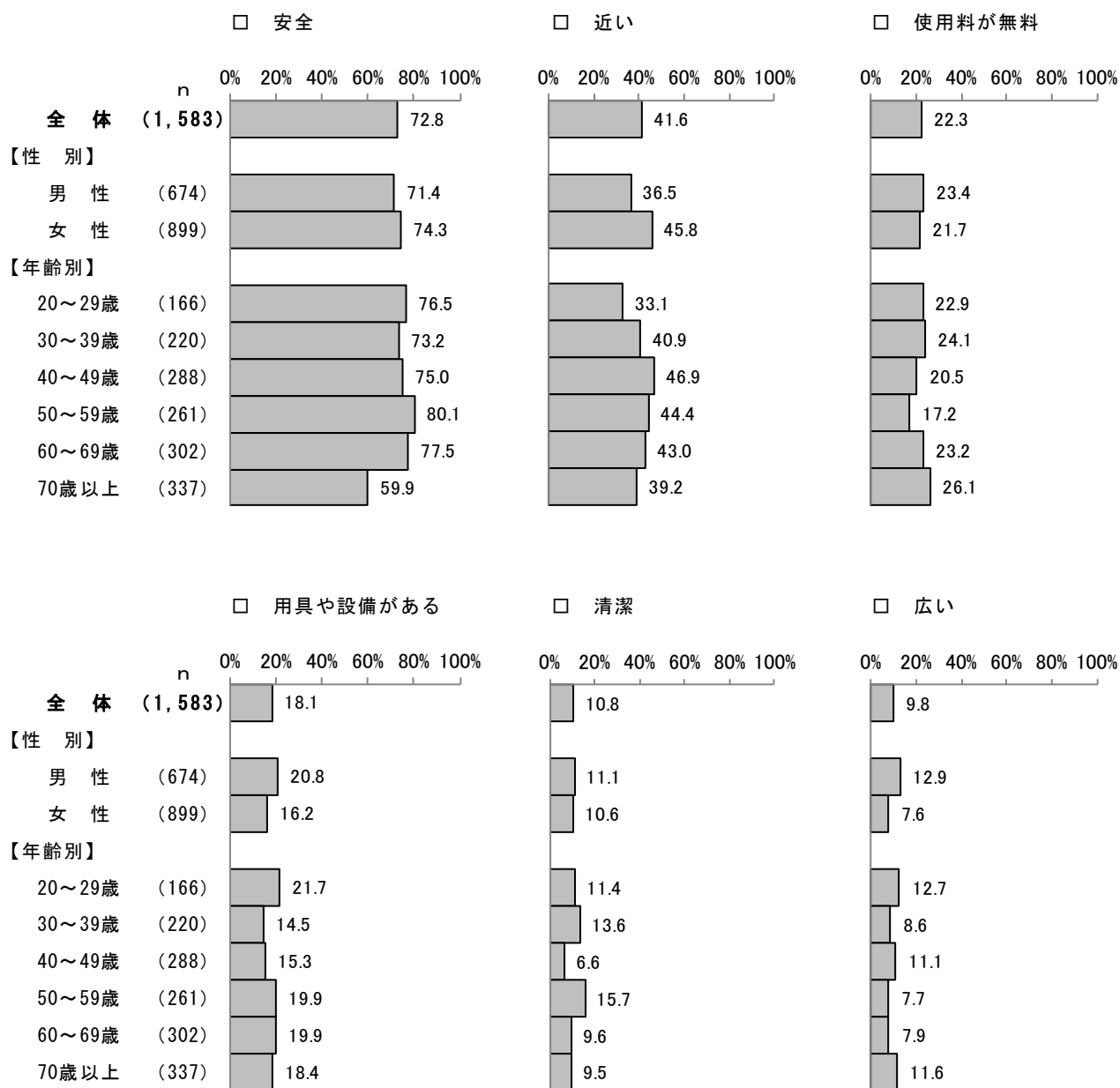
図表 4－8 子どもの活動場所に求めること



性別でみると、「安全」は男女ともに7割を超えている。「近い」は女性(45.8%)が男性(36.5%)を9.3ポイント上回っている。

年齢別でみると、「安全」は70歳以上を除く年代では7割を超え、特に50歳代では約8割となっている。「近い」は40歳代で4割台半ばを超え、50歳代と60歳代では4割台半ば近くとなっている。

図表4-9 子どもの活動場所に求めること(性別 年齢別、上位6項目)



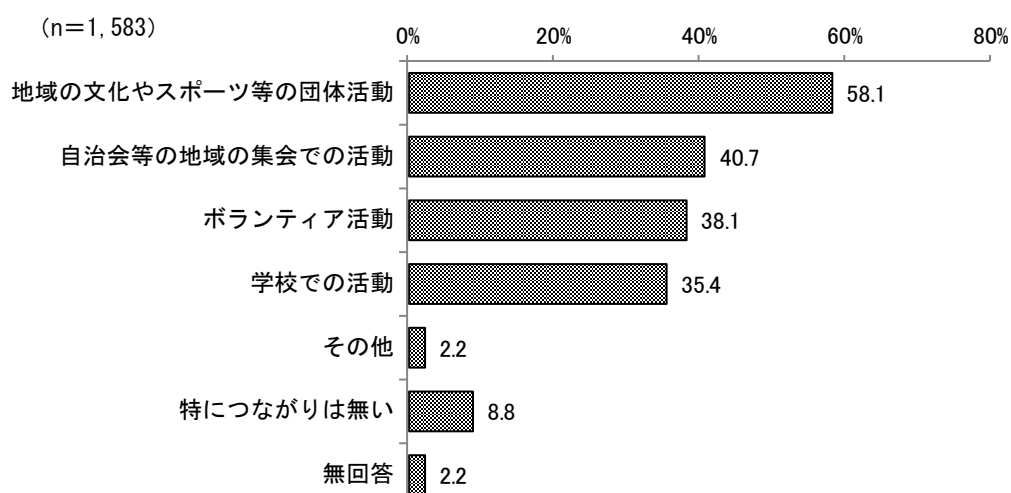
(4) 地域の住民と小中学生とがつながる機会

◇ 「地域の文化やスポーツ等の団体活動」が6割近く

問 15 あなたは、地域の住民と小中学生とが、つながる機会にはどのようなものがあると思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

地域の住民と小中学生とがつながる機会については、「地域の文化やスポーツ等の団体活動」は58.1%と最も多く、次いで「自治会等の地域の集会での活動」(40.7%)、「ボランティア活動」(38.1%)、「学校での活動」(35.4%)となっている。また「特につながりはない」は1割未満となっている。

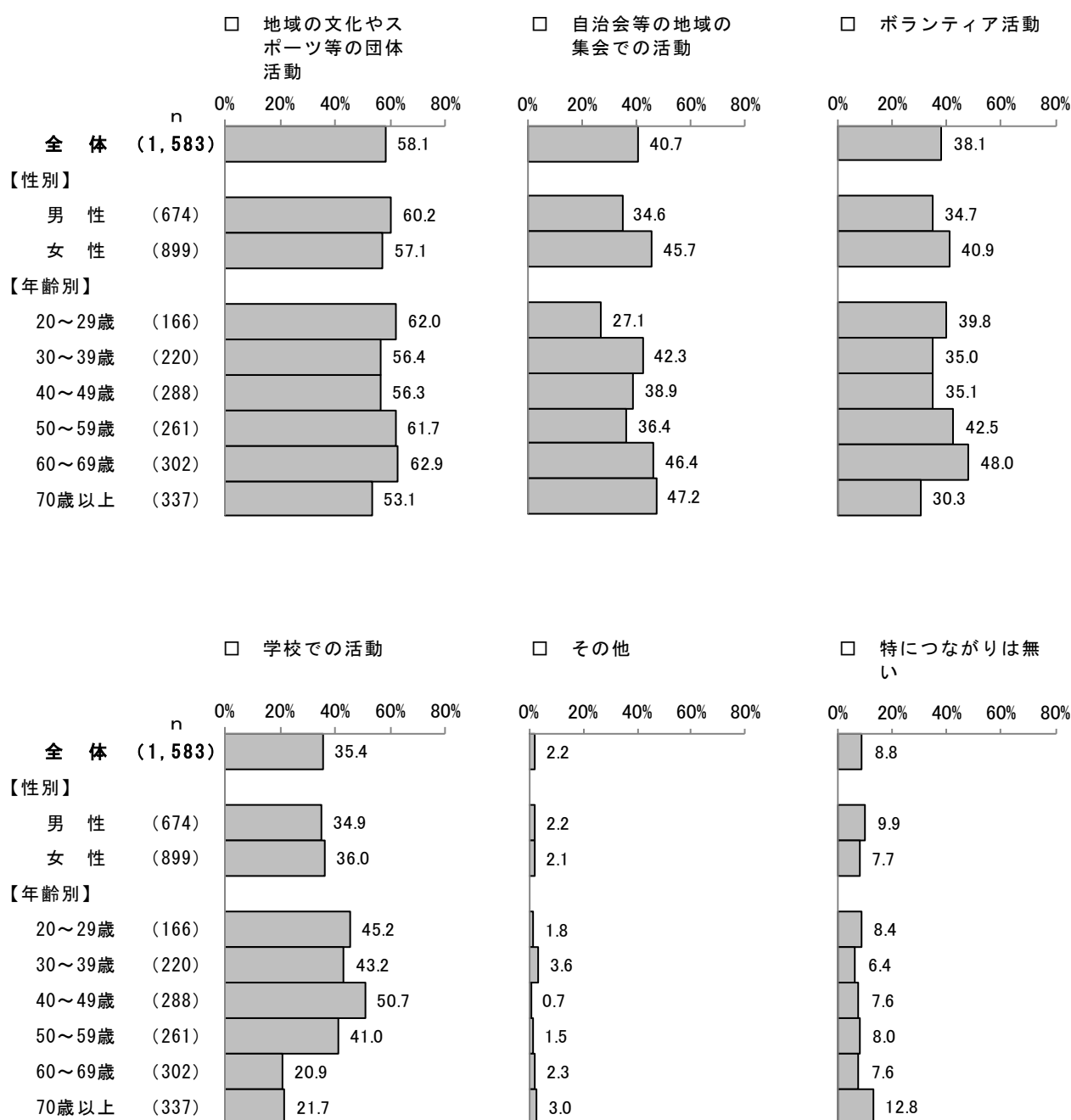
図表4-10 地域の住民と小中学生とがつながる機会



性別でみると、「地域の文化やスポーツ等の団体活動」は男性（60.2%）が女性（57.1%）を 3.1 ポイント上回っている。一方、「自治会等の地域の集会での活動」は女性（45.7%）が男性（34.6%）を 11.1 ポイント上回っている。また「ボランティア活動」も女性（40.9%）が男性（34.7%）を 6.2 ポイント上回っている。

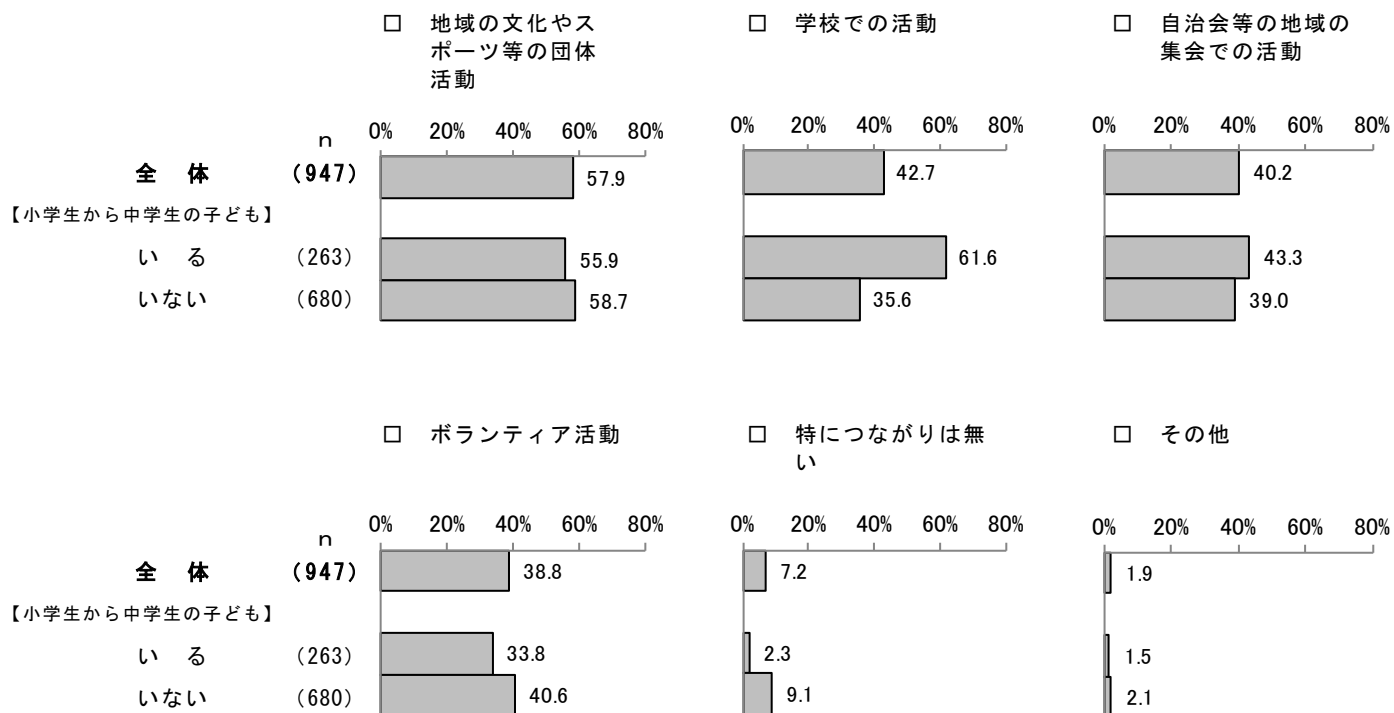
年齢別でみると、「地域の文化やスポーツ等の団体活動」は 70 歳以上を除く年代で 5 割台半ばを超えている。「自治会等の地域の集会での活動」は 20 歳代を除く年代で 3 割台半ばを超え、特に 60 歳代と 70 歳以上で 4 割台半ばを超えている。「ボランティア活動」は 60 歳代で 5 割近くとなっている。「学校での活動」は 40 歳代で約 5 割となっている。

図表 4-11 地域の住民と小中学生とがつながる機会（性別 年齢別）



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、「学校での活動」はいる(61.6%) がない(35.6%) よりも 26.0 ポイント上回っている。一方、「ボランティア活動」はいない(40.6%) がいる(33.8%) よりも 6.8 ポイント上回っている。

図表 4-12 地域の住民と小中学生とがつながる機会（小学生から中学生の子どもの有無別）



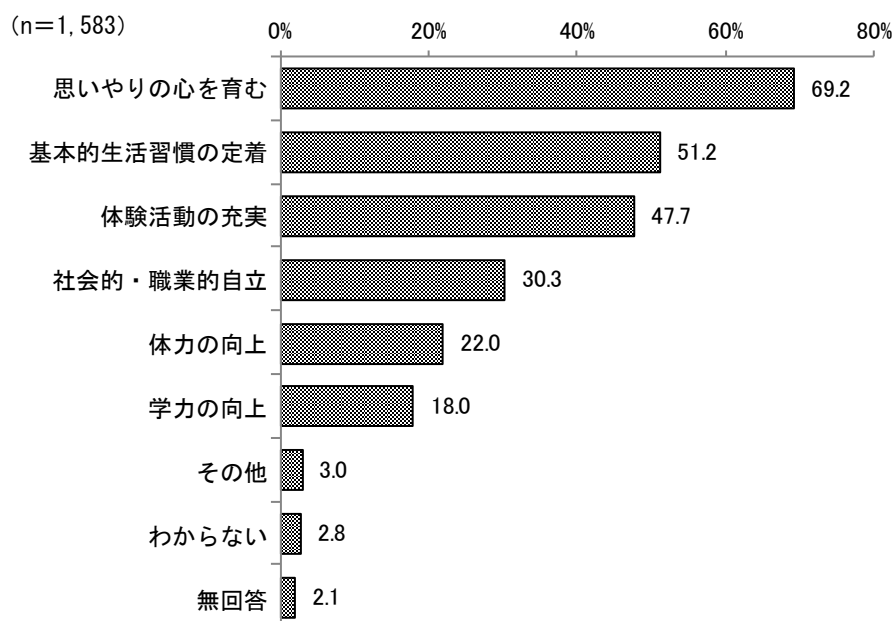
(5) 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果

◇ 「思いやりの心を育む」が7割弱

問 16 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで、小中学生にとって、もっとも期待できる効果とはどのようなことでしょうか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果については、「思いやりの心を育む」が69.2%と最も多く、次いで「基本的生活習慣の定着」(51.2%)、「体験活動の充実」(47.7%)、「社会的・職業的自立」(30.3%)となっている。

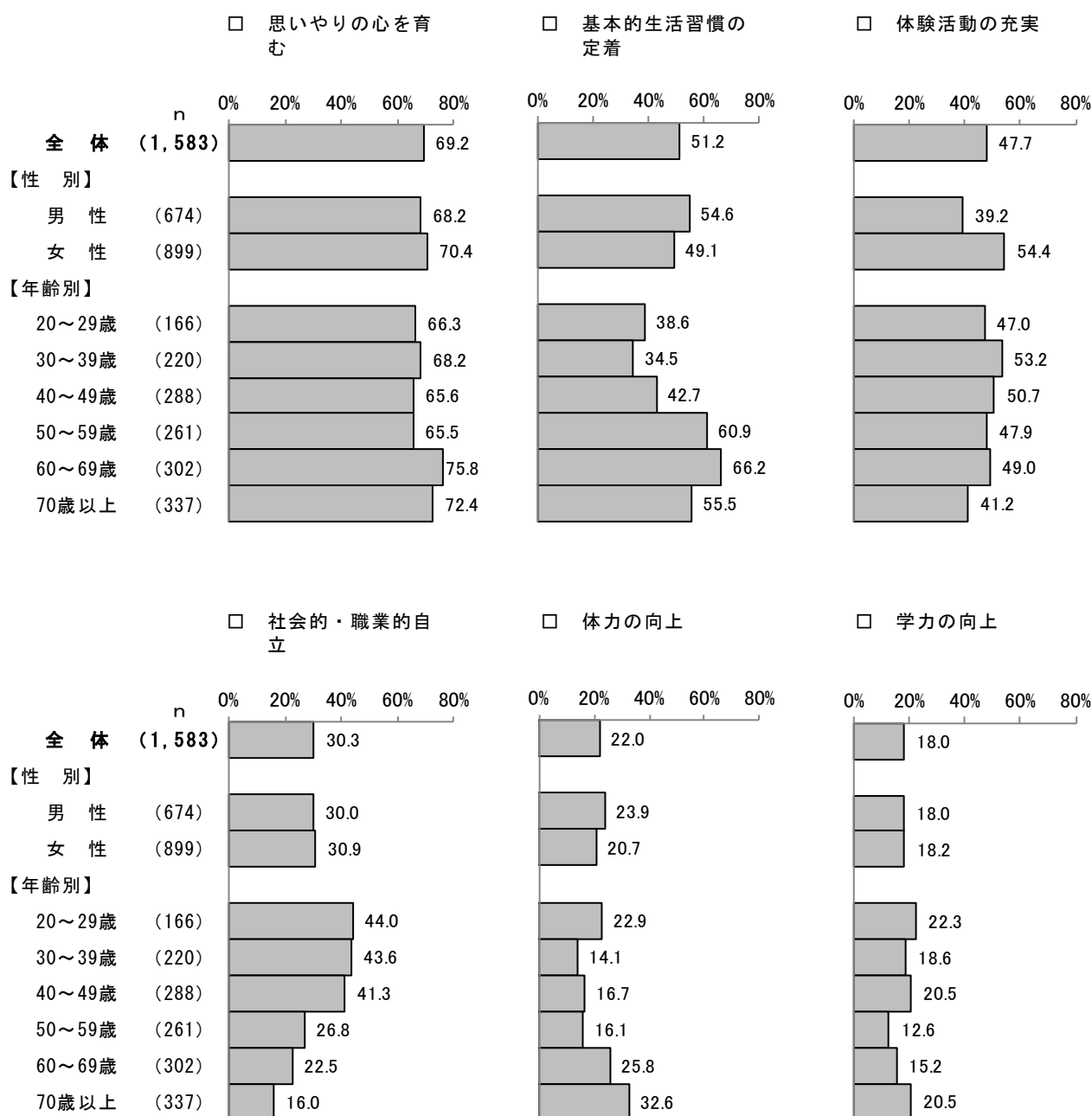
図表 4-13 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果



性別でみると、「思いやりの心を育む」は女性が約7割、男性が7割近くとなっている。「基本的生活習慣の定着」は男性（54.6%）が女性（49.1%）を5.5ポイント上回っている。一方、「体験活動の充実」は女性（54.4%）が男性（39.2%）を15.2ポイント上回っている。

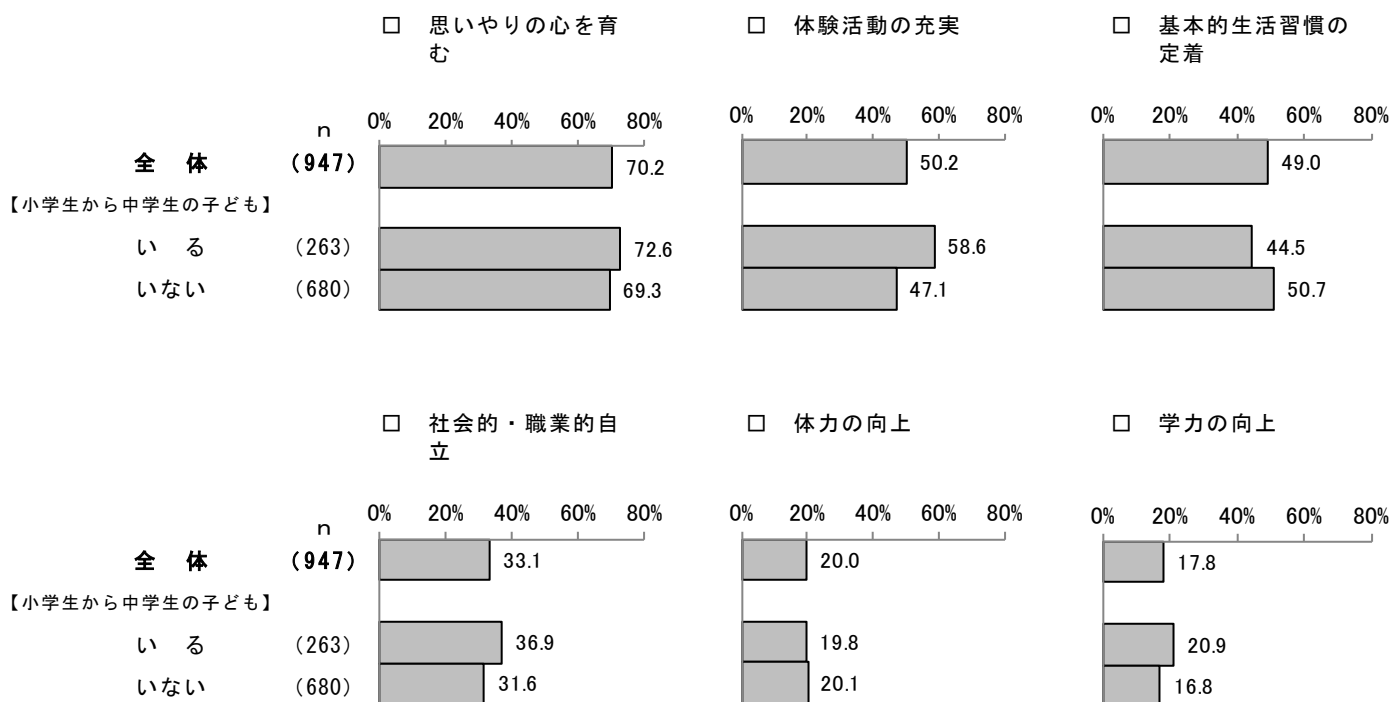
年齢別でみると、「思いやりの心を育む」は60歳代で7割台半ばを超え、70歳以上では7割台半ば近くとなっている。「基本的生活習慣の定着」は60歳代で6割台半ばを超えている。「社会的・職業的自立」は20歳代で4割台半ばとなっており、年代が上がるにつれて割合は低くなっている。

図表4-14 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果
(性別 年齢別、上位6項目)



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、「体験活動の充実」はいる(58.6%)がいない(47.1%)よりも11.5ポイント上回っている。一方、「基本的生活習慣の定着」はいない(50.7%)がいる(44.5%)よりも6.2ポイント上回っている。

図表4-15 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果
(小学生から中学生の子どもの有無別、上位6項目)



（６）小中学校でのボランティア活動の参加

◇ 小中学校でのボランティア活動に参加したことがない人が約７割

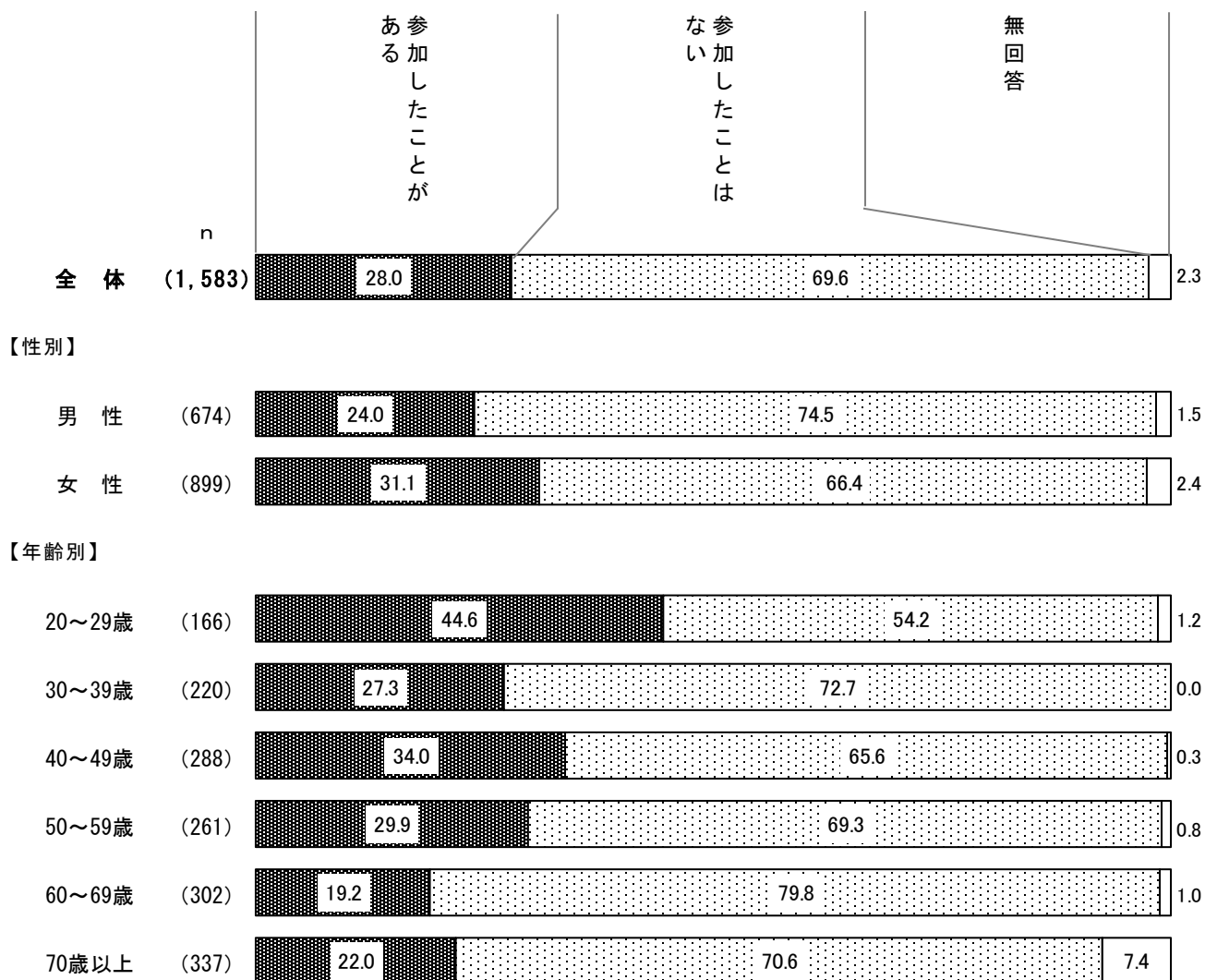
問 17 あなたは、小中学校で、ボランティア活動に参加したことがありますか。あてはまる番号に 1つ〇印 をつけてください。

小中学校でのボランティア活動の参加については、「参加したことがある」が 28.0%、「参加したことはない」が 69.6%となっている。

性別でみると、「参加したことがある」は女性（31.1%）が男性（24.0%）を 7.1 ポイント上回っている。

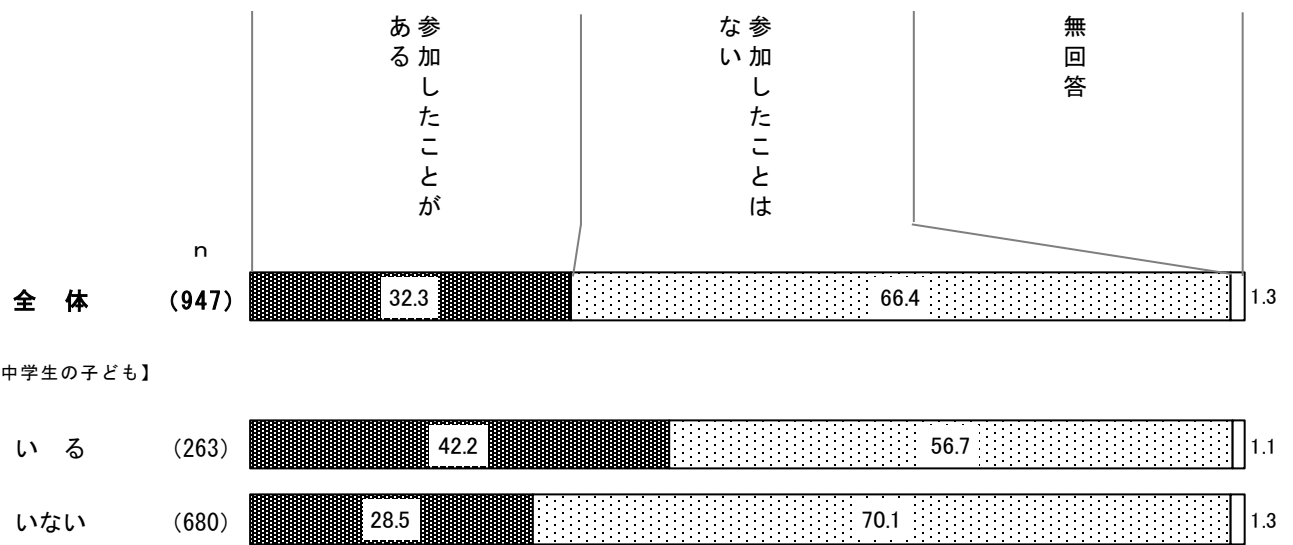
年齢別でみると、すべての年齢層で「参加したことはない」が 5 割を超え、特に 60～69 歳では 8 割弱となっている。20～29 歳では「参加したことがある」が 4 割台半ば近くとなっており、他の年齢層と比べると多くなっている。

図表 4－16 小中学校でのボランティア活動の参加（全体・性別 年齢別）



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、「参加したことがある」はいる（42.2%）がいない（28.5%）よりも 13.7 ポイント上回っている。

図表 4-17 小中学校でのボランティア活動の参加（小学生から中学生の子どもの有無別）



(7) 学校のボランティア活動に参加しなかった理由

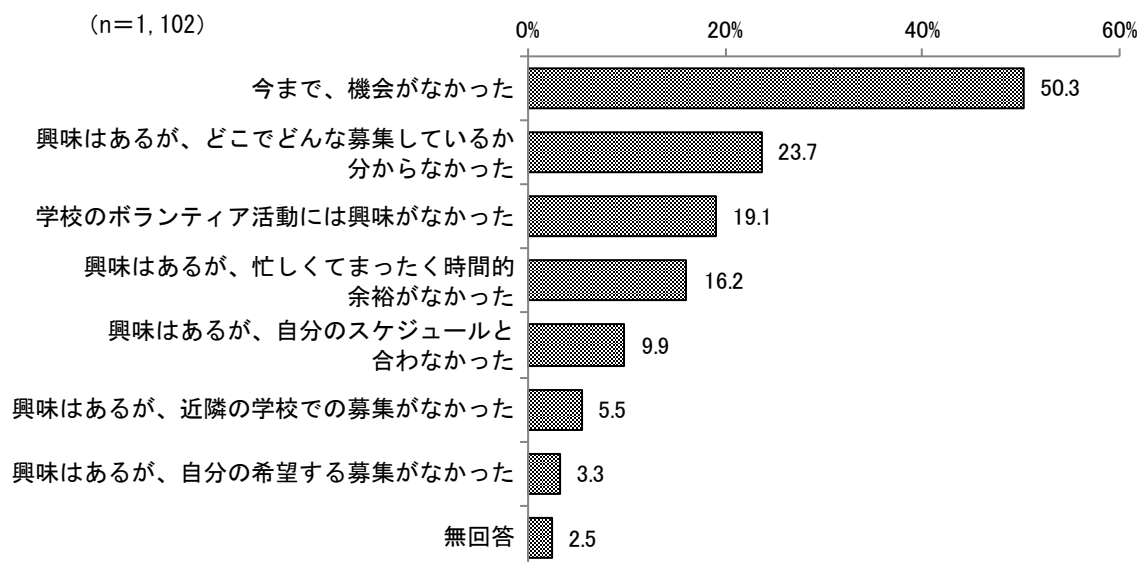
◇ 「今まで、機会がなかった」が約5割

【問 17 の質問で「2 (いいえ)」と回答した方にうかがいます。】

問 18 学校のボランティア活動に参加しなかった理由は何ですか。あてはまる番号に いくつでも ○印をつけてください。

学校のボランティア活動に参加しなかった理由については、「今まで、機会がなかった」が50.3%と最も多く、次いで「興味はあるが、どこでどんな募集しているか分からなかった」(23.7%)、「学校のボランティア活動には興味はなかった」(19.1%)、「興味はあるが、忙しくてまったく時間的余裕がなかった」(16.2%)となっている。

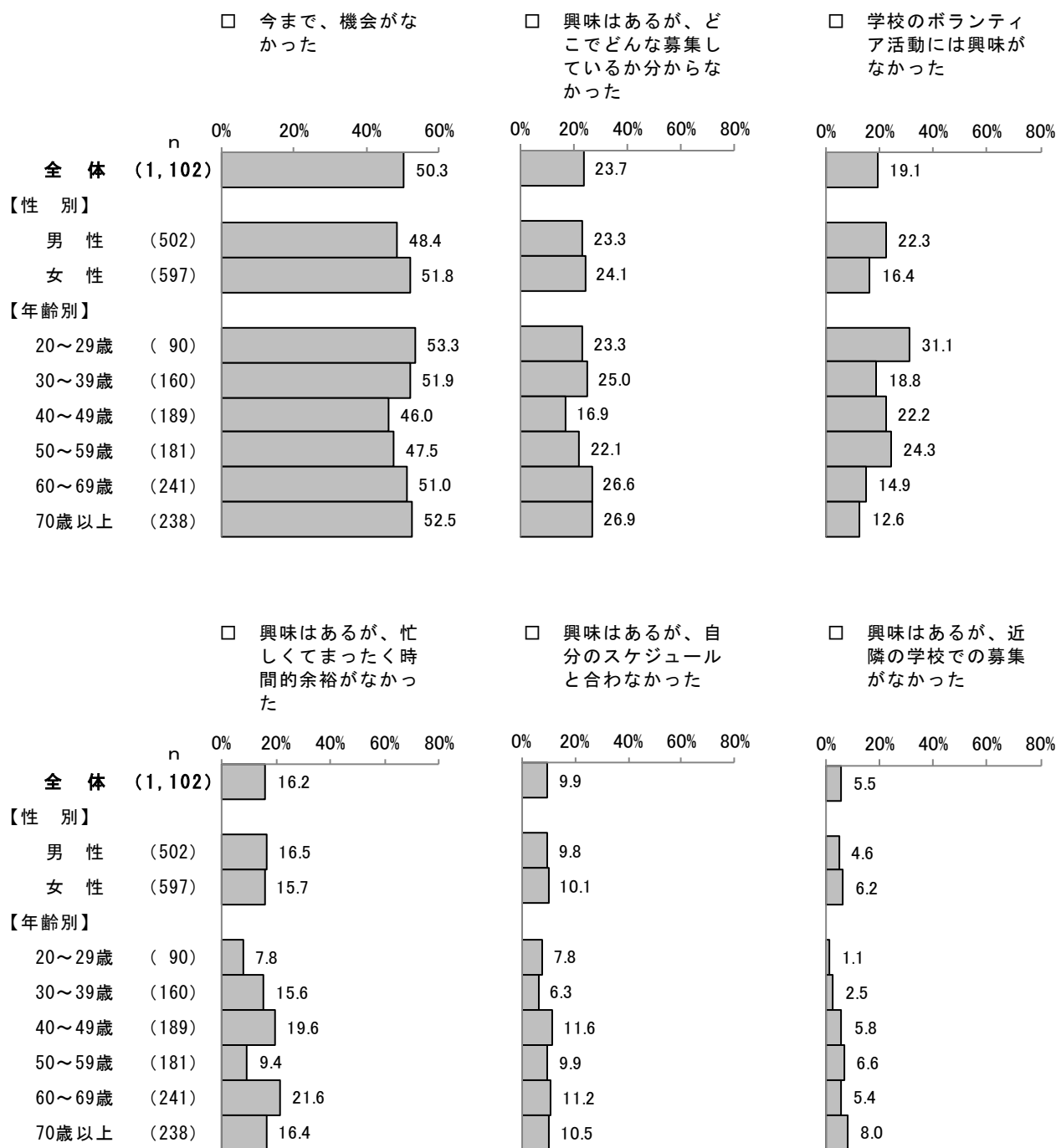
図表 4-18 学校のボランティア活動に参加しなかった理由



性別でみると、「今まで、機会がなかった」は女性（51.8%）が男性（48.4%）を3.4ポイント上回っている。一方、「学校のボランティア活動には興味がなかった」は男性（22.3%）が女性（16.4%）を5.9ポイント上回っている。

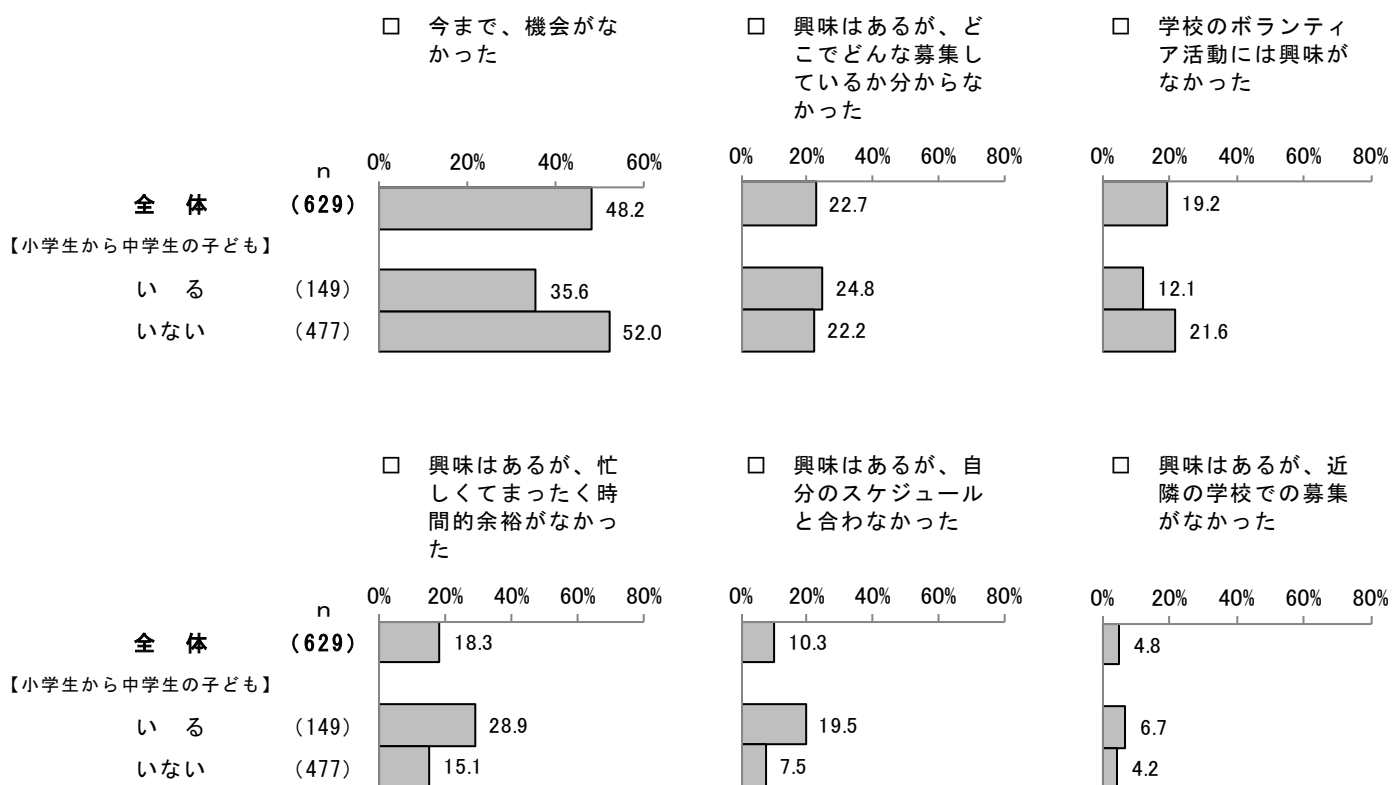
年齢別でみると、「今まで、機会がなかった」はすべての年代で4割台半ばを超えており、特に20歳代では5割台半ば近くとなっている。「興味はあるが、どこでどんな募集しているか分からなかった」は60歳代と70歳代以上で2割台半ばを超えている。「学校のボランティア活動には興味がなかった」は20歳代で3割強となっている。

図表4-19 学校のボランティア活動に参加しなかった理由（性別 年齢別、上位6項目）



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、「今まで、機会がなかった」はいない（52.0％）がいる（35.6％）よりも 16.4 ポイント上回っている。一方、「興味はあるが、忙しくてまったく時間的余裕がなかった」はいる（28.9％）がいない（15.1％）よりも 13.8 ポイント上回っている

図表 4-20 学校のボランティア活動に参加しなかった理由
(小学生から中学生の子どもの有無別、上位 6 項目)



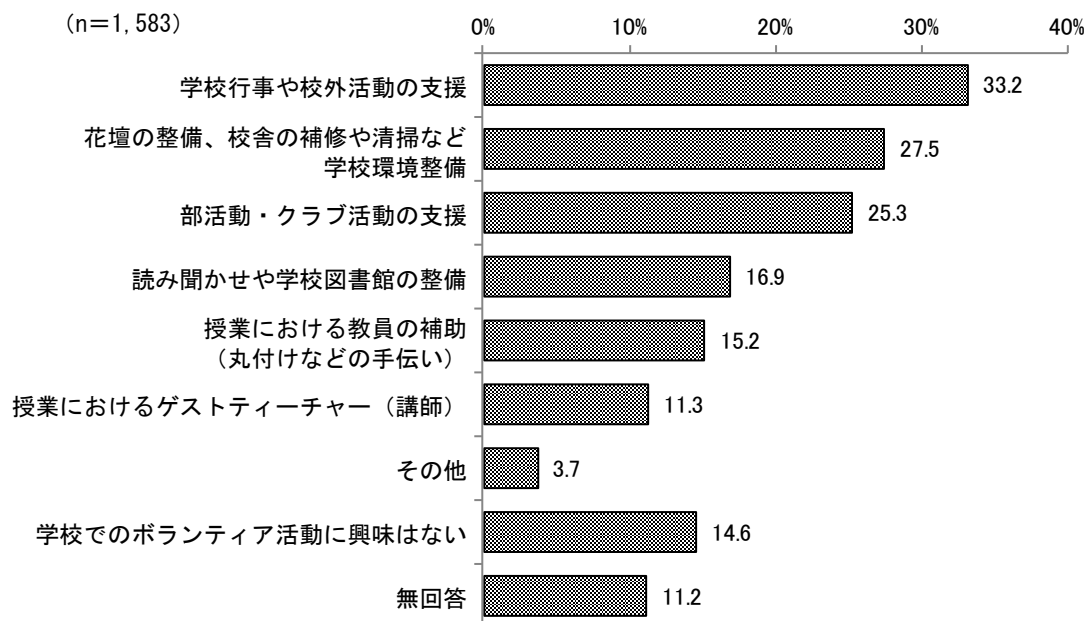
（８）興味がある小中学校のボランティア活動

◇ 「学校行事や校外活動の支援」が３割台半ば近く

問 19 あなたが小中学校でボランティア活動を支援するとしたなら、どのような活動に興味がありますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

興味がある小中学校のボランティア活動については、「学校行事や校外活動の支援」が 33.2%と最も多く、次いで「花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備」(27.5%)、「部活動・クラブ活動の支援」(25.3%)となっている。一方、「学校でのボランティア活動に興味はない」は 14.6%と１割台半ば近くとなっている。

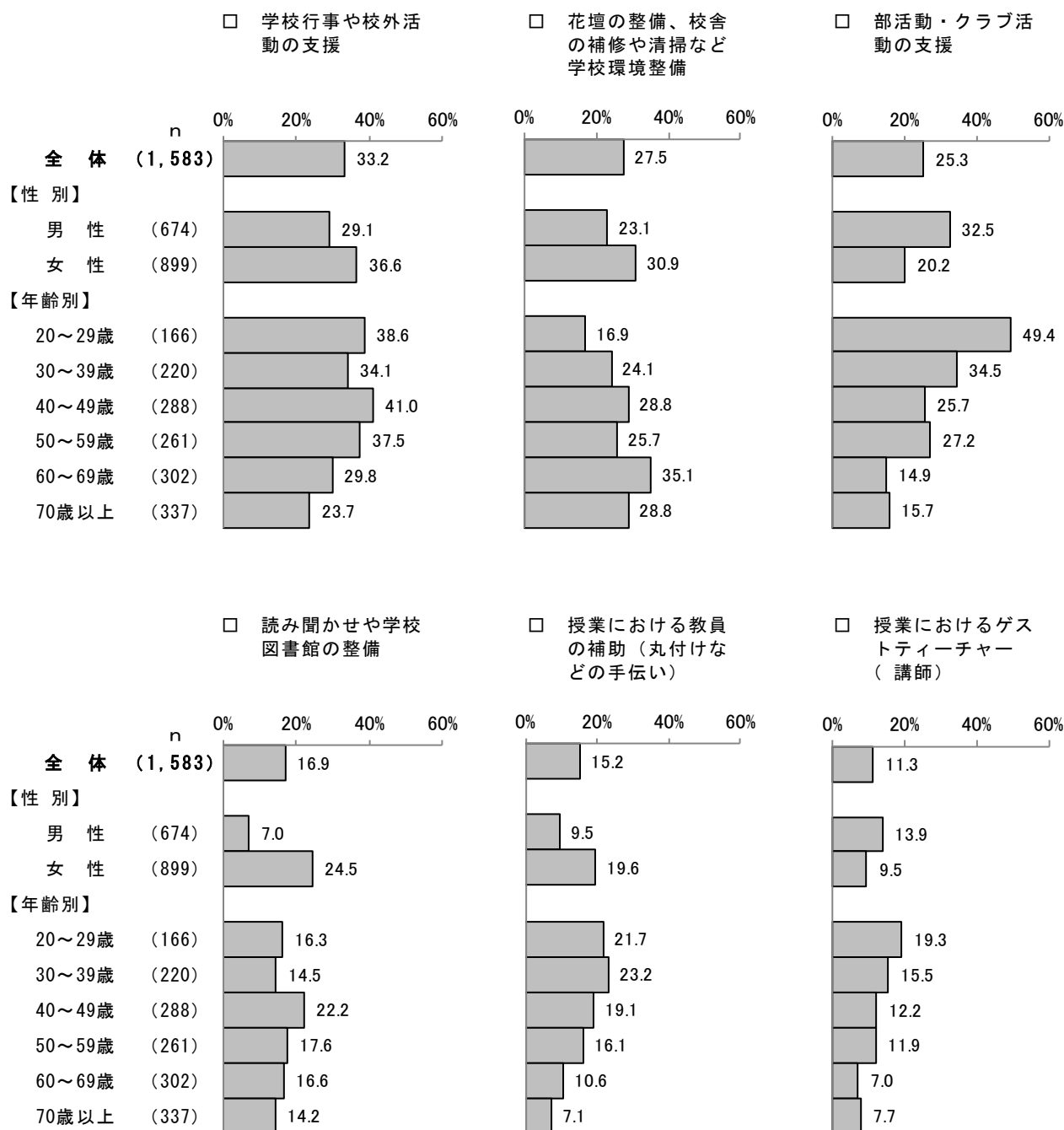
図表 4-21 興味がある小中学校のボランティア活動



性別でみると、「読み聞かせや学校図書館の整備」は女性（24.5%）が男性（7.0%）を 17.5 ポイント上回っている。また「授業における教員の補助（丸付けなどの手伝い）」も女性（19.6%）が男性（9.5%）を 10.1 ポイント上回っている。一方、「部活動・クラブ活動の支援」は男性（32.5%）が女性（20.2%）を 12.3 ポイント上回っている。

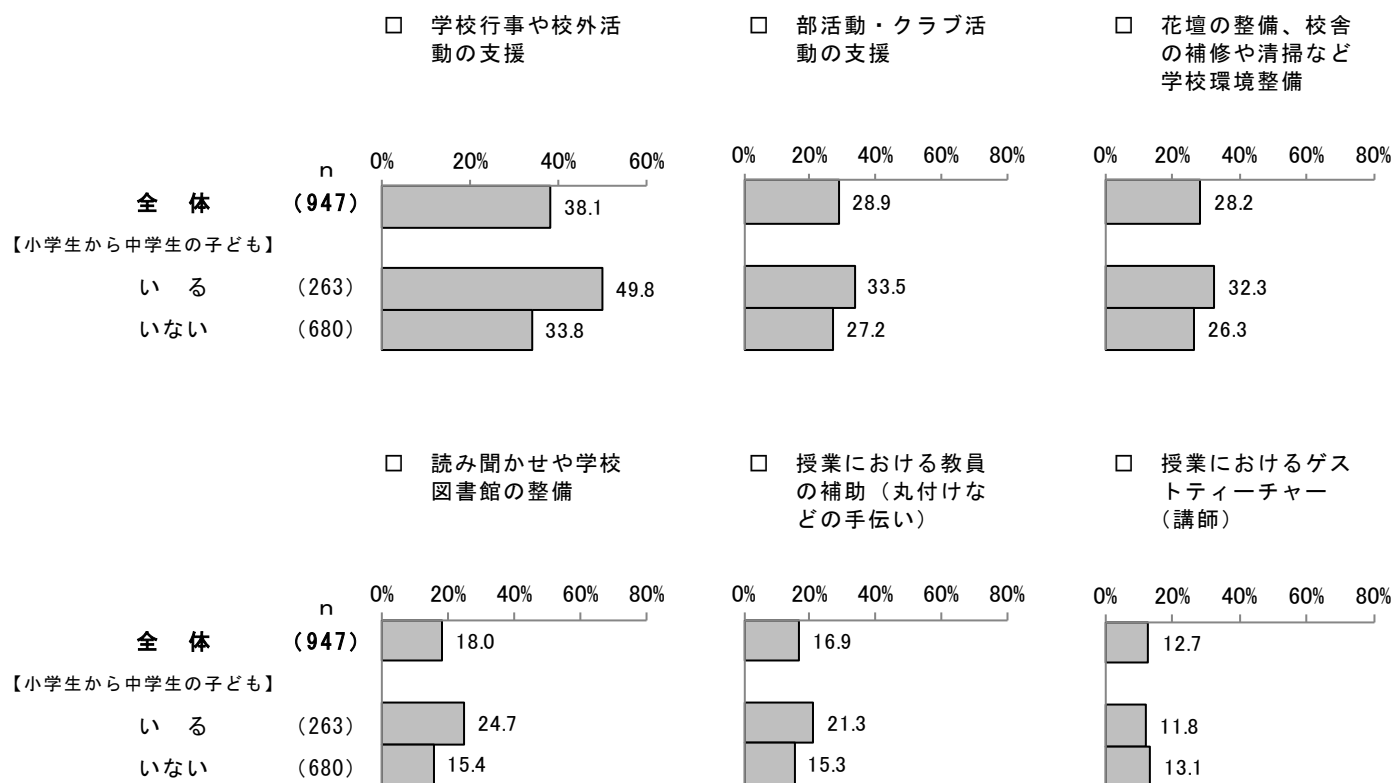
年齢別でみると、「学校行事や校外活動の支援」は 40 歳代で 4 割強となっている。「花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備」は 60 歳代で 3 割台半ばとなっている。「部活動・クラブ活動の支援」は 20 歳代で 5 割弱となっている。

図表 4-22 興味がある小中学校のボランティア活動（性別 年齢別、上位 6 項目）



小学生から中学生の子どもの有無別でみると、上位6項目のうち5項目はいるがいないよりも上回っている。特に「学校行事や校外活動の支援」では、いる（49.8%）がいない（33.8%）よりも16.0ポイント上回っている。

図表4-23 興味がある小中学校のボランティア活動
（小学生から中学生の子どもの有無別、上位6項目）



5. 松戸市の図書館について

(1) 図書館の利用頻度

◇ 「年に数回程度」が2割強、「利用したことがない」が4割近く

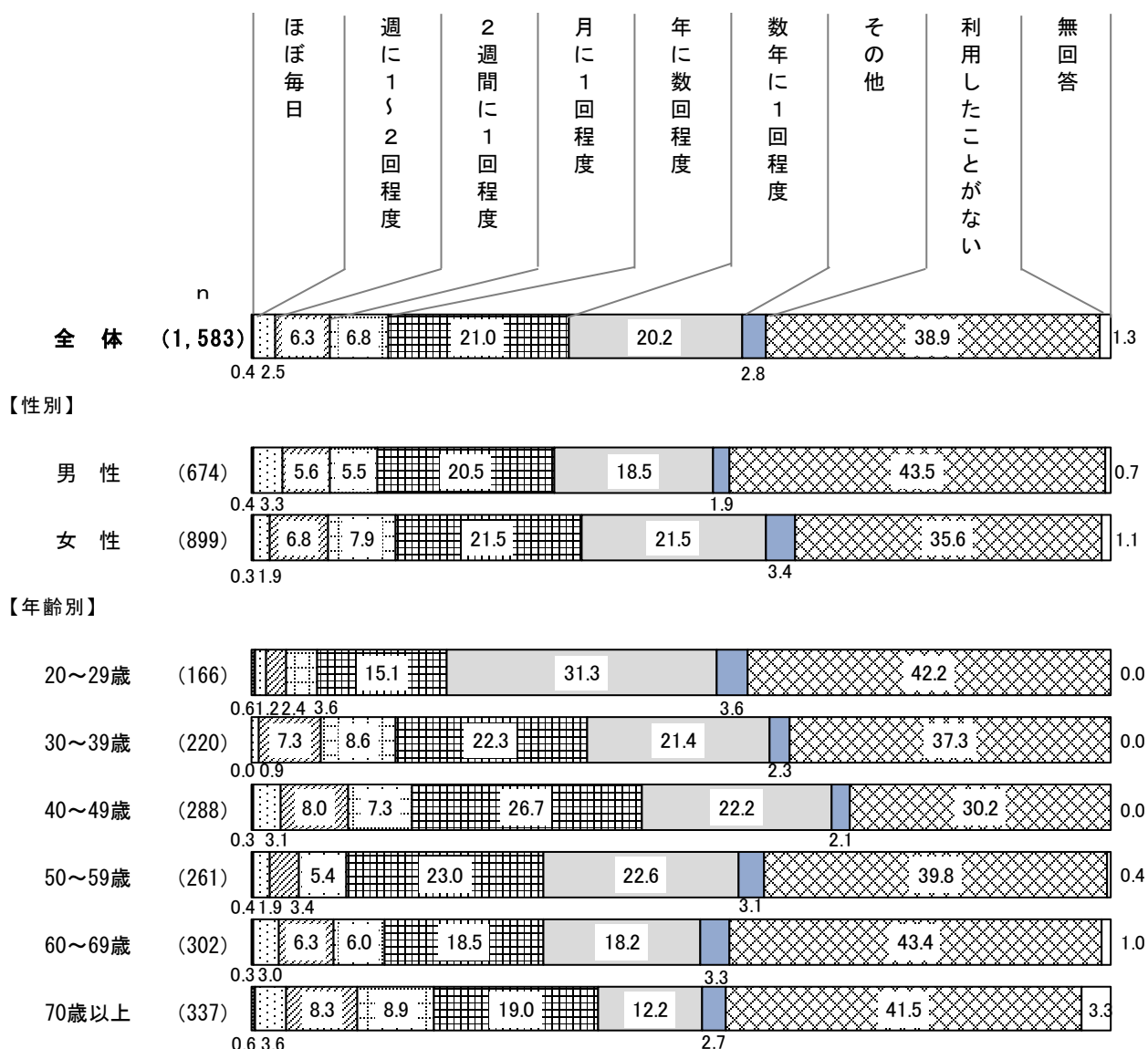
問 20 あなたは、松戸市の図書館をどのくらいの頻度で利用しますか。あてはまる番号に 1 つ〇印をつけてください。

図書館の利用頻度については、「年に数回程度」が21.0%と最も多く、次いで「数年に1回程度」(20.2%)となっている。一方、「利用したことがない」は38.9%と4割近くとなっている。

性別でみると、男女ともに「年に数回程度」と「数年に1回程度」が2割前後となっている。「月1回以上」の利用は女性(16.9%)が男性(14.8%)を2.1ポイントとわずかながら上回っている。一方、「利用したことがない」は男性(43.5%)が女性(35.6%)を7.9ポイント上回っている。

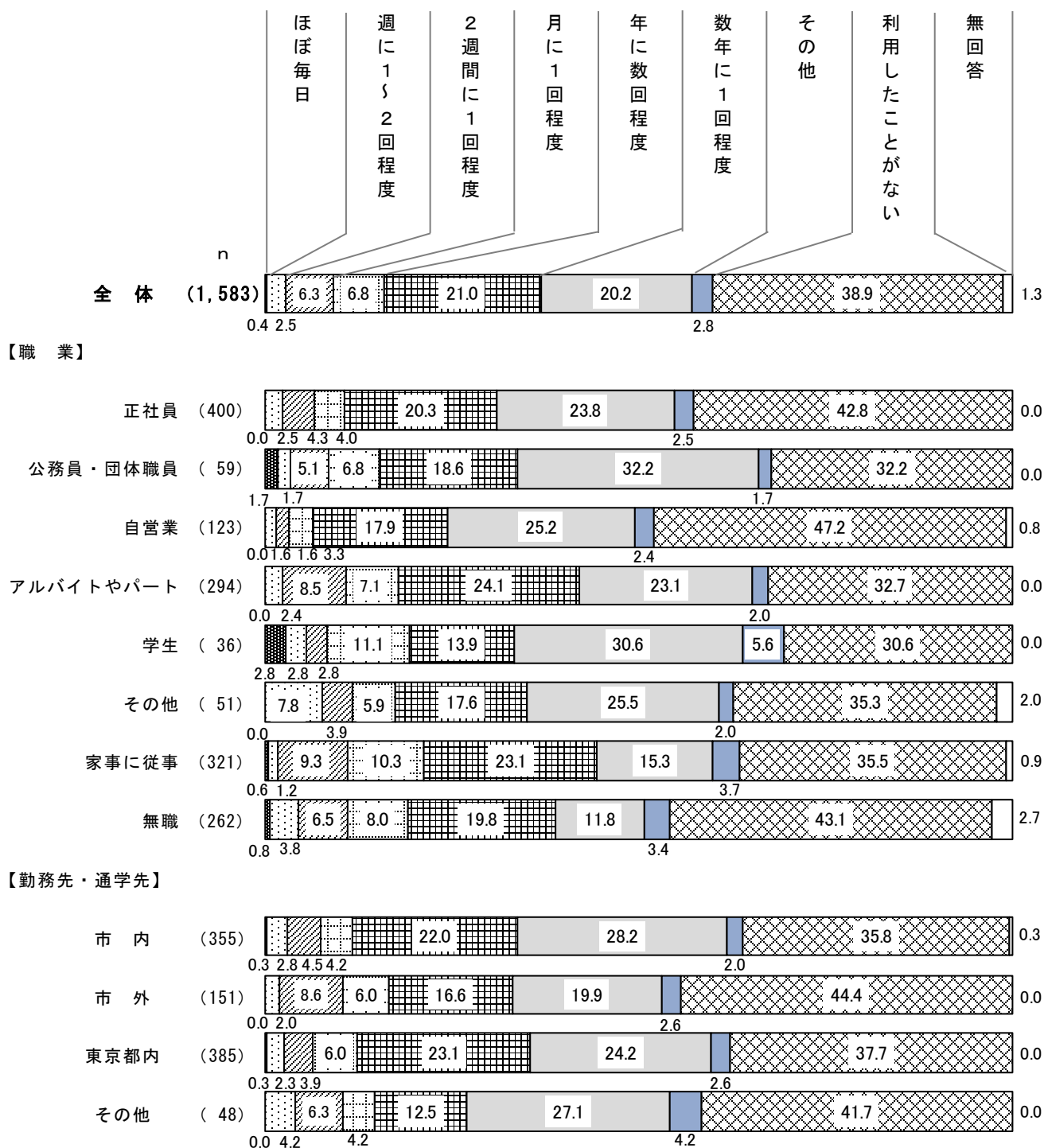
年齢別でみると、20歳代では「数年に1回程度」が3割強と最も多く、それ以外の年代では「年に数回程度」が最も多くなっている。「月1回以上」の利用は70歳以上で2割強となっている。一方、「利用したことがない」は60歳代で4割台半ば近くとなっている。

図表5-1 図書館の利用頻度（性別 年齢別）



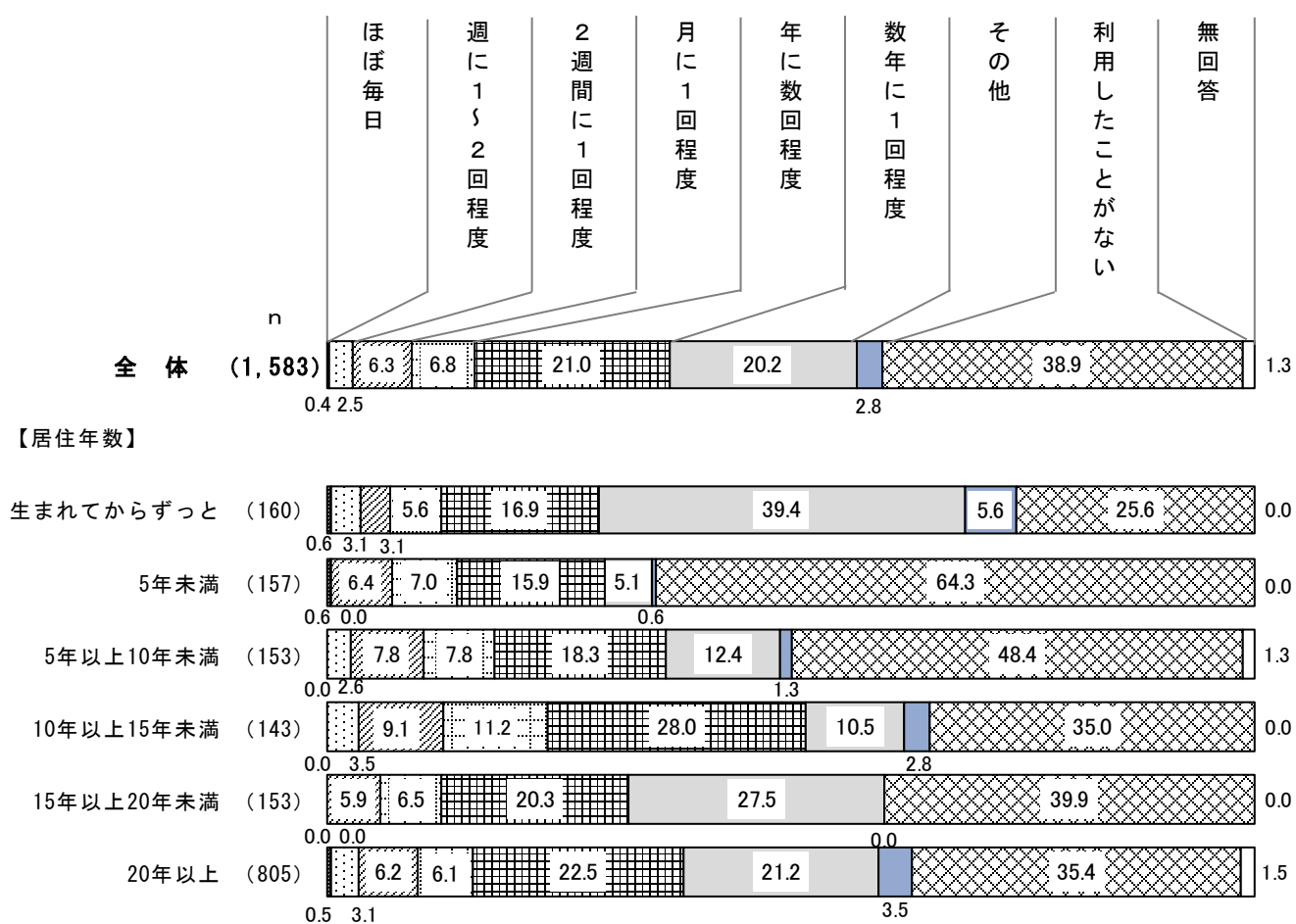
職業別でみると、「月に1回以上」の利用は「家事に従事している」で2割強、「学生」と「無職」で2割弱となっている。一方、「利用したことがない」は「自営業」で4割台半ばを超えている。

図表5-2 図書館の利用頻度（職業別 勤務先・通学先別）



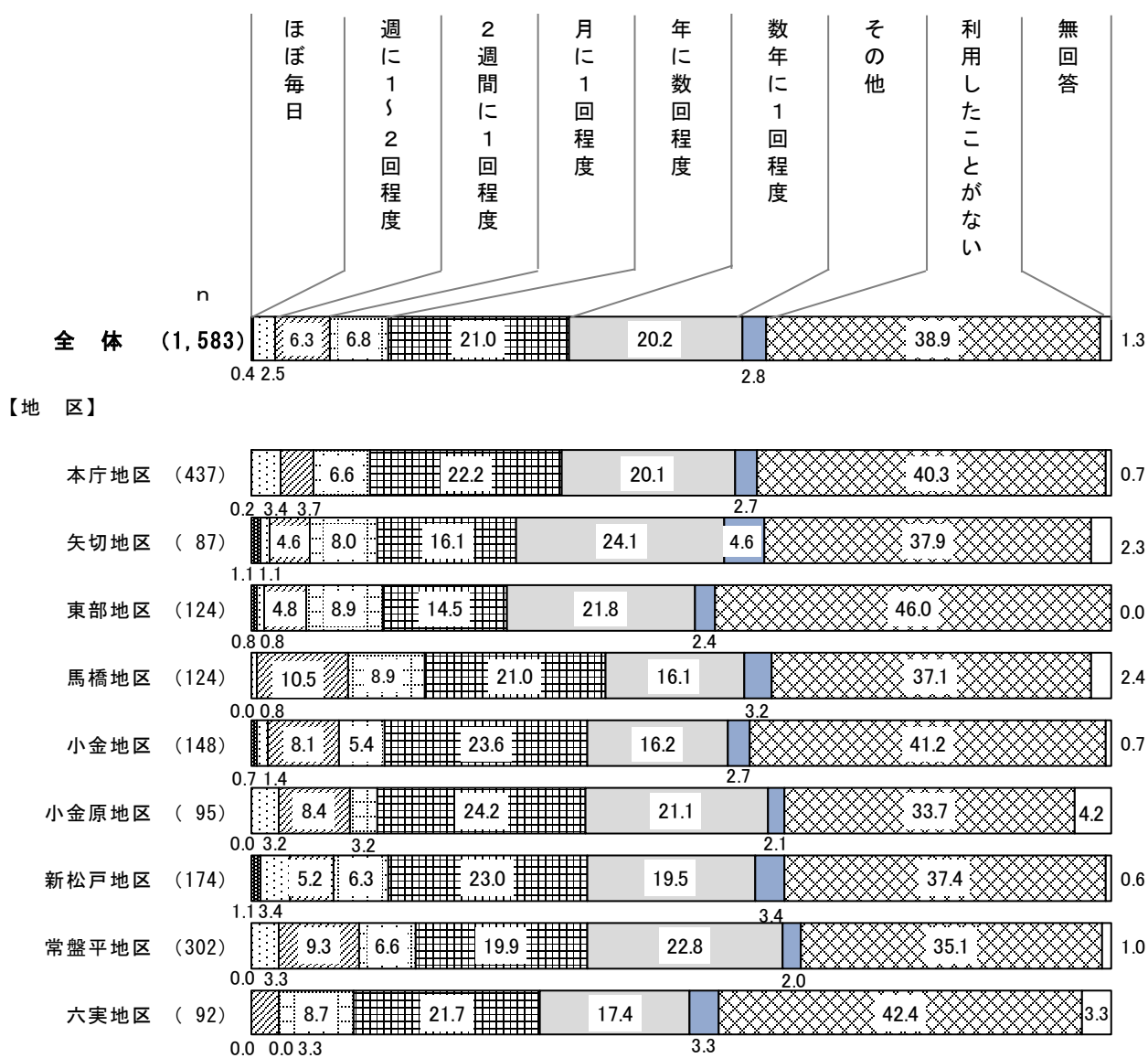
居住年数別でみると、「月に1回以上」の利用は10年以上15年未満で2割台半ば近くとなっている。一方、「利用したことがない」は5年未満で6割台半ば近くとなっている。

図表5-3 図書館の利用頻度（居住年数別）



居住地区別でみると、「月に1回以上」の利用は、馬橋地区で約2割、常盤平地区で2割弱となっている。一方、「利用したことがない」は東部地区で4割台半ばを超えている。

図表5-4 図書館の利用頻度（居住地区別）



(2) 図書館を利用しない理由

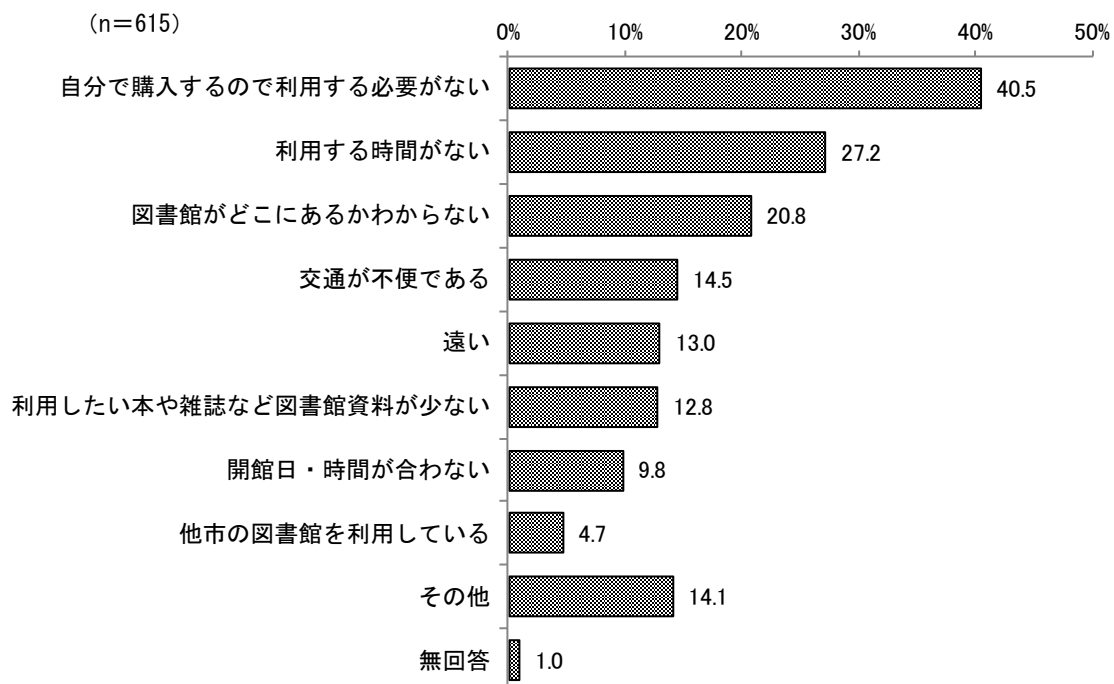
◇ 「自分で購入するので利用する必要がない」が約4割

【問20で「利用したことがない」と回答した方にお聞きします。】

問21 利用されないのは、なぜですか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

図書館を利用しない理由については、「自分で購入するので利用する必要がない」が40.5%と最も多く、次いで「利用する時間がない」(27.2%)、「図書館がどこにあるかわからない」(20.8%)となっている。

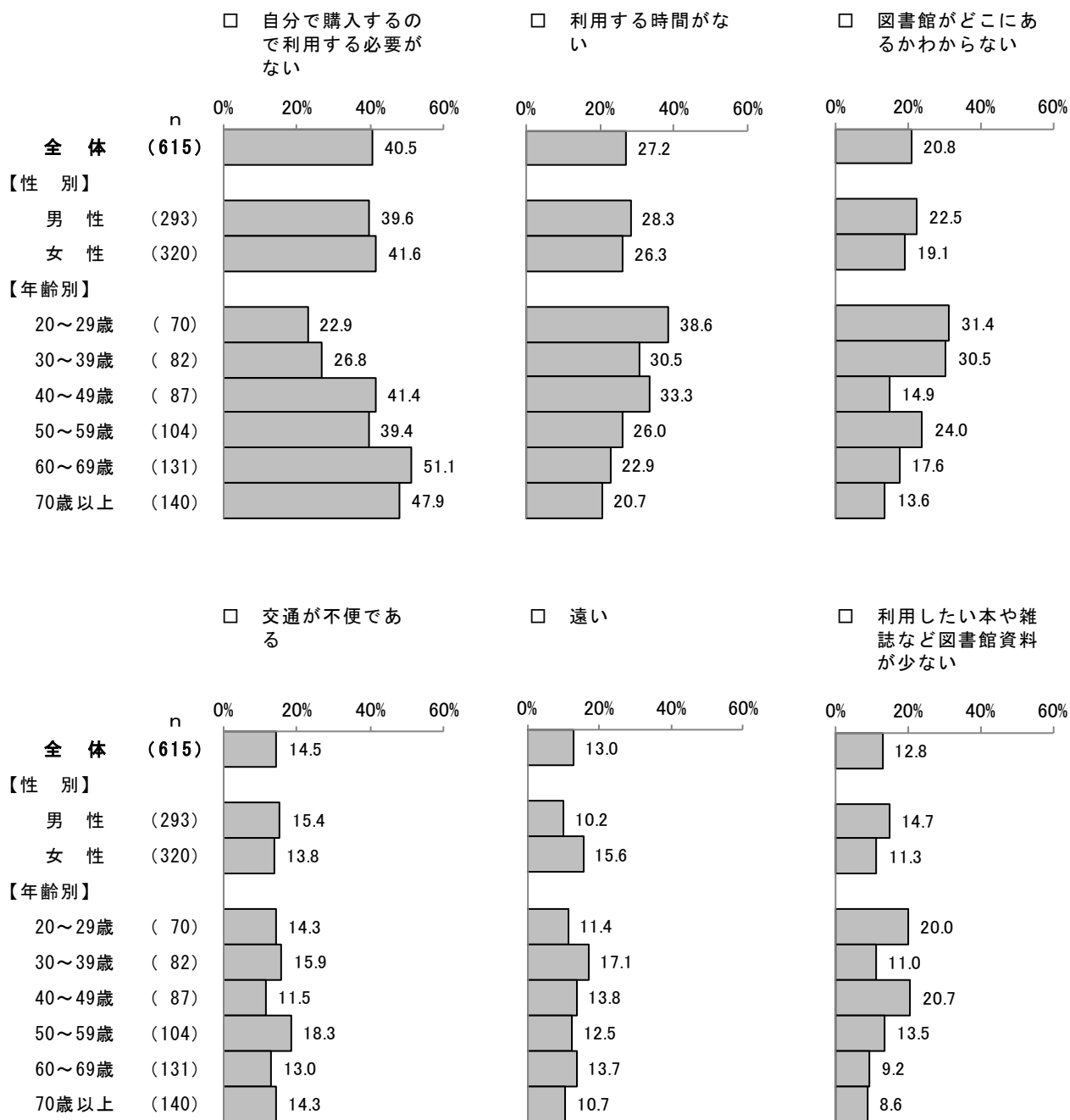
図表5-5 図書館を利用しない理由



性別でみると、男女ともに「自分で購入するので利用する必要がない」は4割前後、「利用する時間がない」は2割台半ばを超えている。「図書館がどこにあるかわからない」は男性（22.5%）が女性（19.1%）を3.4ポイント上回っている。一方、「遠い」は女性（15.6%）が男性（10.2%）を5.4ポイント上回っている。

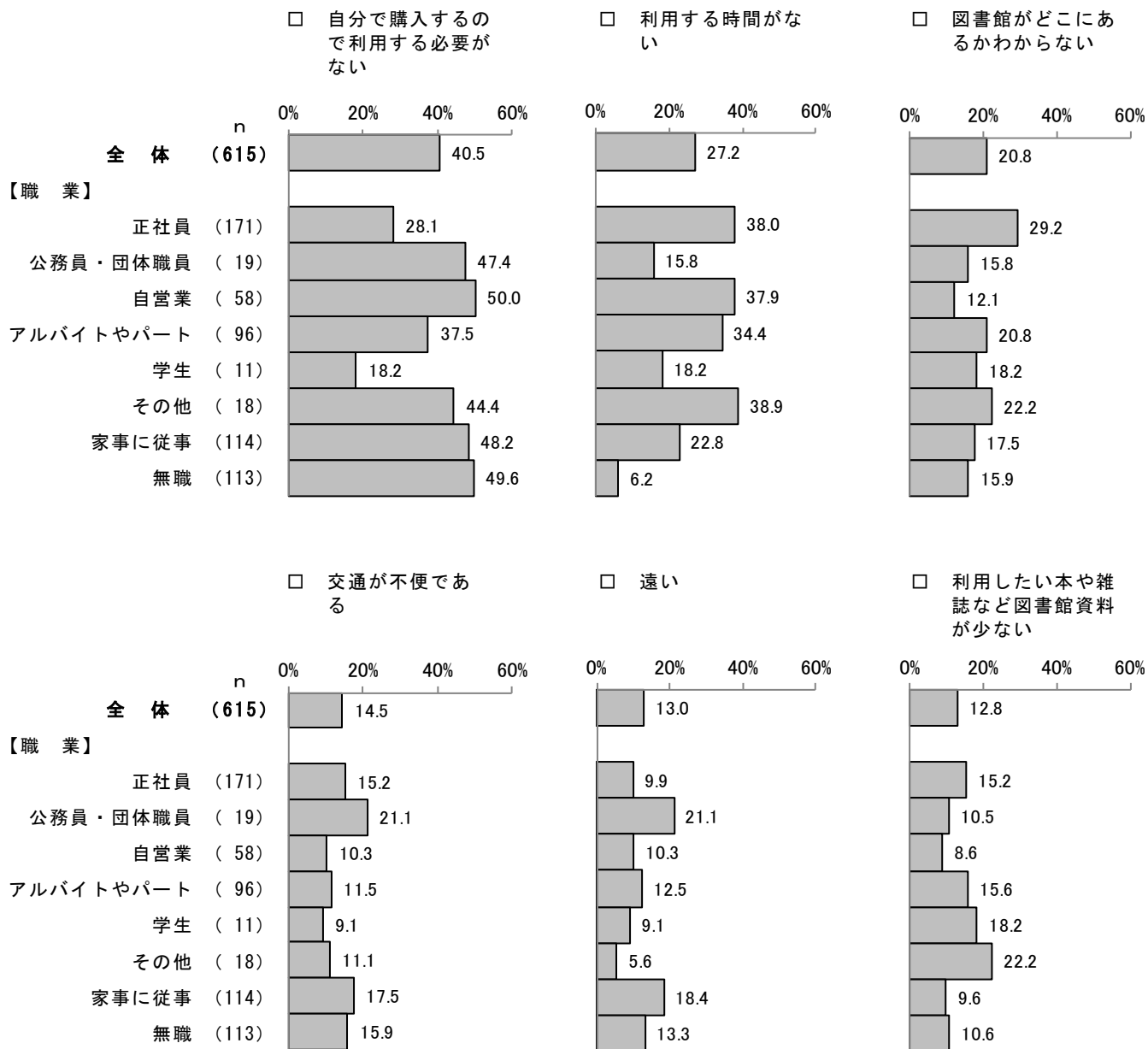
年齢別でみると、「自分で購入するので利用する必要がない」は60歳で5割強、70歳以上で4割台半ばを超えている。「利用する時間がない」は20歳で4割近くとなっている。「図書館がどこにあるかわからない」は20歳代と30歳代で3割強となっている。

図表5－6 図書館を利用しない理由（性別 年齢別、上位6項目）



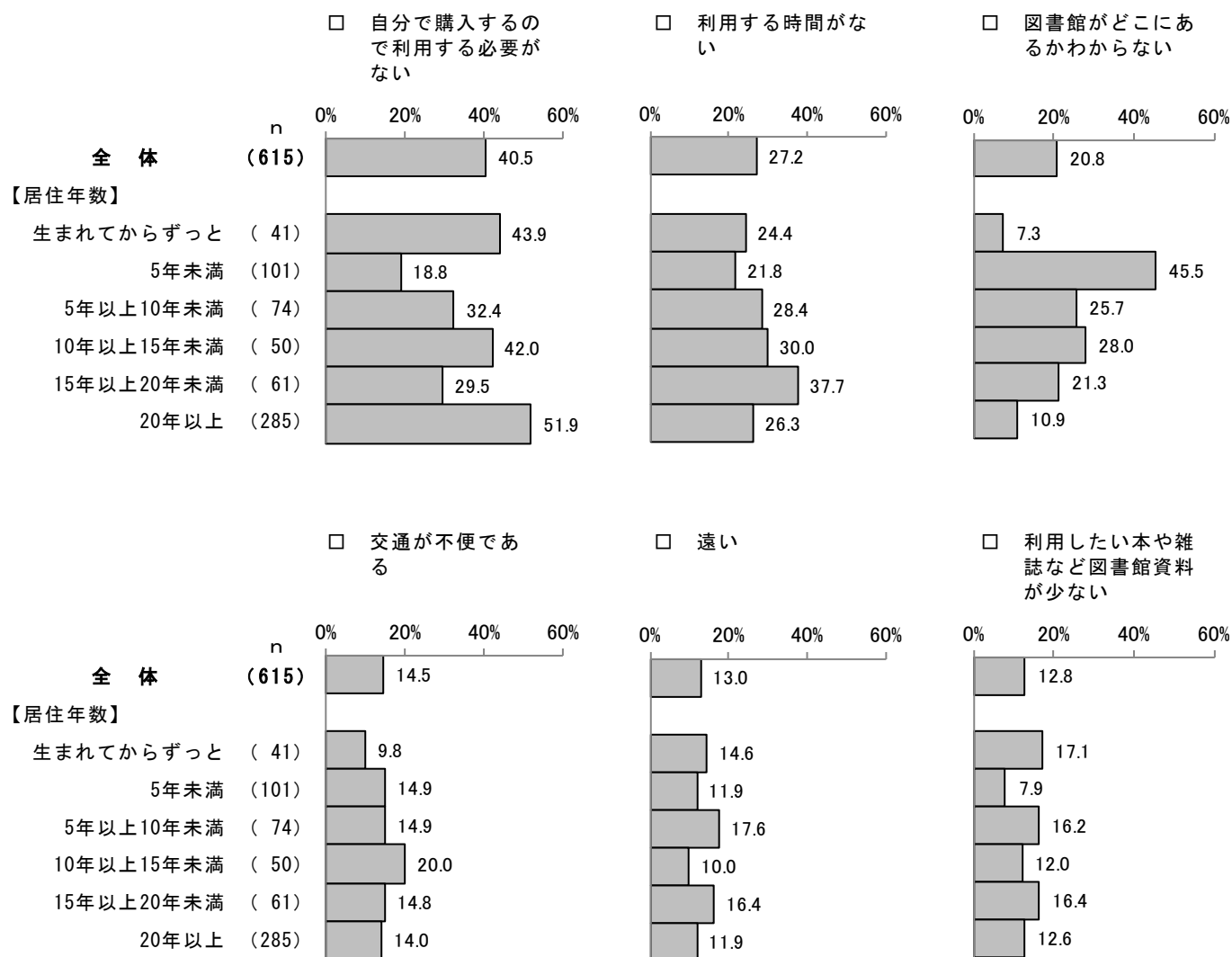
職業別でみると、「自分で購入するので利用する必要がない」は自営業で5割、無職で5割弱、家事に従事で5割近くとなっている。「利用する時間がない」は正社員と自営業で4割近くとなっている。

図表5-7 図書館を利用しない理由（職業別、上位6項目）



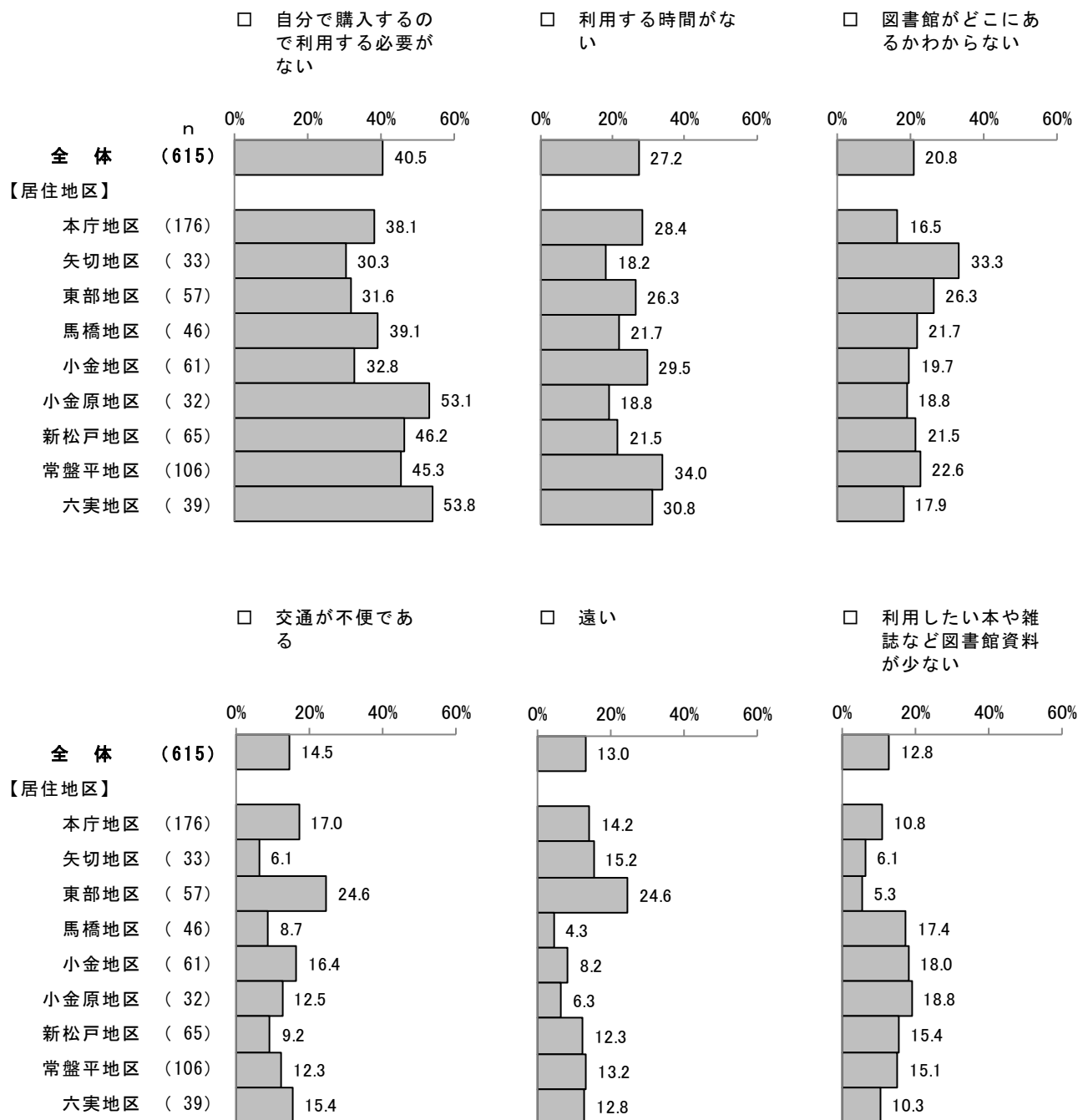
居住年数別でみると、「自分で購入するので利用する必要がない」は20年以上で5割強となっている。「図書館がどこにあるかわからない」は5年未満で4割台半ばとなっている。

図表5-8 図書館を利用しない理由（居住年数別、上位6項目）



居住地区別でみると、「自分で購入するので利用する必要がない」は小金原地区と六実地区で5割台半ば近くとなっている。「図書館がどこにあるかわからない」は矢切地区で3割台半ば近くとなっている。「交通が不便である」は東部地区が2割台半ば近くとなっている。

図表5－9 図書館を利用しない理由（居住地区別、上位6項目）



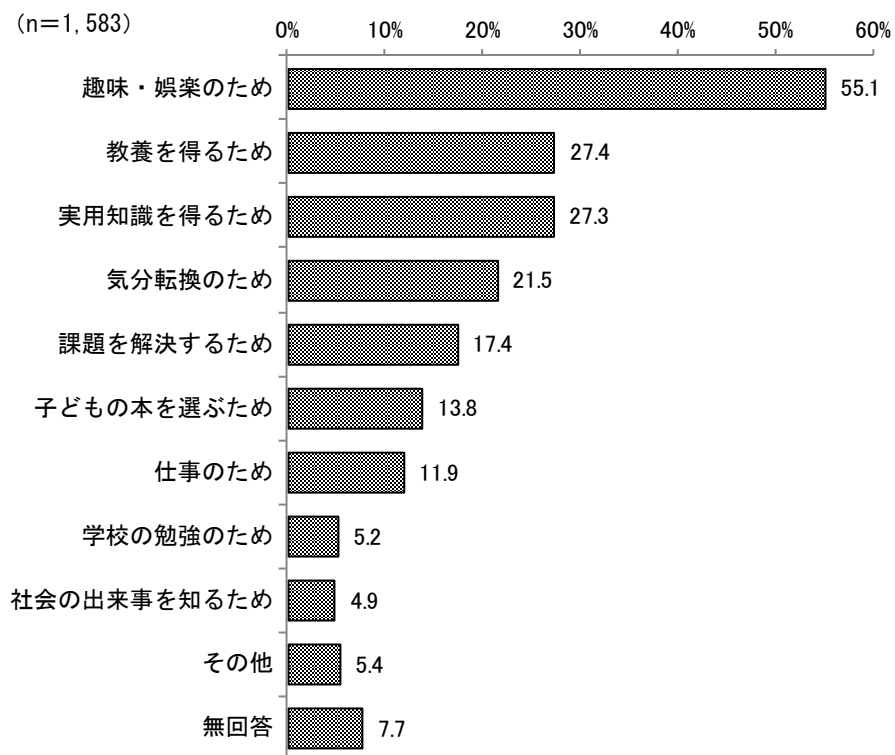
(3) 図書館を利用する目的

◇「趣味・娯楽のため」が5割台半ば

問 22 あなたは、どのような目的で図書館を利用しますか。あてはまる番号に いくつでも○印 をつけてください。

図書館を利用する目的については、「趣味・娯楽のため」が55.1%と最も多く、次いで「教養を得るため」(27.4%)、「実用知識を得るため」(27.3%)、「気分転換のため」(21.5%)となっている。

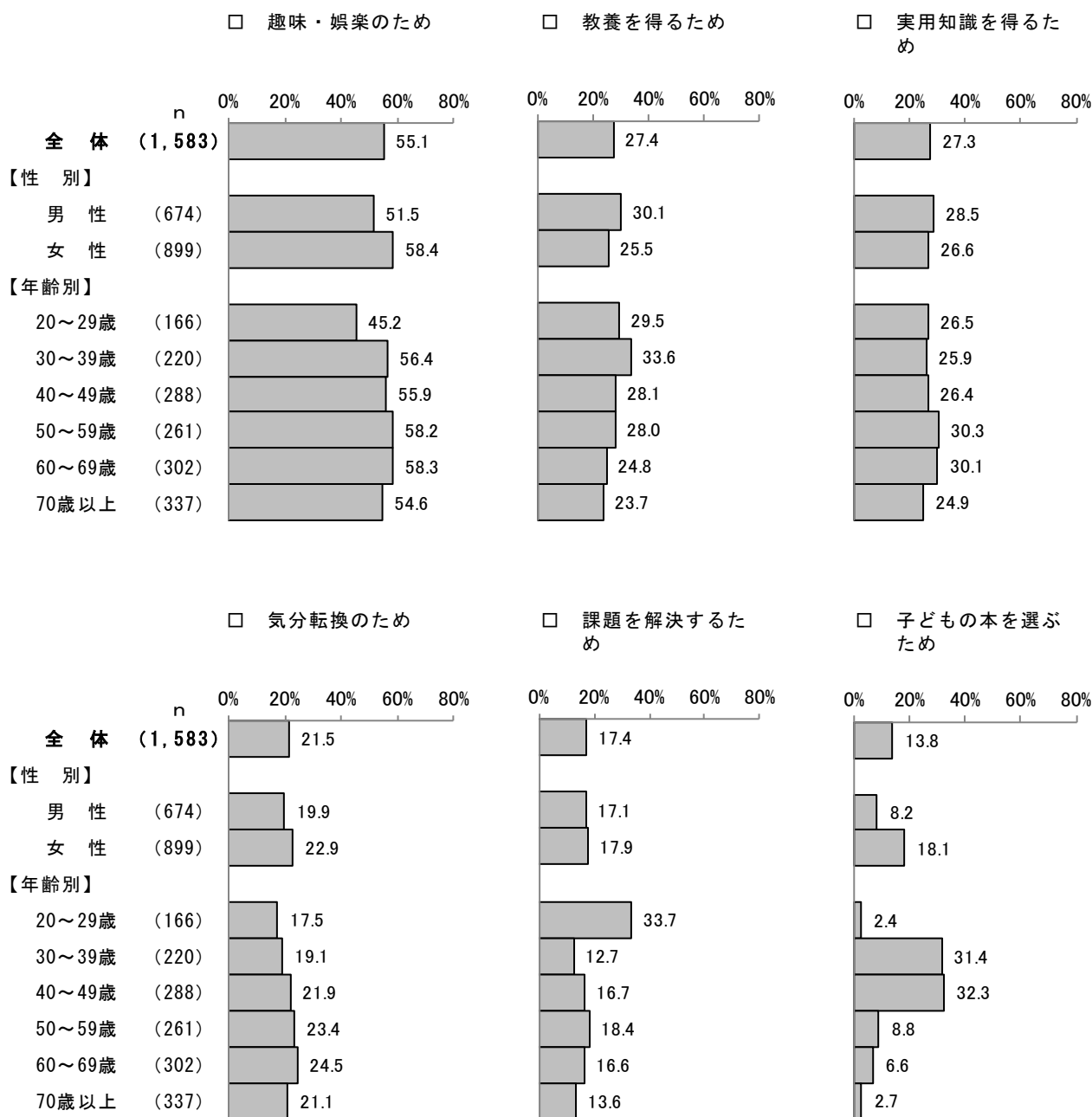
図表 5-10 図書館を利用する目的



性別でみると、「趣味・娯楽のため」は女性（58.4%）が男性（51.5%）を6.9ポイント上回っている。また「子どもの本を選ぶため」も女性（18.1%）が男性（8.2%）を9.9ポイント上回っている。一方、「教養を得るため」は男性（30.1%）が女性（25.5%）を4.6ポイント上回っている。

年齢別でみると、「趣味・娯楽のため」は20代を除くすべての年代で5割を超えており、特に50歳代と60歳代では6割近くとなっている。「教養を得るため」は30歳代で3割台半ば近くとなっている。「課題を解決するため」は20歳代で3割台半ばとなっている。「子どもの本を選ぶため」は30歳代と40歳代で3割強となっているが、それ以外の年代では1割未満となっている。

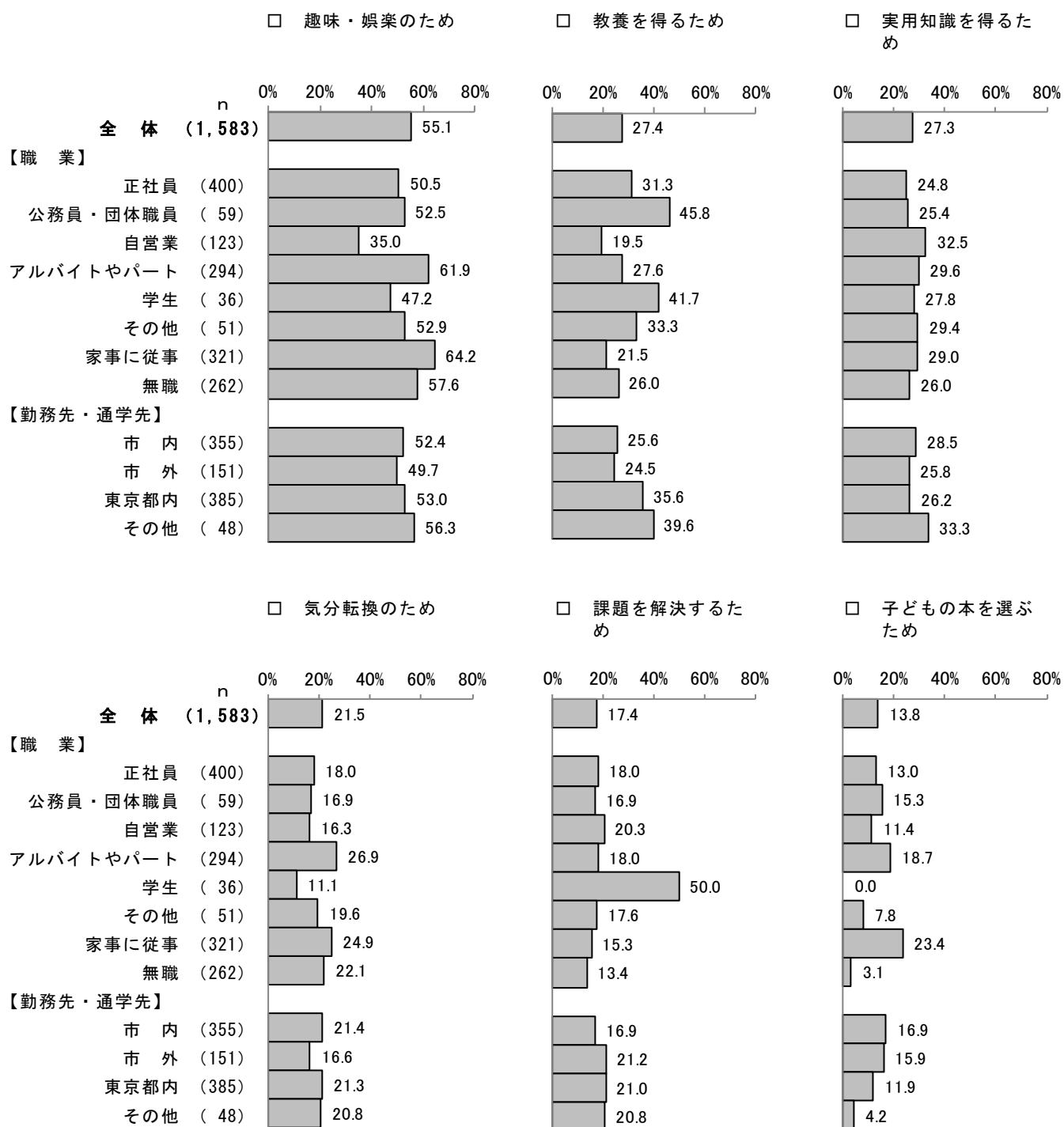
図表5-11 図書館を利用する目的（性別 年齢別、上位6項目）



職業別でみると、「趣味・娯楽のため」は家事に従事で6割台半ば近く、アルバイトやパートなどで6割強となっている。「教養を得るため」は公務員・団体職員で4割台半ば、学生で4割強となっている。「課題を解決するため」は学生で5割となっている。

勤務先・通学先別でみると、「趣味・娯楽のため」は東京都内で5割台半ば近くとなっている。

図表5-12 図書館を利用する目的（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



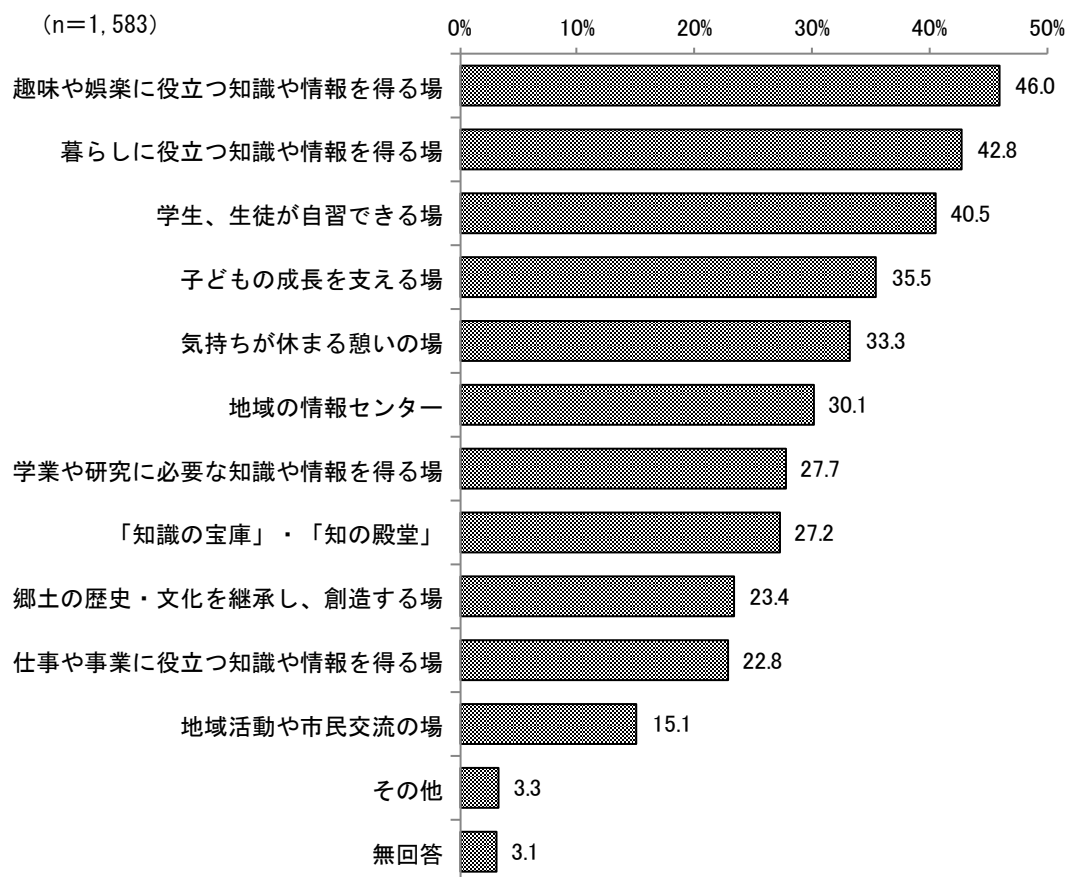
(4) 図書館に望むこと

◇ 「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」が4割台半ばを超えている

問 23 あなたは、これからの図書館がどうあって欲しいと思いますか。あてはまる番号に いくつでも○印をつけてください。

図書館に望むことについては、「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」が46.0%と最も多く、次いで「暮らしに役立つ知識や情報を得る場」(42.8%)、「学生、生徒が自習できる場」(40.5%)、「子どもの成長を支える場」(35.5%)、「気持ちが休まる憩いの場」(33.3%)、「地域の情報センター」(30.1%)となっている。

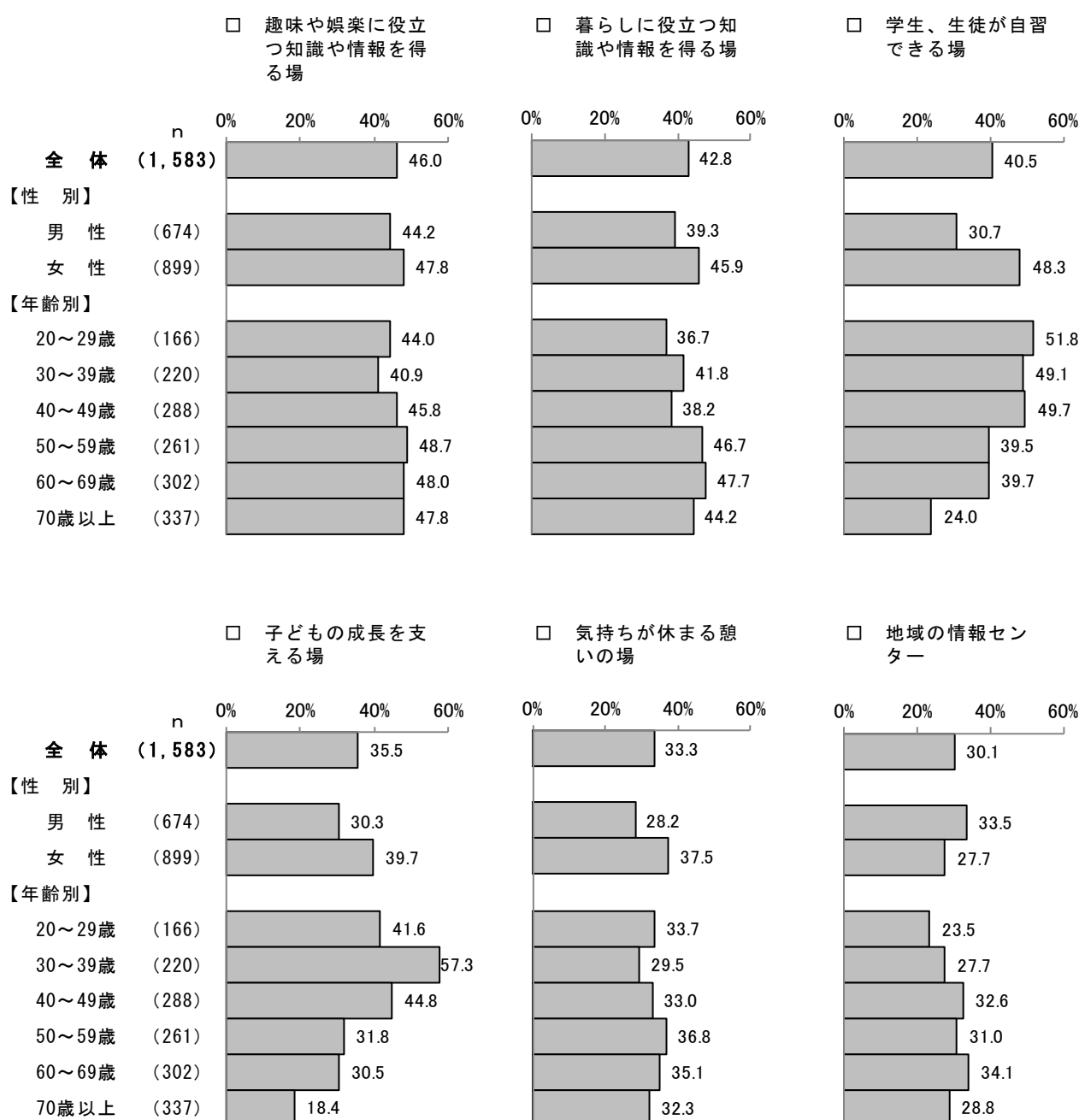
図表 5-13 図書館に望むこと



性別でみると、上位6項目のうち、5項目については女性が男性を上回っており、特に「学生、生徒が自習できる場」は女性（48.3%）、男性（30.7%）と17.6ポイント回っている。一方、男性が女性を上回っているのは「地域の情報センター」で男性（33.5%）、女性（27.7%）と5.8ポイント上回っている。

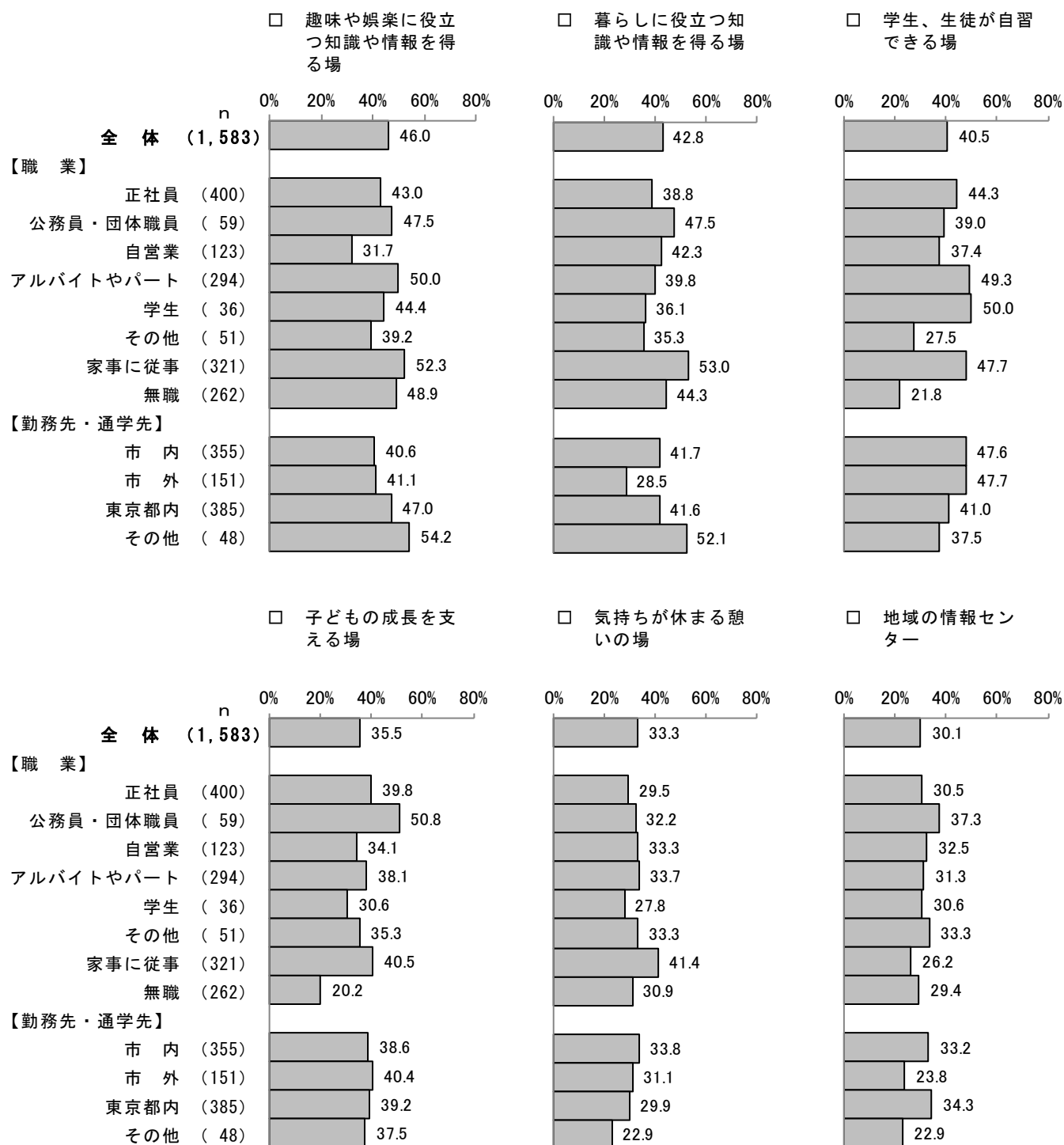
年齢別でみると、「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」はすべての年代で4割を超えており、特に50歳代と60歳代では5割近くとなっている。「暮らしに役立つ知識や情報を得る場」は50歳代と60歳代で4割台半ばを超えている。「学生、生徒が自習できる場」は20歳代で5割強、30歳代と40歳代で5割弱となっている。「子どもの成長を支える場」は30歳代が5割台半ばを超えている。

図表5-14 図書館に望むこと（性別 年齢別、上位6項目）



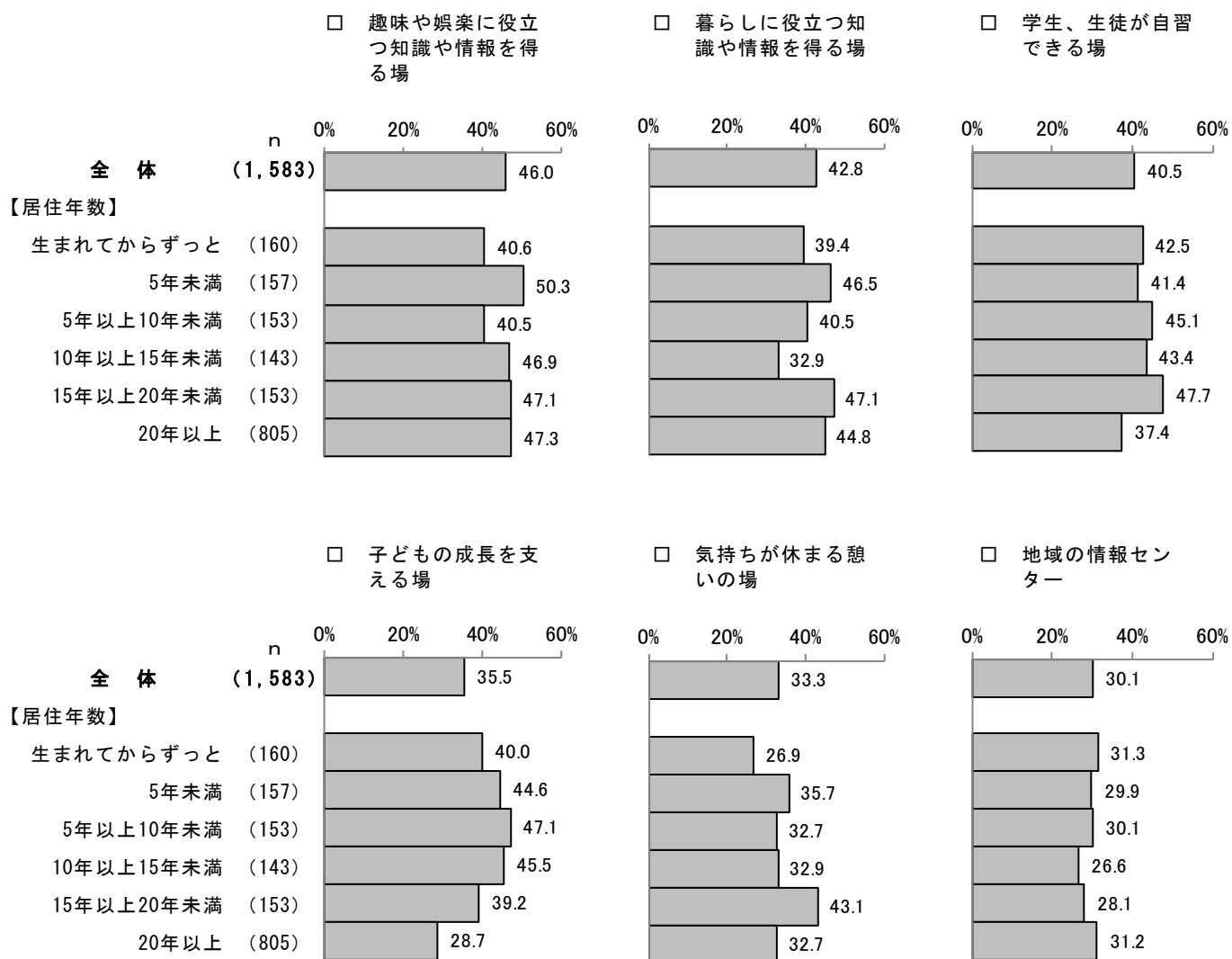
職業別でみると、「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」は家事に従事で5割強、アルバイトやパートなどで5割となっている。「暮らしに役立つ知識や情報を得る場」は家事に従事で5割台半ば近くとなっている。「学生、生徒が自習できる場」は学生で5割、アルバイトやパートなどで5割弱となっている。「気持ちが休まる憩いの場」は家事に従事で4割強となっている。

図表5-15 図書館に望むこと（職業別 勤務先・通学先別、上位6項目）



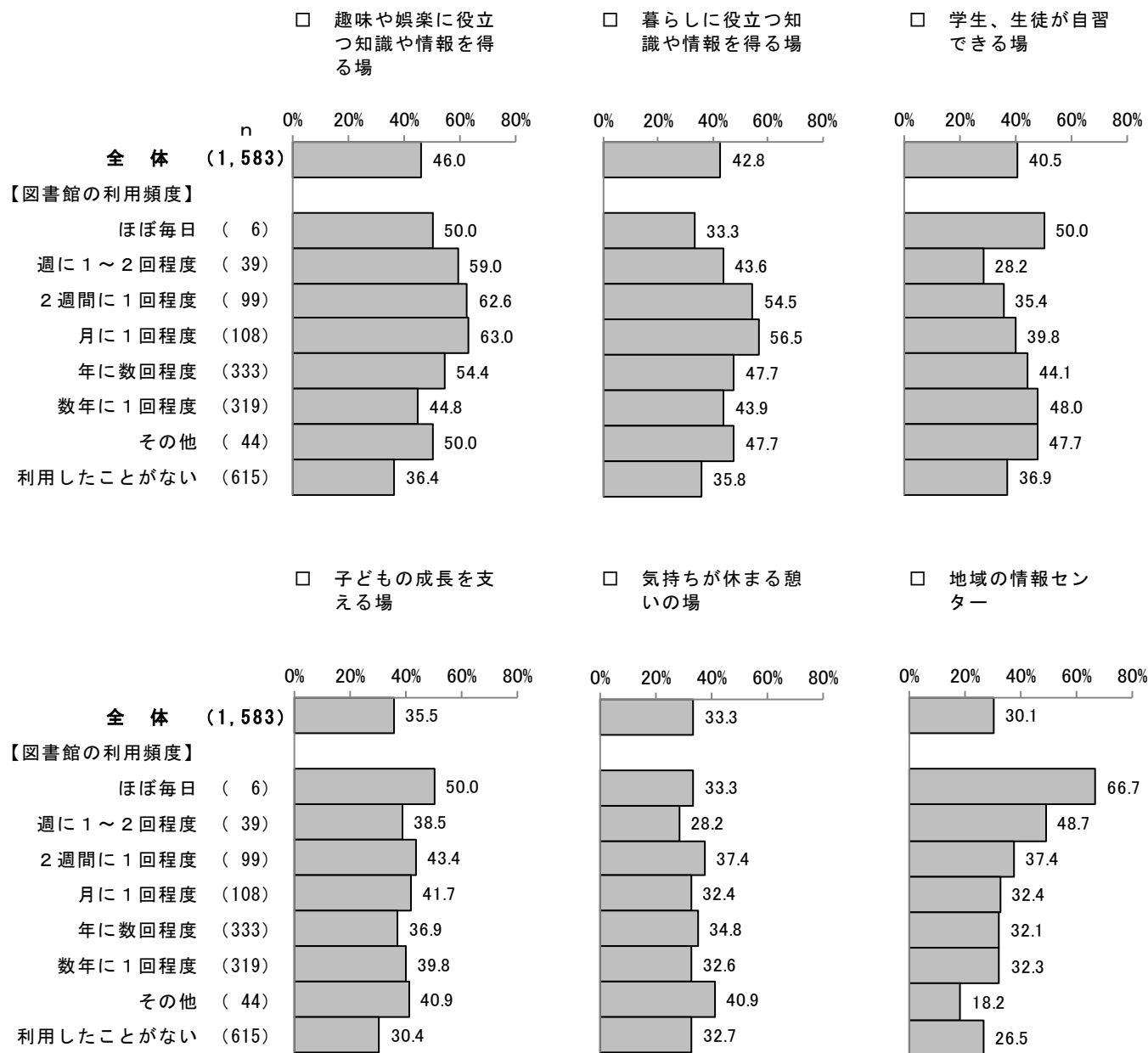
居住年数別でみると、「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」は5年未満で約5割となっている。「暮らしに役立つ知識や情報を得る場」は5年未満と15年以上20年未満で4割台半ばを超えている。

図表5-16 図書館に望むこと（居住年数別、上位6項目）



図書館の利用頻度別でみると、「趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場」は月に1回程度で6割台半ば近く、2週間に1回程度で6割強となっている。「暮らしに役立つ知識や情報を得る場」は月に1回程度で5割台半ばを超え、2週間に1度で5割台半ば近くとなっている。

図表5-17 図書館に望むこと（図書館の利用頻度別、上位6項目）



V 松戸市に対する意見・要望 (自由記載)

松戸市に対する意見・要望

自由記載欄（松戸市に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記載してください。）

今回の調査では 322 人から意見・要望が寄せられました。

【図書館について】

- ・ 図書館は、もっとゆっくりと見られるスペースが欲しいと思いました。
(女性/60～69 歳/馬橋地区)
- ・ 松戸市立図書館は、建物も古く蔵書も少ない。建て替えを含め、新しくすべき。
(男性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 図書館をきれいに広くして欲しい。(女性/20～29 歳/本庁地区)
- ・ 図書館の植物、動物の図鑑を、もう少し充実したものを置いて欲しいと思いました。
(女性/60～69 歳/常盤平地区)
- ・ 図書館の図書選定について。市内の図書館に、シリーズで発刊されている本が無い場合、シリーズ最新刊を購入してもらえない。他市で持っている場合でも、半年経たないと貸し出してもらえない。シリーズではない新刊では購入対象になるのに、シリーズ本では半年待たないと読めない。途中巻からでも選定対象にしてほしい。(男性/60～69 歳/常盤平地区)
- ・ 松戸市の図書館本館は古くて狭いのもうそろそろ建て替えたらどうでしょう。分館は利用しますが、本館はほとんど利用しません。金町の葛飾区の図書館の方が広くて利用しやすいです。
(女性/40～49 歳/本庁地区)
- ・ 学生時代に、自習する場所を捜していましたが、新松戸の図書館では、場所が無くて、使えませんでした。松戸図書館まで行けば、学習室があったようですが、1ヶ所だけでなく、各図書館にあった方が良かったと思います。我孫子にある施設は、PM 7 時か 8 時頃までやっていたので、学校帰りに寄ったり、休みの日にもわざわざ自習しに行った記憶があります。
(女性/20～29 歳/新松戸地区)
- ・ 中央図書館を充実した内容のものにして頂きたいと思います。専門書がもっとあればと思います。又できれば、図書館の建物に食事のできる所があればもっといいかと思います。
(女性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 図書館が近くにあるので、よく本を借ります。もう少し本の種類が増えたらいいなと思います。
(女性/30～39 歳/常盤平地区)
- ・ 東松戸の図書館が狭くて蔵書も少ないのもっと、大きくして欲しいです。公園が少ないので、増やして欲しい。(女性/30～39 歳/東部地区)
- ・ 図書館が貧弱。もっと整備してほしい。読み聞かせのボランティアをしているが、都内や近くの市の図書館と比較してあまりにも貧弱すぎる。施設だけではなく、蔵書が少ないし、傷んでいる本を読まなくてはならないので困っている。(女性/60～69 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館の充実。(設備と本) (女性/60～69 歳/六実地区)
- ・ 緑豊かなゆったりとした憩いの場となるような図書館が欲しい。(女性/70 歳以上/常盤平地区)

- ・家の近くの図書館が狭すぎてゆっくりしたいと思う環境にない。車がないと21森の図書館に行けないのは残念です。雑誌を読みたいのですが、読みたい雑誌がないです。もう少し充実してほしいです。21森の駐車場を時間貸しを設けてほしいです。2Hくらいしか停められないこともあるので検討願います。(女性/30～39歳/小金原地区)
- ・図書館の充実をお願いしたい。(男性/60～69歳/本庁地区)
- ・図書館について。話題の本や人気の本は予約が多く、待ち時間が非常に長い。貸出期間を短くするとか、所蔵数を増やすなど、何かしら解決策がある筈。(女性/20～29歳/東部地区)
- ・図書館を整備充実させて下さい。(女性/40～49歳/常盤平地区)
- ・市内小学校にて読みきかせボランティアをしています。松戸市において「読みきかせ」の意義がきちんと示されていないので「カリキュラム内なので仕方なくやる。本当はすぐに授業に入りたい」という学校側の気持ちが透けて見えます。読む方もとまどいます。本を選ぶのも図書館の不便さを感じます。(冊数の少なさ等)もう少し教育、図書利用に力を入れて頂きたい。
(女性/50～59歳/本庁地区)
- ・図書館が小さいし、本が少なすぎ。これからの子供達に魅力ある地域作りをして欲しいと思います。(女性/50～59歳/馬橋地区)
- ・小学校で読み聞かせのボランティアをしていた頃、よく支所の分館を利用していました。ネットからの予約ができるのはとても良いサービスです。でも、実際足を運んでみると狭くて暗くて、座る所がほとんどないところもあり、全然楽しくないのがとても残念です。改築、改装となるとお金がかかり大変だと思いますので、すぐにできないと思います。ただ、願わくば、図書館をただ本を貸す機関に留めず(勿論、蔵書の充実は必要)、子育てや交流、憩いの場でもあって欲しいです。小さい子を気兼ねなく連れていけ、ドリンクを飲む場があり、広い親子トイレがある。子供の為に絵本を手に取り易い、親子で楽しめる空間があったらいいなと思うのです。
(女性/40～49歳/新松戸地区)
- ・休日にも家族で利用できる図書館&カフェがあれば、子供ももっと本を読むようになる機会が増えるように思います。松戸には小規模な図書館はありますが、本の種類も少なく、古いので子供がつまらないと言います。また、落ちついて本を選んだり、読んだりするスペースもなくおもしろくないと思います。地方(長崎?)に大きな図書館ができていこいの場となっているようですが、松戸にもそういう場所があればいいなあと思います。(女性/40～49歳/本庁地区)
- ・図書館の図書を増やして欲しいです。(男性/40～49歳/六実地区)
- ・図書館を含む公共施設が松戸市はとても考朽化していると思います。ぜひ皆が足を運びたくなるようなものをお願いします。(女性/30～39歳/新松戸地区)
- ・図書館については、以前、市の図書館ではなく、県立の図書館に行って借りて来たが、とても解放的で(広く)良かった。松戸も少し広く明るい図書館が欲しい。(女性/20～29歳/本庁地区)
- ・図書館などの設備の充実を実現していただきたいと思います。(女性/40～49歳/新松戸地区)
- ・以前、図書館をよく利用していましたが、正直いって、いつも変わりばえのしない本が並び、最近では遠のいています。小さい所は小さいなりの、工夫をしていただきたい。
(女性/50～59歳/本庁地区)
- ・図書館ですが、最近では金町の(駅前)図書館等を利用するようになりました。近隣の市や区の図書館を参考にして、より充実するように変えるべきところを変え充実させていただきたいと思います。(女性/50～59歳/本庁地区)

- ・ 図書館については福島県にある「もったいない図書館」のように不要となった本を寄付してもらうなど工夫が必要ではないか。その際あまり条件を付けすぎでは集まりにくいので留充する必要があると思う。DVD等も寄付を求めできるところから貸出を始めるべきでは。
(男性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 図書館以外でも学習室があり、学生生徒が自習出来る施設が増えると良いと思います。
(男性/50～59 歳/常盤平地区)
- ・ 図書館について、市内の数カ所を利用したことがありますが、他市と比べて物足りなさがあります。本の種類も少ないですし、ゆっくり読むスペースも十分でないし、特に、子供と一緒に楽しめるスペースがあればいいのに…と思っています。できれば、広くて明るく誰もが利用しやすい図書館があればいいな、と思います。(女性/40～49 歳/新松戸地区)
- ・ 近くにある図書館は古く、使いづらい。閲覧スペースや学習スペースをもっと広くして欲しい。特に駐車場が狭く、土日は止められない。使いづらいため、最近では、すっかり図書館から足が遠ざかってしまった。(男性/30～39 歳/常盤平地区)
- ・ 図書館についてもっと閲覧できるスペースを作ってほしい。本や雑誌などゆっくりと見られるスペースがあればもっと居心地もよくなると思います。(女性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 図書館の本の返却ポストを駅に作っていただけると、より利用しやすくなると思います。
(男性/20～29 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館をもう少し時間を考えて開館してもらいたい。これからの子供たちにといい、充実した図書館としてもらいたい。松戸市は、図書館の休みが多すぎる。時間も開館時間も、他市に比べて短いと思う。(男性/50～59 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館をもっと作ってほしい。(女性/30～39 歳/矢切地区)
- ・ 小学校の図書室の本をもっと幅広く増やして欲しい。松戸市の図書館の水準はかなり低い。狭い、見にくい、本が少ない、驚くほどである。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 金町駅の近くにある葛飾区立中央図書館のような施設が松戸駅の近くにあるといいなと思います。(男性/50～59 歳/新松戸地区)
- ・ 松戸市長の公約にもあった図書館の蔵書の充実をお願いしたいです。外国文学、とりわけ中国文学の充実をお願い致します。(女性/70 歳以上/本庁地区)
- ・ 図書館をもっと充実させてほしい。例えば、学生が使える自習室を作る。人気のある本の数を増やす。トイレをきれいにする等。(女性/30～39 歳/常盤平地区)
- ・ 松戸市の図書館の本をもっと充実させてほしい。本が古くて汚い。(男性/40～49 歳/東部地区)
- ・ 図書館の整備、本の充実、移動図書館の復活。(女性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 図書館の蔵書を充実させて欲しい。あまりに少なくて残念。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 一般向けの教養書もちろん必要ですが、もう少し専門的な本もそろえていただきたいと思います。結局図書館にないので、大きい本屋さんに行って買うことになってしまいます。あと図書館のバリアフリー化やトイレを洋式にするなど足の不自由な方でも気持ちよく利用できるような設備を整えていただきたいと考えています。(女性/40～49 歳/本庁地区)

- 埼玉、東京と住んできて、松戸市内にいくつか図書館があるようですが、規模が小さいと感じました。やはり落ち着いて勉強できたり、年代問わず様々な人々が利用できるよう、もう少し充実させていただきたいです。夜の明かりが少ないし、場所によっては歩きづらく、人通りもない所が気になります。夜でも安心して通れるようにしてほしいです。

(女性/20～29 歳/馬橋地区)
- 松戸市図書館どの施設でも、東京都の図書館に比し、極めて悪いと思う。もう少しゆったりと滞在できる施設にしては如何でしょうか。(男性/70 歳以上/新松戸地区)
- 図書館施設でも、スペースの問題、子育てに活用できるスペースがもっとあってもいいかと思うし、企画も新しいインパクトのあるものが少ない。(女性/60～69 歳/常盤平地区)
- 新しい図書館を駅の近くに構築して欲しい。(女性/50～59 歳/本庁地区)
- 図書館が、もう少し充実していただければいいなあ、と思います。近くにある図書館はわりと小さく、自習室がありません。(最近は行っていませんが…) 自習室があったり、ちょっと腰をおろしてゆっくり観ていられるスペースなどがあれば、利用する人も増え、利用する機会も増えるのでは。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- せめて図書館くらいは駅近に大きくて使いやすい所があればなと思ってしまいます。

(女性/40～49 歳/新松戸地区)
- 図書館についてですが、新松戸分館を以前利用したことがありますが、狭すぎです。学生が勉強できる「学習スペース」をもっと充実させてあげたらいいのと思います。館内で読書できる机やイスの数が少ないのもっと増やして欲しい。(女性/40～49 歳/新松戸地区)
- 図書館・公園の数が少ない。(女性/30～39 歳/馬橋地区)
- 図書館を新しく使い易い建物に。(きれいに)(男性/60～69 歳/本庁地区)
- 公共の施設が他の都市に比べて、おそまつだと思います。特に図書館、公園は、もっと充実させていただきたい。(女性/40～49 歳/本庁地区)
- 松戸市図書館はイメージがちょっと暗いです。幼児の頃から本に親しむ事のできる環境づくりをしてほしいと思います。子ども達がちょっと時間があいたから、本を読もうかな～と気軽に思えるようなもっと身近に感じる事のできる施設づくりをしてほしいと思います。子どもが小さい時に一緒に本をえらんでいる時など、係の人に「しずかに…」と言われ、会話も楽しめないような所で、子ども達と本をえらぶ事は無理だと思って、それから図書館には行っていません。(女性/50～59 歳/矢切地区)
- 図書館を市川市並にしてほしい(設備蔵書の質など)公園が少ない。(男性/30～39 歳/東部地区)
- 今回、図書館についての質問がありましたが以前から、市内の図書館についての充実を願っていました。子供の本など、種類冊数を増やしてほしいと思います。(女性/40～49 歳/本庁地区)
- 特に文化の大切な底力である図書館の施設。資料の充実に急いで取組んでいただきたい。

(女性/70 歳以上/馬橋地区)
- 図書館を増やしてほしい。(女性/40～49 歳/東部地区)
- 松戸市の図書館本館は、近隣である金町の図書館に比べると、古く、みすぼらしく、置いてある本も少なく、大人学生子ども達が、自習できる場所も整っていないと思います。早急に図書館本館の施設充実をはかり、整えて頂くことを切に願います。(女性/40～49 歳/本庁地区)

- ・ 図書館について。他県で本を見る為の開放的な空間を持つ施設があった。いま街の本屋でも机椅子を設け、滞在の居心地をよくする店舗を見かけるが、このようなオープン性をもった施設が充実してもよいと思う。現在の施設は目的をもった人がその目的を達する為に集まるというのが一般的と思うが、不特定の目的の方が新聞を読んだりコーヒーを飲んだりする場があってもいいと感じる。(男性/50～59 歳/新松戸地区)
- ・ 子供の教育より先ず大人の教養を便利に深められる仕組みを作してほしい(本の寄贈による図書の充実、郵送やポストを利用した貸出、返却システム、英語や外国語の学習のため居住外国人のネットワークを利用など)。(男性/30～39 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館についての項目がありましたが、自習できるスペースがあるととても助かります。仕事をしていると何冊も借りて行っても思う様な書物でないと次回行くときまでに時間がかかってしまう。自習スペースがあるとそこで調べもの等、何度も本を変えてできる。松戸の図書館は都内に比べると本の数が少ないと思うし、古いものが多く、あまり、探している書物だったり、最新の情報が得られない。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 馬橋駅の施設の有効活用をしてほしい。図書館の支所など作ることはできないだろうか？あとは駅に図書館の返却ボックスを作してほしい(女性/30～39 歳/新松戸地区)
- ・ 図書館の開館時間が短い。(男性/60～69 歳/小金原地区)
- ・ 学生が自習できる図書館が松戸駅近くにあったら便利だと思う。(女性/40～49 歳/本庁地区)
- ・ 図書館の規模が小さく本が少ない。図書館の充実を。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館の更なる充実と整備をお願いしたい。(女性/40～49 歳/東部地区)
- ・ 各図書館には子どもの本をさらに充実させてほしいと思います。(女性/60～69 歳/常盤平地区)
- ・ 学校区に1つゆっくり読書や勉強ができる図書館が欲しいです。(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 図書館の規模が小さいため、都内の図書館を利用している。新作の導入、音や映像にも力を入れてほしい。(女性/30～39 歳/馬橋地区)

【講座・教室について】

- ・ 市の体育館でのスポーツ教室や高齢者体操教室等開催してほしい。生活や教養に関する講座も開催してほしい。(女性/60～69 歳/常盤平地区)
- ・ 以前から生涯学習講座は知っていましたが、興味を持てる講座はありませんでした。少し講座内容を検討していただきたいと思います。ところを変え充実させていただきたいと思います。
(女性/50～59 歳/本庁地区)
- ・ 私は大学生です。地域の小・中学生やお年寄りの方と関わる機会がほぼありません。幅広い年齢の人たちが集まって活動できるような講座(例えば料理、工作、運動等)があると嬉しいです。そして講座の講師・運営スタッフを住民の中から募集していただきたいです(例：テーマ・講座名…松戸市の伝統食を作ろう 講師…松戸市在住のお年寄りの方、主婦の方)。参加者にとっては、地域の人から教わることにより地域とのつながりを実感できるというメリット、運営側にとっては、活躍の場とやりがい生まれるというメリットがあるからです。
(女性/20～29 歳/馬橋地区)

- ・ テレビ等で健康に良いと云う色々な体操やストレッチ等見ながらやって見るのですが1回やった位では覚えられずビデオで録画しておいても1人では続けられません。公民館等で体の機能を維持して行く為の高齢者向けのストレッチ運動等を週1回か出来れば2回位、教えて頂ける場所があると、ありがたいと思います。サークルが多数ある体操教室も、70才すぎでの入会は何年もやっている人の中に入って行くのは無理に思えます。経費の問題でしたら、多少はかかってもかまいませんのでお考え願えませんでしょうか？（女性/70歳以上/常盤平地区）
- ・ 知的、文化的なイベントが少ない。「祭り」ばかり多くて内容が薄い。（女性/40～49歳/本庁地区）
- ・ 仕事をしていますのでカルチャーセンターや大学の生涯学習講座については平日日中の講座を受講するのは難しく、夜または土日の講座が充実しているととても助かります。
（男性/50～59歳/馬橋地区）
- ・ 松戸市では言語活用科がありますが、うちの子の学校では英語教育の時間が少ないのではと個人的に思います。そういった所を補う意味でも市の主催で小中学生向けに英語（英会話）の講座などがもっと増えると参加しやすくなるのでご検討頂ければと存じます。
（女性/40～49歳/新松戸地区）
- ・ 国際交流に時々参加させていただきますが多国籍の方とのもっと広範囲、多様な機会がほしい。
（女性/50～59歳/常盤平地区）
- ・ 公のカルチャー活動は、主婦や、高齢向けが多く、働く人たちや働く世代の人向けが少ないです。そういう人たちが、いざ何かをしようとする、時間帯が夜や休日になる為、しかたなく民間施設に高い月謝を払って習いごとやセミナーに行くのです。（女性/40～49歳/新松戸地区）
- ・ 出来ましたら市でパソコン教室を行ってくださればいいと思います。
（女性/60～69歳/本庁地区）
- ・ ボランティアで、子ども達に勉強を教えてもらえたらうれしいです。寺小屋のようなことをやっている地域もあるようなので、元教師の方々が小学生の勉強をみていただけたら、経済的にも少し楽になるかと思います。（男性/50～59歳/本庁地区）
- ・ 幅広い年齢層の市民が集える各地域での催し物があるとよりコミュニケーションの輪が広がると思う。（女性/40～49歳/東部地区）

【施設】

- ・ 市民センターなど交通に不便で参加できない体の不自由な方でも参加出来る場所が近くにあると良いと思います。（女性/60～69歳/本庁地区）
- ・ 文化施設がとても少ないと思いますので、もっと充実させて欲しい。市外からも人が集まるようなイベントなどをして、もっともっと活性化して欲しい。（女性/50～59歳/六実地区）
- ・ 障害者団体や障害者対象のボランティアの会などに対し、市の施設（福祉センター、浅間台、ふれあいママなど）利用の申し込み優先制を考慮していただきたい。（女性/70歳以上/東部地区）
- ・ 公民館は広いのですから、東京都の県境の矢切だけでなく、増やしてもらえれば、大人から子供まで利用できると思います。（女性/20～29歳/新松戸地区）
- ・ 公共施設が月曜日休みの為利用出来ない所が多い。隔週でも良いので変えて頂けるとありがたいです。（女性/50～59歳/常盤平地区）

- ・ 晴れていれば公園で遊べますが、雨天時の遊び場所（公民館等）の使用があるといいなと思います。近所の子達が自由に集まれる場所が必要かなと思っています。（女性/30～39 歳/東部地区）
- ・ これから私達は、高齢化して健康は気を付けてはいますけれど年をとると二人きりになり、友達もだんだんいなくなったりします。近くの集会所などで運動したり、おしゃべりしたり、料理したり月に何度かあれば、ボケ防止にもなる、そういった地域の人達と知り合いにもなれる場を作ってほしいと思います。（女性/60～69 歳/六実地区）
- ・ 各地域に町会がありますが、残念ながら利用度があまり無い様に思う。各町会は、会館をもっと集まりの場所として利用度をあげてほしい。（男性/70 歳以上/本庁地区）
- ・ スポーツ施設の充実（男性/60～69 歳/常盤平地区）
- ・ 年間使えるプールの施設が駅から遠い。駅からバスに乗って行けるようにしてほしい。夏休みのラジオ体操が5日間ぐらいで終わっている。市が中心になり夏休みの間40日行う事は出来ないか？（女性/50～59 歳/常盤平地区）
- ・ 馬橋の駅ビル内に生涯学習の施設にしてほしい。又は、子育て広場、保育等、駅ビルの有効活用を望む（女性/30～39 歳/馬橋地区）
- ・ 地域近辺に公共施設が（特に運動系の用具の充実）ほしい。（女性/70 歳以上/常盤平地区）
- ・ 松戸市の発展を本気で考えているのであれば、子どもから大人、老人までが有意義に利用が出来る施設を使うべきだと考えております。例えば、某県内のある市が運営している図書館のように、沢山の本やネットスペース学習スペース、交流スペースなど、大型の公共施設があると、各年代の人が有意義に利用が出来ると思います。（男性/20～29 歳/本庁地区）
- ・ 松戸市には安全で楽しく遊べる子供（乳児から小学校低学年）の大きな公園が少なすぎる。
（女性/50～59 歳/馬橋地区）
- ・ 千駄堀の公園の遊具を充実させて欲しい。せめてベンチの設置。（女性/30～39 歳/常盤平地区）
- ・ 書道をやっているのですが、大作を書けるような公民館のスペースを充実させてほしい。
（女性/30～39 歳/馬橋地区）
- ・ 公園の整備を更に力を入れて頂きたい（女性/30～39 歳/本庁地区）
- ・ 大人が運動できる公園（運動具等設置）。動物とふれあうことができる公園（ドッグラン併設で動物愛護など講習をする）国際交流ができる施設やイベント等が増えればいい
（女性/60～69 歳/馬橋地区）
- ・ 子ども館、公園など子ども達のための施設を作って欲しい。（女性/70 歳以上/矢切地区）
- ・ 健康増進施設（ジム・温水プール等）の数が少ない。各地域にあるクリーンセンターを利用して施設の充実をはかってほしい。（男性/30～39 歳/常盤平地区）
- ・ 公共施設を老人や子育て中の方も使用しやすい様に整備して欲しいです。
（男性/30～39 歳/新松戸地区）
- ・ 体育館内のトレーニングジムがあまりに粗末で、ガッカリです。松戸市内のトレーニングジム（以下、ジム）は、用（器）具が少なかったり、古すぎてサビついている等。より健康で、社会的なジムを是非是非作って下さい。（女性/50～59 歳/常盤平地区）
- ・ 若い世帯への協力・支援（子育て・母親のストレス解消）などができる公共施設などを増やせると良いと思います。子供達が安全に生活ができる地域作りが必要だと思います。
（男性/50～59 歳/本庁地区）

- せっかく大きな森のホールがあるのに、利用する団体が少ない気がします。料金が安いのではないですか。空いているのなら安く使用させてもらいたいです。(女性/20～29 歳/本庁地区)
- 水と魚に触れ合える施設が欲しい。中高年のダイエットプランナー施設があったらいいのに…。
(男性/30～39 歳/馬橋地区)
- 私は幼い頃、世田谷区で育ちました。学校の隣に児童館があり、絵本の読みきかせをして頂いたり、体育用具のあるホールでとび箱や鉄棒などをして、雨の日も友だちとあそびました。松戸にきて子育てをする中で、このような施設が地域にないことをとても残念に思いました。小学生の時は、時々学校で行われた「こどもまつり」に、親子でいつも参加させて頂きました。児童館が無理なら、このようなイベントをたくさん行って欲しいです。(女性/40～49 歳/東部地区)
- 小学校でも行ける児童館が近くにないので、あったら良いと思う。(男性/30～39 歳/矢切地区)
- 子供が遊べる、利用できる場所を増やして欲しい。公園の遊具の充実（古ヶ崎近辺）松戸駅のエレベーターの設置！！(女性/30～39 歳/本庁地区)
- 文化的、芸術的、スポーツ施設が少ない。※主水新田クリーンセンターのテニスコートの設備がひどく、手入れがされていない。一応、少ない使用料だけど支払っているのに、還元されていない様に思う。コートはつぎはぎだらけで、ケガ人が出てからでは遅いと思う。
(女性/60～69 歳/新松戸地区)
- 子供（特に小学生）が明るくのびのび遊べる場所を与えてあげてほしいと思います。
(女性/70 歳以上/本庁地区)
- 公民館を松戸市の3環境区に1つずつ設ける。(男性/70 歳以上/小金原地区)
- 公共施設を綺麗に建て替えませんか？場所も駅の近くにするとか。狭い、古い、暗い、臭い、交通の便が悪い等々あまり利用したくないところです。(女性/50～59 歳/本庁地区)
- 公園が少ないと思う。親水公園ですが、夏に開放されるのを楽しみにしているのに整備もされないまま放置されていて、せっかくの公園がもったいないと思います。ぜひ整備をお願いします。
(女性/30～39 歳/矢切地区)
- 六高台に30年以上住んでおりますが公共施設があまり近くになく不便感じております。
(男性/60～69 歳/六実地区)
- 公共施設が小さい、古い、アクセスが悪い等で、他の地区に図書館、体育館、プール等を使用しに出かけなければなりません。駅から徒歩圏内に大型の施設があったらいいのですが…。
(女性/30～39 歳/本庁地区)
- 社会教育施設+図書館が一体となった新しい施設を望みます。集客力のある大型店の上階にあれば一層利用しやすいでしょう。(女性/50～59 歳/新松戸地区)
- 栄町5丁目に公園があったらうれしいです。そして、子供だけでなく、誰でも利用できる公園です。(女性/60～69 歳/本庁地区)
- 松戸駅周辺に公民館や、体育館のような施設があるといいと思います。
(男性/60～69 歳/本庁地区)
- 社会人が勉強できる場所がもっとあったら助かります（図書館の自習室のようなもの）。
(女性/20～29 歳/馬橋地区)

- ・ 地域の人達と一緒に同じような目的があって、集まって話しや、活動をする時に公共の施設を開放していただいて借りやすい状況などにしてほしい。たとえば借りたい時にすぐにインターネットやスマホで調べて、ネットやスマホで申し込みができて、もちろん空いている状況や場所、環境も同時に分かればいいと思います。(女性/50～59 歳/常盤平地区)
- ・ 児童館が少ないので増えるといいと思う。(男性/40～49 歳/常盤平地区)
- ・ 子どもが遊べる広場（ボール遊びができる所）を増やしてほしいです。
(女性/30～39 歳/本庁地区)
- ・ 市で、各地域の駅前のビルの一室を借り上げて会議室として提供してくれるとありがたいです。
(男性/70 歳以上/新松戸地区)
- ・ 児童館をつくってほしいです。体育館を自由に使えるようにしてほしいです。子供が集まれる場所をつくってほしい。(女性/30～39 歳/新松戸地区)
- ・ ボランティア活動をする時に、施設を借りて歌の練習などするのですが、目的によっては、施設を無料で貸してくれるといいと思います。(女性/50～59 歳/矢切地区)
- ・ 南部小校区内（近辺）は公園が少なく、子供達は道路で遊んでいるのが当たり前です。ボール遊びを思いっきりできる場所ありません。それに公園は情報交換の場でもあります。(松戸市の幼稚園はプレをやっている園があまりなくて、小さい子供を持つ母親同士のコミュニケーションや情報交換ができないので引越してきたばかりの時は困りました) 子供達の安全のためにも公園を増やして下さい。(女性/30～39 歳/矢切地区)
- ・ 子供達が、思いっきり体を使って遊べる広い公園が欲しい。アスレチック等。どうして 21 世紀の森公園には遊具を作らないのでしょうか？もっと上手に活用してほしいです。土地がないとは思いますが、ショッピングモールなどがあれば、カルチャー訪設などが入ってより楽しい町になると思います。(女性/30～39 歳/本庁地区)
- ・ 中央公園のプール跡地や、その隣の旧公務員宿舎跡地になにか市民が利用できる施設を作っていただけたら嬉しいです。(女性/40～49 歳/本庁地区)
- ・ スポーツ施設が少ない。別の市を借りてやっているのももう少し増えたらうれしい。
(女性/40～49 歳/馬橋地区)
- ・ 正社員として働いていますと、地域、学校との交流がほとんどできません。学校での活動が基本的に平日の日中が中心になっていることも一での要因と考えます。土、日、休日を活用した学校、地域との結びつきを育むような設定、(企画)があると良いです。また学校施設の開放として図書室があると良いです。(女性/40～49 歳/本庁地区)
- ・ 東部支所が一番近い施設ですが、古い施設で暗い感じがしてあまり行きたいという雰囲気が出てきません。又、場所も奥まった所にあり、また暗い場所にあるので不便です。もっと明るい感じの施設にしてほしいです。(女性/30～39 歳/東部地区)
- ・ 市民の声をきちんと聞いてほしい。市職員が自ら公共施設を見てほしい。子供達が遊ぶ公園、体育施設などに危ない箇所がないかどうか見て考えて欲しい。(女性/50～59 歳/矢切地区)
- ・ 子供が雨の日などでも遊べる室内の場所がとても少ないので遊ぶだけでなく、いろいろな目的で使えるような施設があると、とてもいいと思います。周辺の公園は、遊具がそんなに多くなく、小さい物でも、アスレチック的な物を置いていただけたら、子供もとても喜ぶと思います。
(男性/30～39 歳/新松戸地区)

- 文化ホールや図書館などをもっと開放的な、誰でもいつでも使用できる空間にできないものでしょうか。子供達、特に中・高生が興味を持つような場所作りをしてあげられればと思います。また、私達中高年にホッとできる空間にしていだけたら（文化ホールなど）と思います。
(女性/60～69 歳/本庁地区)
- 公園の遊具を充実させて欲しい。ブランコ、すべり台、鉄棒（昔ながらのもの）もっと遊具等取り入れ、子供達が集まる公園作りをして欲しい。(女性/40～49 歳/新松戸地区)
- 松戸市は、犬（ネコ）を飼っている所帯が多いのに、市が認める「ドッグラン」がないのでしょうか？犬との触れ合いの場所を設けて頂けませんか。使われていない空地でいいのです。最底限の躰がきちんとされている犬たちの集まりで、そこに犬に触れたい人たちが集まる人の気持ちが心が優しくなれる触れ合いの場所として。(女性/60～69 歳/馬橋地区)
- 5～6 F 建物で駐車場あり、図書館あり、公民館的施設あり、会議室あり、ホールありと市民が1ヶ所に集まりやすく、交流ができるような施設があると良いと思います
(女性/50～59 歳/本庁地区)
- 運動公園の陸上競技場に照明をつけて夜間でも使用できるようにしてもらいたい。平日は会社に勤めているので休日しか利用できないが、ほとんど団体で予約が入っている。市川市は17時～21時までには一般に開放しているので、わざわざそこまで行っているのが現状。今後は私のように50才を過ぎてスポーツをやる人も増えてくる。早めの対応をお願いしたい。
(男性/50～59 歳/馬橋地区)
- 大人も子どもも、静かで環境の整った勉強場所があると良い。(女性/40～49 歳/新松戸地区)
- より便利により気軽に日常的に使える施設が増えることを望みます。
(女性/60～69 歳/常盤平地区)

【情報について】

- 地域の横のつながりが出来やすい環境整備。市報にてのボランティア活動の紹介。特に老人が参加しやすいボランティア活動の紹介 (男性/70 歳以上/常盤平地区)
- 市長（副市長を含めて）の日程詳細を公開してほしい。広報まつどをインターネットのHPの中で公開してほしい。(男性/50～59 歳/馬橋地区)
- 松戸市の公共施設が、どのような建物がどこにあるのか、どのようにして行けばよいのかが、未だによく分からない。(女性/70 歳以上/新松戸地区)
- “よい子のチャイム”の時間をHPに記載してほしい。(時期によって時間が変わり、調べようと思っても、多分載っていない…) 宜しくお願い致します。(女性/30～39 歳/本庁地区)
- 市民にわかりやすい文章での情報提供をして欲しいです。(男性/30～39 歳/新松戸地区)
- 情報発信については、かなり後手にまわっている感じがします。広報まつど以外にも、全市民にうまく伝わるような方法を考えていただけたら、幸いです。(男性/50～59 歳/常盤平地区)
- 子の有無に関らず、20代と30代に向けて子育て支援の情報を多く発信して欲しい。
(女性/20～29 歳/本庁地区)
- 松戸市が行っているイベント等の情報は、耳に入ってくるのが少なく、高齢者向けや、小中学生向けがメインである気がして参加する気にはなれない。どこか寂れた雰囲気を感じます。もう少し華やかさを出してくれたら、もっと住みやすくなるのかなと思いました。
(女性/20～29 歳/新松戸地区)

- ・ 市がどんな「街づくり」目指しているのか市民に伝わっていない。具体的な目標があれば早急に広報活動を積極的にすべきかと思われます。市長の提言ではなく市民の為の声を取り上げて、住みやすい街づくりになりますようお願いいたします。(女性/70 歳以上/小金原地区)
- ・ 高齢者にとっても社会参加したい気持ちはあってもどうしてよいかわからない人が多い。PR 活動と同時に数多くのバラエティに富んだ企画がほしい。(女性/60～69 歳/常盤平地区)
- ・ 利用できる制度とかの情報等、わかりやすく見やすくしてほしい。(女性/30～39 歳/矢切地区)
- ・ 小人数でもスポーツできたり、講座を安く開催して募集するなど、情報を発信して、楽しめる施設としてもっと宣伝して活気づけてほしい。(女性/30～39 歳/東部地区)
- ・ 地域活動でどんな行事があるのか、情報が入ってこない。地域とのコミュニケーションの場や機会をもっと増やしてほしい。(女性/30～39 歳/新松戸地区)
- ・ 情報の発信能力が低い (女性/50～59 歳/本庁地区)

【その他】

- ・ 多くの知恵を持った 60 歳以上の人達が活動できる仕組みを整備して欲しい
(男性/30～39 歳/本庁地区)
- ・ 大きな施設を作らなくても、手軽に健康増進している地域の成人にも学校を無料で貸して、用具なども市で調達するぐらいの費用を出して欲しい。(女性/50～59 歳/六実地区)
- ・ 土・日は習い事や、家族で過ごす時間が多いと思うので放課後の時間に学校内でボランティアの方々や地域のお年寄りの方と昔遊びをしたり、一緒に折り紙や何かをする「放課後交流会」みたいなのが週 2～3 日あると地域とのふれあいや社会性も身につく良い機会となるように思います。学校が終わってから公園で友だちとゲームをしている子どもたちの姿を見ると、親としては、安全な学校内で色々な方々と関わって過ごす時間が有意義であるように感じます。
(女性/30～39 歳/東部地区)
- ・ 仕事をしていて、子どもの学校に協力したくても限界があり、とても残念に思う。PTA などのあり方は、今後形を変えないと難しいのではないかな。例えば、PTA 役員会は平日にあることが多い。土曜日等にしてもらえれば、仕事をしている者も参加しやすい。PTA のような、決まった形からのボランティアはやりやすさがあると思う。だからこそ協力したいのに参加しにくい状況のためできない。親のことを考えて欲しい。(女性/40～49 歳/六実地区)
- ・ 小金原中央商店街のいこいの広場の屋根が、昨年大雪の為、つぶれてしまいました。商店街の組合の人はもう一度、高齢者の為に屋根がついた広場に戻そうとしているので、何とか、松戸市の力で、小金原中央商店街のいこいの広場に屋根のついた建物を設置して欲しいです。宜しくお願いします。(女性/40～49 歳/小金原地区)
- ・ 1 日も早く松戸駅にエスカレーター・エレベーターの設置をお願いします。通勤時間帯の後にできれば高齢者が買物・病院に通う為の循環バスを低価格で是非お願いしたいと思います。少しでも元気で痴呆症予防の為、市の施設で週に 1 回程度童謡を歌う会をお願いしたいと思います。
(女性/70 歳以上/新松戸地区)
- ・ 芸術（音楽や美術など）にもっと力を入れて頂けたら嬉しいです。
(女性/30～39 歳/本庁地区)
- ・ 国際交流に力を入れて欲しいと思っています。インターネット（あるいは、市民センターなど）で情報交換など、簡単に、安全に利用できればいいと思います。(女性/40～49 歳/本庁地区)

- ・ 現状、学校活動に関するボランティアはPTAがほぼ全てやっているといます。もっと地域のボランティアを活用して頂ければ、子供たちもいろいろな世代と交流できるのではないのでしょうか？（女性/40～49 歳/馬橋地区）
- ・ 70 代の実母（他府県在住）が、囲碁サークルの仲間と、小学生の囲碁サークルの指導ボランティアをしています。母の生きがいになっています。松戸市もそのような放課後支援を高齢者にお願いしてもいいと思います。（もちろん事故や怪我を伴うスポーツの指導は専門家に頼むべきだと思いますが）今の子供たちは有料の習い事で忙しい日々を送っています。保護者が仕事中でも、そういう子供たちが地域の高齢者から学べる仕組み作りを市にお願いしたいと思います。
（女性/50～59 歳/小金原地区）
- ・ 地元のお祭りに近くの中学生達が部活単位でボランティアをしている様姿を見かけます。自分が中学生の時もそうでした。学校で地域行事のボランティアに参加し、地域の方々と交流することで、学校行事や部活動の行事に対する理解・協力を得られていたと思います。これからも、学校・部活単位で地域行事のボランティア等に参加することを学校側からすすんでやってほしいと思います。そして個人ではなかなか参加しにくい子ども達がボランティア等を通して地域の方々と交流を持てたら良いなと思っています。（女性/20～29 歳/常盤平地区）
- ・ 基本的な教育をもう少し家庭でも学校でも指導をして欲しいと思いました。社会に出てから挨拶が出来ない人が多いような気がします。（女性/60～69 歳/小金原地区）
- ・ 学生に礼儀、道徳を教えた方が良くと思います。（女性/70 歳以上/本庁地区）
- ・ 今後高齢者が急増するなか、生涯学習の機関がもっと身近に感じる事が出来るような工夫をお願い致します。（男性/60～69 歳/新松戸地区）
- ・ 少子高齢化なる時代にいかに自立し豊かな生活を送れるか？年金生活は満足できる状態ではない。私は有償ボランティアを増やして積極的に市民が関わりを持って子供達に学校で学べない何かを教えていく様に望みたいです。（女性/60～69 歳/本庁地区）
- ・ 松戸市ならではの！と思えるイベントを充実させてほしい。（男性/30～39 歳/東部地区）
- ・ 65 才以上の方に、スポーツジムの補助金（女性/60～69 歳/馬橋地区）
- ・ 子育ての時期はだんだんと子供の遊べる場所・時間が狭められていき、子供達が気の毒でした。学校の校庭もダメ、公園の遊具も危い、長期の休みも親は苦勞しました。もう少し市が呼びかけ、地域単位の対策・活動を勧めて頂けたらと考えます。（女性/50～59 歳/常盤平地区）
- ・ 老若男女やいろいろな障害を抱えた人との共存共生が当たり前の社会になるよう願います。幼い時から障害児と共に学び、接し、交流する学校環境を整えていただきたい。子供達に生きる力を養ってもらいたい。せめて義務教育の間に将来自活できるように、生活者の視点で、職業、家事（調理も）医療（保健）家計のこと、（税金、年金、保険の事）を学んでほしい。大人になって知らない為に苦勞したことが多いです。（女性/60～69 歳/馬橋地区）
- ・ 仕事を引退しても、元気なオジサン、オバサンがたくさんいます。趣味に生きがいをみつけるだけでなく、ボランティア等、地域、社会にもっと貢献してほしいと思います。身近かなところでは、通学登下校時の子供たちへの声かけ、身守り。松戸市からは是非、「よびかけ」をお願いいたします。（女性/70 歳以上/新松戸地区）

添付資料：調査票

社会教育に関するアンケート調査

■■ アンケート調査ご協力のお願い ■■

市民の皆様へ

現在、市では平成 27 年 3 月に（仮称）「松戸市社会教育計画」の策定の準備を進めています。

この計画を策定するにあたり、生涯学習や社会教育の現状やニーズ等について、市民の皆様のお考えを幅広く伺うため、アンケートを実施することと致しました。

本調査では、市内にお住まいの方々から 3,000 人を無作為に選び、調査票を送付させていただきました。アンケートの結果については、統計的に処理し、調査目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 6 月

松戸市教育委員会 教育長 伊藤 純一

■■ ご記入にあたって ■■

1. 回答は、原則として封筒のあて名ご本人がお答えください。あて名ご本人が回答できない場合は、ご家族の方や介助者の方などが、ご本人の立場で（ご本人の意見に沿って）お答えください。なお、この調査票で「あなた」とはあて名ご本人のことです。
2. この調査票にはお名前を記入する必要はありません。個人が特定されることはありませんので、普段あなたが考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 回答は、質問により、1 つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、問題の進み方が変わるものがありますので、ご注意ください。
5. 「その他」と回答された場合には、〔 〕内に内容を具体的にお書きください。
6. ご記入いただいた調査票は、**平成 26 年 7 月 2 日（水）までに**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。

< 問い合わせ >

松戸市教育委員会 生涯学習部 社会教育課

〒271-8588 松戸市根本 3 5 6 番地

電話：047-366-7462 FAX：047-366-7055

E-MAIL：mcsbakaikyoku@city.matsudo.chiba.jp

はじめに、生涯学習活動に対する考え方についておうかがいします。

※「生涯学習活動」とは、私たち一人ひとりが、自らの生活を豊かにするため、自ら進んで行う、文化活動、ボランティア活動、スポーツ、レクリエーションなどの学習のことをいいます。

問1 「生涯学習活動」の意義について、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。あてはまる番号に 3つまで ○印をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 社会へ貢献できる | 7. 社会とのかかわりが深まる |
| 2. 知識や技術を向上させる | 8. 人間関係を広げることができる |
| 3. 仕事に役立つ | 9. 地域をよくしたい |
| 4. 子育てに役立つ | 10. 生きがいづくりに役立つ |
| 5. 日常生活に役立つ | 11. その他〔 |
| 6. 健康に役立つ | 12. 特にない |

問2 あなたは、この1年くらいの間に、どのような「生涯学習活動」をしましたか。あてはまる番号に いくつでも ○印をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど） |
| 2. 教養に関すること（歴史、文学、政治など） |
| 3. 仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など） |
| 4. 子育て・家庭教育に関すること |
| 5. 学校教育に関すること |
| 6. 生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など） |
| 7. 健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど） |
| 8. 社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど） |
| 9. ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること |
| 10. まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること |
| 11. 国際理解、国際交流に関すること |
| 12. その他〔 |
| 13. していない |

（3ページ 問4へ）

（3ページ 問3へ）

【問2で「1」から「12」と回答した方にうかがいます。】

問3 どのような方法で「生涯学習活動」をしていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 市が主催する講座や教室への参加
2. 学校（大学や各種学校など）の公開講座や教室への参加
3. 職場の研修・教室への参加
4. 民間団体などが主催する講座、教室への参加
5. 通信教育での学習
6. 学校（大学や各種学校など）に入学
7. 自主的なサークルやクラブに入会
8. 民間施設のカルチャーセンターなどに入会
9. 図書館・博物館・美術館などで調べ物
10. 自宅での学習（書籍やインターネットなど）
11. その他〔

〕

【問2で「13（していない）」と回答した方にうかがいます。】

問4 この1年くらいの間に、「生涯学習活動」をしなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 仕事や家事が忙しく、時間が無い
2. 家庭や職場など周囲の理解が得られない
3. 費用がかかる
4. きっかけがつかめない
5. 自分が参加できる時間や曜日に行われている、講座・教室がない
6. 関心のある講座や教室がない
7. 一緒に行く仲間がいない
8. 身近なところに学習施設や学習場所がない
9. 気兼ねなく集まれる学習の場がない
10. 必要だと思わない
11. その他〔

〕

すべての方にうかがいます。

問5 生涯学習活動に取り組もうとする際に優先することは何ですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 内容（日常生活や仕事に生かせるか）
2. 主催者（大学・民間・市など）
3. 場所（自宅近く・勤務地近く・駅近くなど）
4. 時間帯や曜日
5. 学習施設（気軽さ・居心地の良さ・設備の充実）
6. 成果の活用方法
7. インターネット等、場所や時間を選ばない手段
8. 費用
9. その他〔

〕

問6 今後、どのようなことを学びたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 趣味に関すること（絵画、音楽、アウトドアライフなど）
2. 教養に関すること（歴史、文学、政治など）
3. 仕事に必要な知識に関すること（経営、産業、起業など）
4. 子育て・家庭教育に関すること
5. 学校教育に関すること
6. 生活での実用的な知識に関すること（料理、洋裁、和裁など）
7. 健康・スポーツに関すること（健康法、医療、ジョギングなど）
8. 社会的な問題に関すること（高齢化、介護、自然環境、エネルギーなど）
9. ボランティア活動や、その為に必要な知識、技能に関すること
10. まちづくり、地域のコミュニティづくりに関すること
11. 国際理解、国際交流に関すること
12. その他〔
13. 特にない

〕

生涯学習活動に関する情報についておうかがいします。

問7 あなたは、生涯学習に関する情報をどのようにして手に入れていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ
2. 広報まつど
3. インターネット（パソコン）
4. インターネット（携帯・スマホ）
5. 家族や知人から
6. 市役所や公民館などの公共施設（ポスター、ちらし含む）
7. 学校や職場（ポスター、ちらし含む）
8. 駅や路上、商業施設など（ポスター、ちらし含む）
9. その他〔 〕
10. 特に得ていない
11. 得る手段が分からない

問8 あなたは、生涯学習に関係するどのような情報を知りたいですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 公民館、図書館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室情報
2. 講演会や展覧会などのイベント情報
3. 資格取得に関する情報
4. カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報
5. 同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報
6. 大学などの教育機関で開催される講座の情報
7. 公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報
8. 講師や指導者に関する情報
9. 地域活動やボランティア活動に関する情報
10. その他〔 〕
11. 特にない

これからの、生涯学習活動における現状や課題についておうかがいします。

問9 あなたは、「生涯学習活動」を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 仕事や家庭など、日常生活で生かしたい。
2. 資格の取得に生かしたい。
3. ボランティア活動で生かしたい。
4. 他の人の学習やスポーツ、文化活動の指導に生かしたい。
5. 町会などの地域活動に生かしたい
6. 自身の健康維持、健康増進に生かしたい。
7. わからない
8. 特に生かすつもりはない。
9. その他〔

〕

問10 地域の学習環境を充実させるために何が必要だと思いますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 公民館・図書館などの社会教育施設の充実
2. 家庭教育学級や生涯学習大学講座などの社会教育事業の充実
3. P T Aや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援の充実
4. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
5. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
7. 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進
8. 子育てサロンなど子育て支援活動の促進
9. 子どもが地域活動に参画する機会の充実
10. その他〔
11. 特に必要ない

〕

問11 今後、松戸市の生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れると良いと思いますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

1. 講座（講習会）などの開催
2. 学習等に関する常設の相談コーナー等の設置
3. 国際的な交流事業
4. 指導者養成講座（講習会）の開催
5. 公共施設の整備
6. 情報発信の充実
7. 指導者の派遣
8. 企業・大学との連携
9. その他〔

〕

地域の子どもたち（青少年）に対する考えについておうかがいします。

問12 あなたは、地域の子どもたちに、放課後や休日をどのように過ごしてほしいと思いますか。あてはまる番号に3つまで〇印をつけてください。

1. 学習塾などでの勉強
2. 有料の習い事や有料スポーツクラブなどでの学習
3. 文化・スポーツ等のサークル、子ども会等の地域活動
4. 図書館・博物館・児童館等に行く、公的なイベントや講座に参加
5. 学校の部活動
6. 学童クラブ・放課後キッズルームでの活動
7. 友達と遊ぶ
8. 家族でレクリエーションや旅行
9. 家で勉強や読書
10. 家でテレビ・パソコン・ゲーム
11. その他〔

〕

問13 放課後や休日に小中学生が地域の人と生涯学習活動（文化・スポーツ・レクリエーション等）をするにはどの場所がふさわしいと思いますか。あてはまる番号に2つまで〇印をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 地域の公園 | 5. 民間の施設や店舗 |
| 2. 地域の公共施設 | 6. 指導者等の自宅 |
| 3. 小学校の教室 | 7. その他〔 |
| 4. 小学校の体育館・校庭 | |

〕

問14 問 13 の子どもの活動場所に求めることは何ですか？あてはまる番号に2つまで ○印をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 近い | 6. 冷暖房がある |
| 2. 広い | 7. 用具や設備がある |
| 3. 安全 | 8. 駅から近い |
| 4. 清潔 | 9. 駐車場がある |
| 5. 使用料が無料 | 10. その他〔 |

〕

問15 あなたは、地域の住民と小中学生とが、つながる機会にはどのようなものがあると思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1. 自治会等の地域の集会での活動 |
| 2. 地域の文化やスポーツ等の団体活動 |
| 3. 学校での活動 |
| 4. ボランティア活動 |
| 5. 特につながりは無い |
| 6. その他〔 |

〕

問16 地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで、小中学生にとって、もっとも期待できる効果とはどのようなことでしょうか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 学力の向上 | 5. 体力の向上 |
| 2. 社会的・職業的自立 | 6. 体験活動の充実 |
| 3. 基本的生活習慣の定着 | 7. その他〔 |
| 4. 思いやりの心を育む | 8. わからない |

〕

問17 あなたは、小中学校で、ボランティア活動に参加したことがありますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- | | |
|--------|------------------|
| 1. はい | → (9 ページ 問 19 へ) |
| 2. いいえ | → (9 ページ 問 18 へ) |

【問17の質問で「2（いいえ）」と回答した方にうかがいます。】

問18 学校のボランティア活動に参加しなかった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

1. 興味はあるが、どこでどんな募集しているか分からなかった
2. 興味はあるが、近隣の学校での募集がなかった
3. 興味はあるが、自分の希望する募集がなかった
4. 興味はあるが、自分のスケジュールと合わなかった
5. 興味はあるが、忙しくてまったく時間的余裕がなかった
6. 学校のボランティア活動には興味がなかった
7. 今まで、機会がなかった

すべての方にうかがいます。

問19 あなたが小中学校でボランティア活動を支援するとしたなら、どのような活動に興味がありますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

1. 授業におけるゲストティーチャー（講師）
2. 授業における教員の補助（丸付けなどの手伝い）
3. 部活動・クラブ活動の支援
4. 学校行事や校外活動の支援
5. 読み聞かせや学校図書館の整備
6. 花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備
7. その他〔
8. 学校でのボランティア活動に興味はない

松戸市の図書館についておうかがいします。

問20 あなたは、松戸市の図書館をどのくらいの頻度で利用しますか。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

1. ほぼ毎日
 2. 週に1～2回程度
 3. 2週間に1回程度
 4. 月に1回程度
 5. 年に数回程度
 6. 数年に1回程度
 7. その他〔
 8. 利用したことがない
- （10ページ 問22へ）
- （10ページ 問21へ）

【問 20 で「利用したことがない」と回答した方にお聞きします。】

問21 利用されないのは、なぜですか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

1. 図書館がどこにあるかわからない。
2. 交通が不便である。
3. 遠い
4. 利用する時間がない
5. 利用したい本や雑誌など図書館資料が少ない
6. 開館日・時間が合わない
7. 自分で購入するので利用する必要がない
8. 他市の図書館を利用している
9. その他〔

〕

すべての方にうかがいます。

問22 あなたは、どのような目的で図書館を利用しますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 趣味・娯楽のため | 6. 課題を解決するため |
| 2. 仕事のため | 7. 学校の勉強のため |
| 3. 教養を得るため | 8. 子どもの本を選ぶため |
| 4. 社会の出来事を知るため | 9. 気分転換のため |
| 5. 実用知識を得るため | 10. その他〔 |

〕

問23 あなたは、これからの図書館がどうあって欲しいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

1. 地域の情報センター
2. 「知識の宝庫」・「知の殿堂」
3. 暮らしに役立つ知識や情報を得る場
4. 仕事や事業に役立つ知識や情報を得る場
5. 学業や研究に必要な知識や情報を得る場
6. 趣味や娯楽に役立つ知識や情報を得る場
7. 子どもの成長を支える場
8. 郷土の歴史・文化を継承し、創造する場
9. 地域活動や市民交流の場
10. 気持ちが休まる憩いの場
11. 学生、生徒が自習できる場
12. その他〔

〕

最後に、あなたご自身のことについておうかがいします、さしつかえのない範囲でお答えください。

問24 あなたの性別はつぎのどちらですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 男性

2. 女性

問25 あなたの年齢はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 20～29 歳

3. 40～49 歳

5. 60～69 歳

2. 30～39 歳

4. 50～59 歳

6. 70 歳以上

問26 あなたの職業はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 正社員

2. 公務員・団体職員など

3. 自営業（農業を含む）

4. アルバイトやパートなど（短期雇用契約社員・派遣社員を含む）

5. 学生

6. その他〔 〕

7. 家事に従事している

8. 無職 } → (問 28 へ)

【問 26 で「1」～「6」と回答した方にうかがいます。】

問27 あなたの勤務先・通学先はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 市内

3. 東京都内

2. 市外（県内）

4. その他〔 _____ 県 〕

すべての方にうかがいます。

問28 あなたは、松戸市に何年お住まいですか（他市町村に住んだことがある場合は、松戸市に通算で何年お住まいですか）。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる

4. 10 年以上 15 年未満

2. 5 年未満

5. 15 年以上 20 年未満

3. 5 年以上 10 年未満

6. 20 年以上

問29 あなたの世帯（一緒に住んでいる方）はつぎのうちどれですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. ひとり世帯
2. 夫婦のみ世帯（事実婚を含む）
-
3. 親と子ども世帯の2世代世帯
4. 親と子どもと孫の3世代以上の世帯
5. その他〔

【問 29 で「3」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問30 同居家族のなかに小学生から中学生のお子様はいますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

1. いる 2. いない

自由記載欄（松戸市に対するご意見・ご要望などが特にありましたら、ご自由に記載してください。）

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a vertical margin line on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled sheet of paper.

以上です。ご協力ありがとうございました。

平成 26 年度
社会教育に関するアンケート調査
報告書

松戸市教育委員会 生涯学習部 社会教育課

〒271-8588 千葉県松戸市根本 356 番地
電 話 047-366-7462
F A X 047-366-7055